

予算科目	10 款	教育費	事業名		コミュニティ・スクール推進事業	
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち	
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実	
	事業	コミュニティ・スクール推進事業費		(1)	学校教育の充実を図る	
担当部課		教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 88	
目的及び事業内容			石巻市コミュニティ・スクール検討推進委員会を設置し、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の推進体制の構築、学校間、地域間の連携を構築する。全ての小中学校にコミュニティ・スクールを導入し、地域とともにある学校づくりを推進する。			
取 組 実 績			1 石巻市コミュニティ・スクール検討推進委員会 教育委員会におけるコミュニティ・スクールの運営に関することや各コミュニティ・スクール間の活動の共有、連絡、調整等において意見や助言を求めるために、学識経験者、小・中学校長会代表、父母教師会代表、地域防災関係者、家庭教育関係者、学校支援地域コーディネーター、学校運営協議会会長による石巻市コミュニティ・スクール検討推進委員会を組織し、年4回会議を実施している。 2 各校の学校運営協議会 学校運営協議会は、学校や子ども、家庭・地域社会の課題を地域ぐるみで解決し、子どもたちの健全な成長及び質の高い学校教育の実現を目指している。地教行法第47条の5に規定されている3つの機能（①学校運営基本方針の承認②学校運営に対する意見を述べること③教職員の任用について意見を述べること）を協議して学校運営協議会ごとのアクションプラン作成に取り組んでいる。 3 コミュニティ・スクールに関するリーフレットの作成 コミュニティ・スクールの理念や仕組み等をまとめたリーフレットを市内小・中・桜坂高等学校に配布し、保護者等へのコミュニティ・スクールへの理解を深めている。 4 コミュニティ・スクール推進フォーラムの実施 地域とともにある学校づくり推進フォーラムを実施した。石巻市内の学校関係者ら118名の参加があり、コミュニティ・スクールについての理解を深めた。			
成 果			令和6年度から市内全ての小・中・市立高等学校がコミュニティ・スクールとなり地域とともにある学校づくりが実践されている。また、石巻市コミュニティ・スクール検討推進委員会を4回実施し、石巻市のコミュニティ・スクールの運営について検討するとともに、各コミュニティ・スクールの活動状況について情報交換を行った。1月には石巻市コミュニティ・スクール推進フォーラムを開催し、他県におけるコミュニティスクールの取組や本市における実践事例の共有を通して、更なる推進を図るための知見を深めた。 【学校と地域が関わる機会が増えたと思う学校数】 R7：48／48（校）			
成果に係る評価			各校の学校運営協議会においては、学校や子どもたちの抱える課題を共有し、それらを解決するための具体的なアクションプランを作成することで、学校、家庭、地域がそれぞれ果たすべき役割を明確にすることができた。また、学校運営協議会の設置と一体的に進める必要のある地域学校協働活動（地域学校協働本部の設置）の連携を図るため、生涯学習課主催の地域学校協働活動代表者連絡会議や、学校教育課主催のコミュニティ・スクール検討推進委員会へ互いの課が参加し情報共有を図った。今後は、コミュニティ・スクール検討推進委員会（年4回実施）において、各団体の活動状況を共有したり、各協議会における効果的な熟議の仕方や実践につなげるための体制について議論したりする機会を設け、コミュニティ・スクールを推進する力の向上を図る。			
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳	
					国(県)支出金	一般財源
	9,343,000		7,445,100		344,000	7,101,100

予算科目	10 款	教育費	事業名		学力向上推進事業													
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち													
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実													
	事業	学力向上推進事業費		(1)	学校教育の充実を図る													
担当部課		教育委員会学校教育課		実施計画掲載ページ		P 88												
目的及び事業内容		学力向上のための授業方法に係る R P D C A サイクルを確立し、本市の小・中学校における学力の全体的な底上げを図るもの。 1 学力向上推進委員会の開催 2 標準学力調査の結果分析を通した授業改善 3 基礎・基本の定着を図るタブレットドリルの活用 4 株式会社山九大教職員等研修基金を活用した教員の指導力向上研修の実施																
取 組 実 績		1 「学力向上推進委員会」による課題等の検討 (1) 実施回数 年3回 (2) 構 成 員 有識者、学校長、市 P T A 代表ほか (3) 内 容 保護者リーフレットの原案や学力向上プラン、市の取組に関する意見聴取 2 「標準学力調査」の実施と分析 (1) 実 施 日 第1回令和7年4月下旬、第2回令和7年12月上旬 (2) 対 象 者 第1回小学校第2学年～中学校第3学年、第2回小・中学校全学年 (3) 内 容 ・小学校は、国語、算数、中学校は、国語、数学の調査を行った。 ・各校調査結果を基にした分析を行い、課題を洗い出した。 ・第1回目の調査結果における課題を基に、各校において R P D C A シートを作成し、授業改善の手立てを考え、授業改善を行った。 3 「タブレットドリル」の活用 (1) 対 象 者 小・中学校全学年に導入 (2) 導入教科 国語、算数・数学、英語 (3) 活用状況 授業や宿題でのタブレットドリル活用 4 株式会社山九大教職員等研修基金を活用した教員の指導力向上研修の実施 (1) 先進地視察研修 参加者：8校 13人 視察先：青森県、埼玉県、愛知県、広島県、新潟県、山形県、千葉県、岩手県、神奈川県、長野県 (2) 管理職等を対象とした研修 ア 授業改善のため研修 講師：大学教授 参加者数：5月15日62人、12月25日53人、1月20日13人																
成 果		1 学力向上推進委員会における意見聴取や提言により、市全体の学力の課題等について洗い出しを行い、その結果を市内全小中学校で共有した。各校での分析をもとに授業改善を進めたものの、全国学力・学習状況調査における算数・数学の平均正答率が県平均以上の学校の割合は目標値（52.0％）に届かず、39.1％（達成率75.2％）にとどまった。今後は、この結果から浮き彫りになった新たな課題を各校で再分析し、より実効性の高い授業改善と個に応じた指導の徹底を図る。 【全国学力・学習状況調査における算数・数学の平均正答率が県平均（仙台市を除く）以上の学校の割合】 <table><tr><td></td><td>目標値</td><td>実績</td><td>達成率</td></tr><tr><td>R6</td><td>50.0%</td><td>53.2%</td><td>106.4%</td></tr><tr><td>R7</td><td>52.0%</td><td>39.1%</td><td>75.2%</td></tr></table> 2 タブレットドリルは、国語科、算数・数学科、外国語・英語科ともに授業で学んだことの習熟のために、授業や家庭での学習等で活用が図られた。 3 株式会社山九大教職員等研修基金を活用した教職員の研修事業により、組織的授業改善の活性化や、次世代リーダーを担う若手教員等の指導力の向上が図られた。						目標値	実績	達成率	R6	50.0%	53.2%	106.4%	R7	52.0%	39.1%	75.2%
	目標値	実績	達成率															
R6	50.0%	53.2%	106.4%															
R7	52.0%	39.1%	75.2%															
成果に係る評価		・学力向上プランにより、授業改善の方向を示し、さらに、標準学力調査結果を受け、各校で指導方法を改善することで、学力向上のための R P D C A サイクルの構築を推し進めることができた。 ・タブレットドリルについては、多くの学校で日常的な学習や家庭学習に活用され、児童生徒の個に応じた学びや学習機会の充実につながった。一方で、学校、学級による活用状況に差が見られたことから、活用率が低い学校へ直接活用を促してきた。 ・先進校視察の参加者が昨年度より8名増加し、先進的な教育実践に触れる機会が拡充された。視察で得た知見を各校に還元することで、授業改善や学校運営の充実につながる事が期待される。 ・授業改善では、U D L の視点を生かした授業づくりの研修会を実施した。受講者が実践を共有しながら理解を深め、研修成果を学校現場での授業改善につなげる契機となった。																
(単位：円)																		
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳													
					国(県)支出金	一般財源												
	26,791,308		25,680,238			10,855,408												
						14,824,830												

予算科目	10 款	教育費	事業名		小中学校児童生徒体育及び文化活動補助金交付事業							
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち							
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実							
	事業	教育指導奨励費		(1)	学校教育の充実を図る							
担当部課		教育委員会学校教育課		実施計画掲載ページ		P 87						
目的及び事業内容		小・中学校の体育文化活動の充実を図るとともに、各種大会へ出場する際の交通費、宿泊費の一部助成等により保護者負担を軽減する。										
		大会区分		補助対象経費		補助率		備考				
		体育活動	地区大会以上	交通費		80%		東北大会以上は、宿泊に要した実費相当額で、6,000円を上限に補助する。				
		文化活動	地区大会以上	交通費		80%						
				楽器輸送費		100%						
取 組 実 績	補助金の交付											
	1 音楽コンクール地区大会以上に参加した小・中学校に対し、交通費及び楽器輸送費等の一部を助成した。 ・地区大会参加回数 14回（13校） ・県大会参加回数 6回（5校） ・補助金交付額 1,381,707円 2 体育活動地区大会以上に参加した中学校に対し、交通費等の一部を助成した。 ・地区大会参加回数 54回（17校） ・県大会参加回数 45回（14校） ・東北大会参加回数 14回（9校） ・全国大会参加回数 6回（6校） ・補助金交付額 23,618,293円											
成 果	音楽コンクールにおける地区大会等への参加に係る保護者負担の軽減が図られた。											
	主な指標項目		R5		R6		R7					
		補助対象校（補助件数）		12校（23件）		12校（24件）		13校（20件）				
		補助金交付額		1,056,514円		1,663,643円		1,381,707円				
	体育活動における地区大会等への参加に係る保護者負担の軽減が図られた。											
	主な指標項目		R5		R6		R7					
	補助対象校（補助件数）		17校（115件）		17校（111件）		17校（119件）					
	補助金交付額		21,592,187円		25,946,228円		23,618,293円					
成果に係る評価		令和6年度から交通費及び宿泊費に係る補助率を、現行の75%から80%に引き上げたことにより、申請数が増加したものの、予算の範囲内での交付となるため申請額全額での交付は難しくなった。今後も部活動の地域展開の進捗にも留意しつつ、補助率や補助対象の拡充の検討を図りながら、大会等への参加に係る児童生徒の保護者の経済的負担の軽減を図ることにより、児童生徒がスポーツや音楽を気軽に親しめる環境を整備する。										
(単位：円)												
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳							
					国(県)支出金		地方債		その他		一般財源	
	25,000,000		25,000,000						21,000,000		4,000,000	

予算科目	10 款	教育費	事業名		奨学金貸与事業																																		
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																		
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																																		
	事業	奨学資金費		(3)	有能な人材を育成支援する																																		
担当部課		教育委員会学校教育課		実施計画掲載ページ		P 89																																	
目的及び事業内容			石巻市奨学金貸与条例に基づき、経済的理由により修学困難な生徒及び学生に学資を貸与し、有能な人材の育成を図る。 ・奨学金の貸与・償還																																				
取組実績			1 奨学金の貸与 (1) 奨学生の新規募集を行い、石巻市奨学生選考委員会で8名※の新規奨学生を決定した。 ※前年度内定採用者の正式採用も含む。 (2) 貸与区分（月額） <table><tr><td>区 分</td><td>貸与月額</td><td>区 分</td><td>貸与月額</td></tr><tr><td>高校在学</td><td>15,000円</td><td>高専在学</td><td>第3学年まで 第4学年以上</td><td>15,000円 45,000円</td></tr><tr><td>大学在学</td><td>45,000円</td><td>専修学校在学（専門課程）</td><td></td><td>45,000円</td></tr></table> (3) 貸与者数 34名 (4) 貸与金額 17,415,000円					区 分	貸与月額	区 分	貸与月額	高校在学	15,000円	高専在学	第3学年まで 第4学年以上	15,000円 45,000円	大学在学	45,000円	専修学校在学（専門課程）		45,000円																		
区 分	貸与月額	区 分	貸与月額																																				
高校在学	15,000円	高専在学	第3学年まで 第4学年以上	15,000円 45,000円																																			
大学在学	45,000円	専修学校在学（専門課程）		45,000円																																			
成果			2 奨学金の償還 滞納者に対し督促書を郵送した。返済の見込めない滞納者については、その保護者及び連帯保証人に催告書を送付し返済を求め、収納促進を図った。 経済的理由で修学困難な生徒及び学生に教育の機会を与えた。																																				
成果に係る評価			1 貸与状況 <table><tr><td>主な指標項目</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>奨学金貸与者数 （うち新規貸与者数）</td><td>29名（11名）</td><td>35名（11名）</td><td>34名（8名）</td></tr><tr><td>貸与金額</td><td>14,940,000円</td><td>18,540,000円</td><td>17,415,000円</td></tr></table> 2 償還状況（令和7年度） <table><tr><td>項 目</td><td>令和7年度（現年）分</td><td>滞納（過年度）分</td><td>繰上償還分</td></tr><tr><td>調 定 額</td><td>26,816,500円</td><td>29,128,650円</td><td>1,665,000円</td></tr><tr><td>償 還 額</td><td>25,709,500円</td><td>4,215,000円</td><td>1,655,000円</td></tr><tr><td>滞 納 額</td><td>1,107,000円</td><td>24,913,650円</td><td>0円</td></tr><tr><td>償 還 率</td><td>95.9%</td><td>14.5%</td><td>100.0%</td></tr></table>					主な指標項目	R5	R6	R7	奨学金貸与者数 （うち新規貸与者数）	29名（11名）	35名（11名）	34名（8名）	貸与金額	14,940,000円	18,540,000円	17,415,000円	項 目	令和7年度（現年）分	滞納（過年度）分	繰上償還分	調 定 額	26,816,500円	29,128,650円	1,665,000円	償 還 額	25,709,500円	4,215,000円	1,655,000円	滞 納 額	1,107,000円	24,913,650円	0円	償 還 率	95.9%	14.5%	100.0%
主な指標項目	R5	R6	R7																																				
奨学金貸与者数 （うち新規貸与者数）	29名（11名）	35名（11名）	34名（8名）																																				
貸与金額	14,940,000円	18,540,000円	17,415,000円																																				
項 目	令和7年度（現年）分	滞納（過年度）分	繰上償還分																																				
調 定 額	26,816,500円	29,128,650円	1,665,000円																																				
償 還 額	25,709,500円	4,215,000円	1,655,000円																																				
滞 納 額	1,107,000円	24,913,650円	0円																																				
償 還 率	95.9%	14.5%	100.0%																																				
成果に係る評価			令和7年度第3次募集からSNS（LINE）による広報を実施したところ、LINEを通じて本制度を知ったとの応募者が確認されるなど、一定の周知効果が認められた。 昨今の物価高騰を背景として、学費に対する支援ニーズは依然として高いものと考えられることから、今後も真に制度を必要とする家庭に対し、適切に制度周知が図られるよう努めていく。																																				
(単位：円)																																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																	
	19,700,547	19,555,510			17,415,000	2,140,510																																	

予算科目	10 款	教育費	事業名		国際理解教育推進事業												
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち												
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実												
	事業	外国青年英語指導費		(2)	外国語教育を推進する												
担当部課		教育委員会学校教育課		実施計画掲載ページ		P 89											
目的及び事業内容			幼稚園、小・中学校及び高等学校におけるＡＬＴ（外国語指導助手）を活用しての授業や交流を通して外国語教育と国際理解教育の充実を図る。 1 市立中学校、高等学校における外国語科の充実 2 市立小学校における外国語活動、外国語科の充実 3 市立幼稚園、こども園、学びサポートセンターにおける国際理解教育の推進														
取組実績			1 市立中学校・高等学校 市立全ての幼・小・中・高を16のブロックに分け、それぞれに1名ずつＡＬＴを配置した。2名のＪＥＴ－ＡＬＴと14名の民間ＡＬＴ（業務委託）を配置しており、ＪＥＴプログラムのＡＬＴについては、授業以外の場面でも生徒と積極的に接した。どの中・高でも週に1回程度はＡＬＴの指導を受けている。 2 市立小学校 中・高学年で行われている外国語活動・外国語の時間に合わせてＡＬＴを配置した。学級担任や外国語担当教員と協働し、児童が楽しみながら外国語を使用し、コミュニケーション能力の基礎を養えるような授業づくりに努めた。どの小学校も週に1回程度はＡＬＴの指導を受けている。 3 市立幼稚園・こども園・学びサポートセンター 月に1回程度配置し、英語を使った活動等を行い、英語に対する関心を高める機会を設定した。 ※ＪＥＴプログラム…「語学指導等を行う外国青年招致事業」の略称 外国語教育の充実と地域レベルの国際交流の進展を図り、総務省、外務省、文部科学省及び一般財団法人自治体国際化協会（ＣＬＡＩＲ）の協力の下に実施する事業。														
成果			市立幼稚園、こども園、市立小・中・高、学びサポートセンターの全52の施設において、担当教員との質の高いチームティーチングが実践された。また前年に引き続き、高い水準でＡＬＴとの授業を「楽しい」と感じる児童生徒の割合を維持できており、外国語や国際理解に関する学習に対する関心や意欲を高めることに大いに貢献している。 <table><tr><td>主な指標項目</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>ＡＬＴとの授業が楽しいと感じる生徒の割合（中学2年生）</td><td>91.3%</td><td>92.4%</td><td>91.8%</td><td>93.2%</td></tr></table>					主な指標項目	R4	R5	R6	R7	ＡＬＴとの授業が楽しいと感じる生徒の割合（中学2年生）	91.3%	92.4%	91.8%	93.2%
主な指標項目	R4	R5	R6	R7													
ＡＬＴとの授業が楽しいと感じる生徒の割合（中学2年生）	91.3%	92.4%	91.8%	93.2%													
成果に係る評価			現行学習指導要領では、小学校での外国語の時間が増加し、指導内容もより実際のコミュニケーションを意識したものとなっている。小学校におけるＡＬＴのニーズが高まる中、本市では1人のＡＬＴが2～4校程度を担当しており、児童・生徒が常にＡＬＴの指導を受けられる状況とはなっていない。 今後、小学校へのＡＬＴ配置数を増やし、一層の指導の充実を図る必要がある。 授業では担任教員とＡＬＴとのチームティーチングにより、子どもたちが異文化への興味・関心を高め、身近な学習資源を活用して自ら英語力を高めようとする意欲を育むとともに、国際理解教育の更なる充実を図る必要がある。民間委託（株式会社インタラック）所属のＡＬＴは、事前研修や担当者による授業参観を通じて組織的に授業力を向上できるほか、欠員時の代替ＡＬＴの迅速な派遣や生活面のサポート体制が整っているため、行政や学校の負担軽減と安定した指導環境の確保を両立できる。														
(単位：円)																	
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳													
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源										
		79,159,410	78,662,291				78,662,291										

予算科目	10 款	教育費	事業名		いじめ・生徒指導問題対策事業																																															
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																															
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																																															
	事業	いじめ・生徒指導問題対策費		(1)	学校教育の充実を図る																																															
担当部課		教育委員会学校教育課		実施計画掲載ページ		P 87																																														
目的及び事業内容		いじめやその他の生徒指導に関する問題に組織的に対応するため、関係機関等との連携を推進するほか、教員や保護者対象の研修を通して「いじめを許さない風土づくり」を進め、いじめの未然防止及び早期発見・解決を図る。 1 いじめ問題対策連絡協議会、生徒指導問題対策会議の実施 2 いじめの防止や生徒指導上の諸問題の解決に係る研修会、講演会の実施 3 「いじめ防止標語・心のメッセージ集」の作成・配布 4 「S t o p ! いじめ石巻市子どもサミット」の実施																																																		
取 組 実 績		1 いじめ問題対策連絡協議会、生徒指導問題対策会議の実施 市内のいじめの諸問題、生徒指導問題について、各3回の情報交換を行ったほか、有効な連携の在り方について協議した。 2 誰もが行きたくなる学校づくり「標語と心のメッセージ集」の作成・配布 誰もが行きたくなる学校づくりのための標語（小）、メッセージ（中・高）を募集し、メッセージ集を作成して各学校や関係機関に配布し、意識啓発に努めた。 3 「S t o p ! いじめ石巻市子どもサミット」は、市内全中学校のいじめの防止の取組について、オンラインにて行った。サミットの内容について、中学校から学区内の小学校へ報告を行った。 4 いじめの重大事案に対応するため、石巻市いじめ問題対策調査委員会を設置し、情報交換、重大事態が起きた際の対応検討等を行った。 5 いじめ問題対策連絡協議会主催で「学校におけるSNSトラブルに係る法的対応」と題して11月に教育講演会を実施した。																																																		
成 果		【いじめ認知件数の推移】※解消率は、各年度末の数値 <table><tr><td></td><td></td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td rowspan="2">小学校</td><td>認知件数</td><td>186件</td><td>96件</td><td>92件</td><td>68件</td><td>67件</td></tr><tr><td>解消率</td><td>85.50%</td><td>62.50%</td><td>72.83%</td><td>72.06%</td><td>50.7%</td></tr><tr><td rowspan="2">中学校</td><td>認知件数</td><td>39件</td><td>36件</td><td>39件</td><td>31件</td><td>27件</td></tr><tr><td>解消率</td><td>76.90%</td><td>77.78%</td><td>53.85%</td><td>77.42%</td><td>48.1%</td></tr><tr><td rowspan="2">合 計</td><td>認知件数</td><td>225件</td><td>132件</td><td>131件</td><td>99件</td><td>94件</td></tr><tr><td>解消率</td><td>84.00%</td><td>66.67%</td><td>67.18%</td><td>73.74%</td><td>50.0%</td></tr></table> ・令和7年度はいじめの認知件数が令和6年度と比べ、減少しているものの解消率が下がっている。 ・令和7年度はいじめ認知後3か月が経過していないものが多い（令和8年1月～3月のいじめ認知）。 ※『いじめが「解消している」状態とは、①いじめに係る行為が止んでいること、被害者に対する心理的又は物理的な影響を与える行為が止んでいる状態が相当の期間継続していること。この相当の期間とは、少なくとも3か月を目安とする。②被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないこと、いじめに係る行為が止んでいるかどうかを判断する時点において、被害児童生徒本人及びその保護者がいじめの行為により心身の苦痛を感じていないと認められること。』 平成25年10月11日文部科学大臣決定（最終改定 平成29年3月14日）いじめの防止等のための基本的な方針より抜粋							R3	R4	R5	R6	R7	小学校	認知件数	186件	96件	92件	68件	67件	解消率	85.50%	62.50%	72.83%	72.06%	50.7%	中学校	認知件数	39件	36件	39件	31件	27件	解消率	76.90%	77.78%	53.85%	77.42%	48.1%	合 計	認知件数	225件	132件	131件	99件	94件	解消率	84.00%	66.67%	67.18%	73.74%	50.0%
		R3	R4	R5	R6	R7																																														
小学校	認知件数	186件	96件	92件	68件	67件																																														
	解消率	85.50%	62.50%	72.83%	72.06%	50.7%																																														
中学校	認知件数	39件	36件	39件	31件	27件																																														
	解消率	76.90%	77.78%	53.85%	77.42%	48.1%																																														
合 計	認知件数	225件	132件	131件	99件	94件																																														
	解消率	84.00%	66.67%	67.18%	73.74%	50.0%																																														
成果に係る評価		いじめの未然防止と早期発見のために、各校では、いじめアンケートの実施に加え個別面談を実施している。さらに、いじめ認知後も、児童生徒の見守りや早期対応・解決に向けた取組を組織的に行うことで、いじめの解消に努めている。年度内に解消できなかった案件についても、進級及び進学での引継ぎを確実に実施し、指導を継続することで早期の解消を図っている。 今後も、教職員を対象としたいじめの未然防止及び認知後の対応の在り方について研修を深めるとともに、児童生徒同士の望ましい人間関係づくりの推進や道徳教育の充実を図るため、引き続き事業を継続する必要がある。																																																		
(単位：円)																																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																														
	736,317	676,501				676,501																																														

予算科目	10 款	教育費	事業名		特別支援教育支援員配置事業			
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち			
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実			
	事業	特別支援教育事業費		(1)	学校教育の充実を図る			
担当部課		教育委員会学校教育課		実施計画掲載ページ		P 87		
目的及び事業内容			通常の学級に在籍している特別な配慮を必要とする児童生徒の日常生活支援及び学習指導補助を行うため、学校に特別支援教育支援員を配置する。 1 小・中学校への特別支援教育支援員の配置 2 当該児童生徒への日常生活支援及び学習指導補助					
取 組 実 績			1 特別支援教育支援員の配置状況					
			内 訳	R4	R5	R6	R7	
			小学校	希望校数	31校	30校	29校	30校
				支援を要する児童	567人	677人	611人	438人
				配置希望（最低人数）A	128人	137人	154人	161人
				配置人数 B	73人	76人	81人	84人
				充足率 B/A	57.0%	55.5%	52.5%	52.1%
			中学校	希望校数	15校	15校	15校	15校
				支援を要する生徒	116人	169人	166人	123人
				配置希望（最低人数）C	34人	33人	34人	42人
				配置人数 D	21人	22人	22人	24人
				充足率 D/C	61.8%	66.7%	64.7%	57.1%
			【通常の学級における当該児童生徒への支援】					
			・校内就学支援委員会等で特別支援教育支援員の配置が必要であると認められた児童生徒は561人であり、そのうち学校からの配置希望人数203人に対して、小中学校合わせて108人を配置した。特別な配慮を必要とする児童生徒は毎年、増加傾向にある。					
			・校内就学支援委員会において、学級担任や特別支援教育コーディネーター等と特別支援教育支援員が、どのような連携・協力を要するのか事前に決め、学級担任等と連携しながら、児童生徒の実態や状況に合わせた支援を行った。					
			【特別支援教育支援員研修会（年2回）】					
			・年度初めに「特別支援教育支援員としての心構え」について、中間期に「教育現場での発達が気になる子への関わり」についての研修を行い、支援方法の理解を深めた。					
成 果			・小・中学校に特別支援教育支援員を配置し、特別な配慮を必要とする児童生徒が通常学級で他の児童生徒と共に学ぶ際に特別支援教育支援員からの声掛けや寄り添いの支援により、配慮を必要とする子の困り感の軽減、さらに配慮を必要としない児童生徒にとっても学習環境が改善し、より良い学校生活を送ることができるようになっている。また、特別支援学級の児童生徒についても個別に支援を受けることにより、安定した学校生活につながっている。					
			・何らかの配慮が必要な児童生徒の困り感やその行動の原因などについて十分に考え、対応することに努めたことにより、特別支援教育支援員との人間的な触れ合いを支えとし、安心して学校生活が送れるようになった。					
			・特別支援教育支援員の役割は、対象となる児童生徒の支援が第一義的な役割であるが、特別な配慮を必要とする児童生徒が必要な支援を受けて学校生活を送っていくためには、周囲の児童生徒の理解が不可欠でもある。支援を受ける本人以外の児童生徒も特別支援教育支援員の存在についても理解が深まっている。					
成果に係る評価			・支援を必要とする児童生徒が毎年増加しているに伴い、配置した支援員が一人で複数の児童生徒への支援に当たるケースも多くなっている。時間はかかるが、支援員の声掛けや、児童生徒へのタイムリーな支援により、その他の児童生徒を含め、学校全体の学習環境等の良い姿にもつながっている。					
			・学級担任等は、特別支援教育支援員に対して、学級経営の方針や特別な支援が必要な児童生徒の授業及び生活指導などにおけるねらいを情報共有し、その理解を踏まえた対応ができるよう連携を図っていくことが今後もより一層大切であり、求められる視点である。					
(単位：円)								
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳				
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
		275,448,888	272,576,741	4,183,000			268,393,741	

予算科目	10 款	教育費	事業名		定住外国人就学支援事業																			
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																			
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																			
	事業	定住外国人就学支援事業費		(1)	学校教育の充実を図る																			
担当部課		教育委員会学校教育課		実施計画掲載ページ		P 88																		
目的及び事業内容		石巻市に転入し、就学を希望する外国籍の児童生徒を市立小中学校において円滑に受け入れるため、外国語を話すことができる定住外国人就学支援員を必要とする学校に配置し、当該児童生徒の通訳及び言語習得や学校生活等のサポートを行う。																						
取 組 実 績		1 定住外国人就学支援員の配置 支援を要する外国籍の児童生徒に対し、意志疎通が図れる定住外国人就学支援員を配置し、学校での通訳や簡単な日本語指導により、当該児童生徒の学習及び日常生活の支援を行った。 2 定住外国人就学支援員研修会の実施（年2回） 研修会では、定住外国人の児童生徒の実態や支援の在り方について研修を行った。また、定住外国人就学支援員の方々の悩みや不安を解消できるように、情報交換会を設定した。																						
成 果		令和7年度は、支援を必要とする児童生徒5人（小学校3校）全員に定住外国人就学支援員を配置し、学校生活におけるコミュニケーションの手伝いや簡単な日本語指導を行い、当該児童生徒及びその家族の不安を取り除くことができた。また、定住外国人就学支援員研修会を年2回行い、それぞれの取組の成功事例や悩み等を定住外国人就学支援員同士で共有することができた。 <table><tr><td>主な指標項目</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>支援を必要とする外国籍の児童生徒数（校数）</td><td>8人（7校）</td><td>5人（4校）</td><td>8人（8校）</td><td>7人（7校）</td><td>6人（6校）</td></tr><tr><td>配置した支援員数</td><td>8人</td><td>5人</td><td>8人</td><td>7人</td><td>6人</td></tr></table> 支援を要する児童生徒の母国語は、中国語（2人）、シンハラ語（1人）、英語（2人）、タガログ語（1人）であった。					主な指標項目	R3	R4	R5	R6	R7	支援を必要とする外国籍の児童生徒数（校数）	8人（7校）	5人（4校）	8人（8校）	7人（7校）	6人（6校）	配置した支援員数	8人	5人	8人	7人	6人
主な指標項目	R3	R4	R5	R6	R7																			
支援を必要とする外国籍の児童生徒数（校数）	8人（7校）	5人（4校）	8人（8校）	7人（7校）	6人（6校）																			
配置した支援員数	8人	5人	8人	7人	6人																			
成果に係る評価		令和7年度は配置を希望するすべての学校に定住外国人就学支援員を配置し、日本語を話すことができない児童生徒の学校生活を支援することができた。 定住外国人は年々増加傾向にある。また、年度途中に外国から本市に定住を希望するケースもあるため、今後も就学支援員を必要とする児童生徒が増えることが予想される。国籍も様々であり、支援が必要な児童生徒のニーズに十分な対応ができないケースが想定されるため、地域の国際サークルや宮城県国際化協会等の関係機関と連携を密にしながら広く人材を発掘していく必要がある。																						
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	9,778,000	8,625,105				8,625,105																		

予算科目	10 款	教育費	事業名		防災教育充実事業〔復興基金〕	
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち	
	3 目	教育指導奨励費		第 3 節	いのちを守る防災教育の推進	
	事業	学校安全推進費、防災教育充実事業費、学校安全総合支援事業費		(2)	防災教育の充実を図る	
担当部課		教育委員会学校安全推進課	実施計画掲載ページ		P 91、P 92	
目的及び事業内容			復興・防災マップづくり等地域ぐるみの防災教育の実践を通して、非常時においても地域との絆が生かされる基盤を形成し、子どもにとって安心、安全な学校環境づくりを進めるとともに、防災教育副読本等教材の作成を通して、児童生徒が災害と向き合い、たくましく生きる災害対応力を育成する。 1 地域と連携した防災教育の推進（学校防災推進会議の開催、復興・防災マップづくり等） 2 児童生徒の災害対応力育成（防災教育副読本の作成及び全児童生徒へ配付・活用等） 3 緊急地震速報受信機を活用した防災と防災教育の推進（全市立学校へ導入済）			
取 組 実 績			1 学校防災推進会議 有識者、学校関係者、市担当部局、PTA協議会等関係機関で構成する学校防災推進会議において、本市の学校防災の今後の在り方について協議を行った。また、学校防災についてより専門的に調査・研究するため、3つのワーキンググループ（WG）を設置し、学校防災の推進に向けた活動を行った。 【取組内容】 WG1「防災研修」：防災担当教職員や管理職を対象とした研修会の実施、学校防災フォーラムの開催、クロスロード石巻版児童生徒編の活用 WG2「防災管理」：学校安全マニュアルの点検及び改善支援、大川小学校事故検証報告書の提言に関する取組状況調査、地域防災連絡会の活動促進と充実 WG3「防災教育」：防災合言葉、復興・防災マップの募集、防災教育副読本の活用促進及び活用状況の確認 2 防災教育副読本を活用した授業の実践 本市の実態に即した防災教育推進のため、発達段階に応じた内容で作成した防災教育副読本を活用した防災教育を全ての市立小・中学校で展開した。（令和2年度に全面改訂し、その後毎年一部改訂を実施している。） ※防災教育副読本発行部数：小学校：1年生1,000冊、4年生1,000冊 中学校：1年生1,150冊 3 緊急地震速報受信機を活用した避難訓練 児童生徒が災害から命を守り抜くための「主体的に行動する態度」を育成するため、緊急地震速報受信機を導入し、緊急地震速報受信機を活用した実践的な避難訓練を実施した。 ※令和7年度をもって、全市立学校へ緊急地震速報受信機の設置を完了した。			
成 果			学校防災推進会議においては、有識者等から得られた意見を参考に、今後の学校防災の在り方等を検討したことで、学校防災の取組がより一層推進された。 各学校・園では、地震・津波等各種災害や不審者等を想定した避難訓練を令和6年度は平均8.2回、令和7年度は平均8.3回と複数回実施した。訓練の際には、管理職不在時の想定や児童生徒へ事前周知なしで突発的に実施するなど、難易度を高める工夫も取り入れた。 また、全市立学校に導入している緊急地震速報受信機を活用した実践的な避難訓練の実施により、児童生徒の防災対応力の向上及び防災意識の高揚が図られた。			
			区 分		指標	
					目標値	実績値
					達成率（％）	
R6			副読本を用いた授業の実施率（％）		100	100
			各学校・園の避難訓練における総合評価Aの割合（％）		70	41.81
R7			副読本を用いた授業の実施率（％）		100	100
			各学校・園の避難訓練における総合評価Aの割合（％）		70	57.69
						82.41
成果に係る評価			震災から15年が経過し、小・中学校に在籍する児童生徒が震災を経験していない子どもたちとなり、それと同様に震災を経験していない教職員も増えている。このような状況で、震災の実事や教訓を語り継ぎ、風化させないための取組が必須である。今後も、防災教育副読本やクロスロード石巻版等防災教育教材を活用した防災教育の推進、緊急地震速報受信機を活用した児童生徒の主体的な行動を伴った実践的な避難訓練の実施、教職員を対象とした研修会の開催等を継続し、児童生徒及び教職員の防災意識と災害対応力の向上を図るとともに、児童生徒が「自分の命は自分で守る」行動が身に付けられるよう、学校と地域が一体となった防災活動を推進し、地域ぐるみの防災体制の強化及び防災教育のさらなる拡充を図る必要がある。			
(単位：円)						
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳		
				国(県)支出金	地方債	その他
				一般財源		
		5,024,000	4,242,283	1,782,000	2,063,875	396,408

予算科目	10 款	教育費	事業名		学校図書館担当職員配置事業																									
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																									
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																									
	事業	学校図書館担当配置事業費		(1)	学校教育の充実を図る																									
担当部課		教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 88																									
目的及び事業内容			各校の図書館担当教諭と協働し、学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童生徒及び教員による学校図書館利用に係る一層の促進に資する。 1 学校図書館担当職員（学校司書）の配置 2 学校図書館担当職員（学校司書）研修等の実施																											
取 組 実 績			平成28年度から学校司書の配置を開始し、令和7年度は市内全小中学校（47校）に17人を配置した。 1 学校図書館担当職員（学校司書）の配置状況 <table><tr><td>年 度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>人 数</td><td>15人</td><td>16人</td><td>17人</td><td>17人</td><td>17人</td></tr><tr><td>学 校 数</td><td>44校</td><td>48校</td><td>49校</td><td>49校</td><td>47校</td></tr><tr><td>内 訳</td><td>小31・中13</td><td>小33・中15</td><td>小32・中17</td><td>小32・中17</td><td>小30・中17</td></tr></table> ※学校図書館担当職員1名あたり2校～3校を兼務。 2 学校図書館担当職員（学校司書）研修等の実施 市図書館司書を講師とした全体研修会等を開催し、技能向上に努めた。 内容：初任者研修（実務研修）2回 全体研修（実技、情報共有等）5回				年 度	R3	R4	R5	R6	R7	人 数	15人	16人	17人	17人	17人	学 校 数	44校	48校	49校	49校	47校	内 訳	小31・中13	小33・中15	小32・中17	小32・中17	小30・中17
年 度	R3	R4	R5	R6	R7																									
人 数	15人	16人	17人	17人	17人																									
学 校 数	44校	48校	49校	49校	47校																									
内 訳	小31・中13	小33・中15	小32・中17	小32・中17	小30・中17																									
成 果			1 令和6年度に引き続き学校図書館担当職員（学校司書）を全小中学校に配置した。 2 初任学校司書を対象とした研修を実施し、基礎的知識の習得を図った。また、全体研修会を開催し、他の学校司書の事例を検討していくことにより、資質及び技能の向上を図った。 3 学校司書の配置により図書館機能の向上が図られたが、貸出冊数は前年度から減少した。 要因としては、学校図書館システムの本格稼働初年度にあたり、既存図書のパークード貼付・蔵書データ登録作業等の業務が集中的に発生したため、貸出制限をせざるを得ない期間が発生したことによるものとする。 ■図書貸出実績 <table><tr><td>年度</td><td>小学校</td><td>中学校</td><td>合計</td></tr><tr><td>R3</td><td>145,052 冊</td><td>11,858 冊</td><td>156,910 冊</td></tr><tr><td>R4</td><td>158,028 冊</td><td>10,163 冊</td><td>168,191 冊</td></tr><tr><td>R5</td><td>191,550 冊</td><td>9,980 冊</td><td>201,530 冊</td></tr><tr><td>R6</td><td>152,617 冊</td><td>9,218 冊</td><td>161,835 冊</td></tr><tr><td>R7</td><td>131,548 冊</td><td>8,863 冊</td><td>140,411 冊</td></tr></table>				年度	小学校	中学校	合計	R3	145,052 冊	11,858 冊	156,910 冊	R4	158,028 冊	10,163 冊	168,191 冊	R5	191,550 冊	9,980 冊	201,530 冊	R6	152,617 冊	9,218 冊	161,835 冊	R7	131,548 冊	8,863 冊	140,411 冊
年度	小学校	中学校	合計																											
R3	145,052 冊	11,858 冊	156,910 冊																											
R4	158,028 冊	10,163 冊	168,191 冊																											
R5	191,550 冊	9,980 冊	201,530 冊																											
R6	152,617 冊	9,218 冊	161,835 冊																											
R7	131,548 冊	8,863 冊	140,411 冊																											
成果に係る評価			市内小中学校すべての蔵書登録が完了し、令和8年度から全校が同一システム上で安定的に運用している。学校図書館の利用促進に向けては、学校司書を中心とした学校図書館システムの利活用促進や好事例の横展開、児童生徒への動機付けなどの取組を進めていく。また、電子図書事業については、「読書への入り口や習慣化の促進」という役割を担うことから、今後は、学校図書館利用状況と電子図書利用状況を継続的に精査し、事業効果の検証を行いながら、効果が認められる場合には、学校図書館の充実と併せ、相互に補完し合う取組として両輪で推進していく。																											
(単位：円)																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	48,493,590	47,999,960				47,999,960																								

予算科目	10 款	教育費	事業名		サイエンスラボ事業																				
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																				
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																				
	事業	サイエンスラボ事業費		(1)	学校教育の充実を図る																				
担当部課		教育委員会学校教育課		実施計画掲載ページ		P 88																			
目的及び事業内容			児童生徒が科学への興味・関心をもち、問題解決の力や自然を愛する心情を育てるとともに、教員の理科指導力の向上を通して、石巻市の理科教育の充実を図る。 1 科学巡回教室、科学イベントの実施 2 教材・教具の開発及び教員への提供 3 学校・教員に対する相談活動・研修会の実施 4 企業や研究機関との連携																						
取 組 実 績			1 科学巡回教室、科学イベントの実施 令和7年度は、科学巡回教室、科学イベントを、23小学校、1中学校、4幼稚園・こども園、その他1施設等において延べ63回実施した。 2 教材・教具の開発及び教員への提供 原子・分子の模型の作製を行い、各学校での授業に活用した。 3 学校・教員に対する相談活動・研修会の実施 「科学巡回教室」で学校を訪問した際に、担当教師と情報交換等を行った。 4 企業や研究機関との連携 日本電子株式会社の電子顕微鏡を活用した出前授業を実施した。 5 夏季休業に、小中学校教職員を対象にしたサイエンスラボ理科研修会を実施した。																						
成 果			1 市内小学校に加え、中学校、幼稚園、こども園、学びサポートセンターなどで、幅広く科学巡回教室や科学イベントを開催した。分かりやすく楽しいプログラムを作成し、事後アンケートでは「楽しかった」「分かった」と肯定的な意見が多かった。アンケート結果は、下表のとおりである。 2 原子・分子の模型を用いることで、ミクロの世界をイメージさせるのに有効な手段となった。 3 地域の要請に応じて科学イベントを行うことで、特に小学生以下の児童に対して科学への興味・関心を高めることができた。 4 日本電子株式会社が、小学校5校に、ポータブル電子顕微鏡を用いた出前授業を行い、普段見ることができないミクロの世界に触れ、科学への興味・関心を高めることができた。 アンケートにおける「楽しかった」「分かった」の肯定的な回答をした児童生徒の割合は次のとおり。 <table><tr><td></td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>楽しかった</td><td>98.2%</td><td>97.9%</td><td>97.1%</td><td>98.0%</td><td>98.8%</td></tr><tr><td>分かった</td><td>96.9%</td><td>95.7%</td><td>95.3%</td><td>96.2%</td><td>96.3%</td></tr></table>						R3	R4	R5	R6	R7	楽しかった	98.2%	97.9%	97.1%	98.0%	98.8%	分かった	96.9%	95.7%	95.3%	96.2%	96.3%
	R3	R4	R5	R6	R7																				
楽しかった	98.2%	97.9%	97.1%	98.0%	98.8%																				
分かった	96.9%	95.7%	95.3%	96.2%	96.3%																				
成果に係る評価			科学巡回教室や科学イベントは、小・中学校に加え、幼稚園・こども園のほか、保育所や子ども会等に幅広く活用され、より多くの子どもたちを対象に、科学への興味・関心を高められる事業として展開している。さらに夏季休業には、教員を対象とした理科教育に係る研修会を開催し、教員の理科指導力の向上を図ることができた。児童生徒をはじめ幅広い世代の子どもたちに、科学への興味・関心を持たせるとともに、教員の指導力向上を図ることができていることから、本事業の継続が必要である。 関係機関との連携により、事業に広がりや深まりを持たせることができた。今後は、より教員の理科指導力の向上を図るため、実験の準備サポートや授業サポートに力を入れた取組を進めて行く必要がある。																						
(単位：円)																									
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																				
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
	7,555,138		7,139,805				5,000,000	2,139,805																	

予算科目	10 款	教育費	事業名		学校わくわくプラン事業																									
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																									
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																									
	事業	学校わくわくプラン事業費		(1)	学校教育の充実を図る																									
担当部課		教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 88																									
目的及び事業内容		児童生徒の主体的に生きる力を育成するために、子供たちの学習や活動意欲を高める取組、学校と家庭・地域が連携した活動、教員の指導力向上の視点から、推進地区ごとに小・中学校が連携しながらわくわくする学校づくりを実践する。																												
取 組 実 績		1 学校わくわくプラン推進会議の開催 7人（校長1人・教頭1人・教諭4人・保護者代表1人）により構成し、3回行った。 2 学校わくわくプラン推進地区（7地区）ごとの取組 地区ごとに計画して、講演会や研修会等を実施した。 3 市内施設を活用した体験的学習の実施 小学生を対象に、震災遺構や市内施設の見学等をバスを借り上げて実施した。 4 学校わくわくプラン事業報告書・実践事例集の作成・発行 年度末に発行し、推進地区ごとの取組と教科等指導員による協同学習の実践例を共有した。 5 出張ダンス教室「ムトシちゃんとおどろう！」 いしのまき観光大使を務めるプロダンサー・武藤真也様を講師に市内9小学校でダンス教室を実施 6 わくわくチャレンジの実施 パズルやクイズ、科学イベント、各種検定を通して、児童の知的好奇心を育んだ。 7 タブドリ祭りの実施 タブレットドリルの利用促進を図るため、11月に実施した。 8 小中連携の推進 17中学校におけるMLA理論（マルチレベルアプローチ）の実践 SEL：コミュニケーション力を育む ・対人・意志決定スキルの向上等 ピア・サポート：思いやりの心を育む ・小中連携や縦割り活動の取組・ボランティア活動の実践等 PBIS：夢や志を育む ・小中学校9年間の見通しを持った活動・各校、各中学校区での異年齢交流活動等 協同学習：主体的に学ぶ力を育む ・協同学習の実践子どもたちの学習意欲の向上																												
成 果		石巻市教育施策アンケートにおける「学校は楽しいですか」の項目に、肯定的な回答（楽しい、まあまあ楽しい）をした児童生徒の割合は次のとおり。 <table><tr><td></td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>小学校</td><td>92.9%</td><td>92.4%</td><td>92.5%</td><td>92.6%</td><td>92.3%</td></tr><tr><td>中学校</td><td>89.4%</td><td>90.0%</td><td>91.7%</td><td>91.5%</td><td>93.7%</td></tr><tr><td>平 均</td><td>91.2%</td><td>91.2%</td><td>92.1%</td><td>92.1%</td><td>93.0%</td></tr></table>						R3	R4	R5	R6	R7	小学校	92.9%	92.4%	92.5%	92.6%	92.3%	中学校	89.4%	90.0%	91.7%	91.5%	93.7%	平 均	91.2%	91.2%	92.1%	92.1%	93.0%
	R3	R4	R5	R6	R7																									
小学校	92.9%	92.4%	92.5%	92.6%	92.3%																									
中学校	89.4%	90.0%	91.7%	91.5%	93.7%																									
平 均	91.2%	91.2%	92.1%	92.1%	93.0%																									
成果に係る評価		「出張ダンス教室」では、市内小学校9校、児童630名が参加し、多くの児童が体を動かし、自分を表現する楽しさを味わった。また、パズルやクイズ、科学イベント、各種検定を受検することで、児童の知的好奇心を育んだ。本事業は令和8年度をもって終了となるが、「非認知能力※」の育成のために、体験活動等が実施できる環境作りをする必要がある。 ※意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、自制心、創造性、コミュニケーション能力といった、測定できない個人の特性による能力。 本事業で取り組んでいるMLA理論（マルチレベルアプローチ）を基にした取組は、平成26年度から、広島大学大学院栗原慎二教授を講師に招き市内全小中学校で実施しており、教員の指導力と「学校は楽しい」と答える児童生徒の割合の向上に寄与している。																												
(単位：円)																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	1,977,000	1,597,792			1,000,000	597,792																								

予算科目	10 款	教育費	事業名		スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー配置事業																																																														
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																																														
	3 目	教育指導奨励費		第 3 節	いのちを守る防災教育の推進																																																														
	事業	スクールカウンセラー配置事業費 スクールソーシャルワーカー配置事業費		(1)	心のケアや相談体制の充実を図る																																																														
担当部課		教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 91																																																														
目的及び事業内容		カウンセラーの相談活動により、児童生徒・保護者・教職員の心理面における安定を図るとともに、児童生徒の健全育成に資する。また、スクールソーシャルワーカーの配置により、不登校対応を中心に暴力行為等の問題行動を未然に防止する。																																																																	
取組実績		1 児童生徒・保護者・教職員からの要望に応じたカウンセリングの実施 2 問題を抱える児童生徒に対する面談等の働きかけ 3 児童相談所等の関係諸機関との連携体制の構築 等																																																																	
成果		1 スクールカウンセラー (1) 配置状況 全小・中・高校に配置（31人） (2) 回数 1人あたり 小学校各校年間6～40回、中学校各校年間24～42回、桜坂高校60回 (3) 活動内容 面談・カウンセリング研修等の実施・カウンセリングルームの環境整備 各学級巡回・各種ケース会議・おたよりの作成 等 2 スクールソーシャルワーカー (1) 配置状況 10人配置 (2) 回数及び時間 訪問回数 1,675回 活動時間 3,567時間 (3) 活動内容 ケース会議 123回（教職員等 81回（86件） 関係機関等 42回（42件））																																																																	
成果に係る評価		1 スクールカウンセラー 全小・中学校には県からの配置を受け、桜坂高校には市がハイスクールカウンセラーを配置し、児童生徒、保護者、教職員が相談できる体制を整えることができた。相談者が専門的なカウンセリングを受けることにより、震災後の心のケアも含め、学校や家族の内在的な問題等の解決の一助としての役割を担った。 ○相談件数 <table><tr><th>学校区分</th><th>相談</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td rowspan="2">小学校</td><td>件数</td><td>3,540件</td><td>3,409件</td><td>3,031件</td><td>3,173件</td><td>2,890件</td></tr><tr><td>人数</td><td>3,743人</td><td>3,490人</td><td>3,211人</td><td>3,265人</td><td>2,986人</td></tr><tr><td rowspan="2">中学校</td><td>件数</td><td>2,199件</td><td>2,515件</td><td>2,270件</td><td>1,687件</td><td>1,361件</td></tr><tr><td>人数</td><td>2,138人</td><td>2,648人</td><td>2,423人</td><td>1,906人</td><td>1,432人</td></tr><tr><td rowspan="2">桜坂高校</td><td>件数</td><td>224件</td><td>236件</td><td>189件</td><td>210件</td><td>208件</td></tr><tr><td>人数</td><td>350人</td><td>348人</td><td>307人</td><td>340人</td><td>313人</td></tr></table> 2 スクールソーシャルワーカー 学校、学びサポートセンター、庁内関係課、病院ほか関係団体等と連携を図ることにより、問題を抱える児童生徒等に対し、家庭訪問や巡回相談、支援関係者会議等でケース対応することができた。 ○相談後の状況 <table><tr><th></th><th>問題が解決</th><th>支援中で好転</th><th>支援中</th><th>その他</th></tr><tr><td>R7年度相談件数（計433件）</td><td>45件</td><td>133件</td><td>205件</td><td>50件</td></tr><tr><td>割合</td><td>10%</td><td>31%</td><td>47%</td><td>12%</td></tr></table>					学校区分	相談	R3	R4	R5	R6	R7	小学校	件数	3,540件	3,409件	3,031件	3,173件	2,890件	人数	3,743人	3,490人	3,211人	3,265人	2,986人	中学校	件数	2,199件	2,515件	2,270件	1,687件	1,361件	人数	2,138人	2,648人	2,423人	1,906人	1,432人	桜坂高校	件数	224件	236件	189件	210件	208件	人数	350人	348人	307人	340人	313人		問題が解決	支援中で好転	支援中	その他	R7年度相談件数（計433件）	45件	133件	205件	50件	割合	10%	31%	47%	12%
学校区分	相談	R3	R4	R5	R6	R7																																																													
小学校	件数	3,540件	3,409件	3,031件	3,173件	2,890件																																																													
	人数	3,743人	3,490人	3,211人	3,265人	2,986人																																																													
中学校	件数	2,199件	2,515件	2,270件	1,687件	1,361件																																																													
	人数	2,138人	2,648人	2,423人	1,906人	1,432人																																																													
桜坂高校	件数	224件	236件	189件	210件	208件																																																													
	人数	350人	348人	307人	340人	313人																																																													
	問題が解決	支援中で好転	支援中	その他																																																															
R7年度相談件数（計433件）	45件	133件	205件	50件																																																															
割合	10%	31%	47%	12%																																																															
成果に係る評価		スクールカウンセラーについては、相談活動、情報交換やケース会議、相談しやすい環境づくり等も実施し、教職員の力量の向上や組織的かつ適切な対応のための組織づくりに生かすことができた。諸問題の未然防止と早期対応、震災後の心のケア、複合化する問題の解決の面からも、スクールカウンセラーによる相談体制の充実と連携を図っていくことが引き続き重要である。多様化する児童生徒の悩みを受入れ、ともに解決の糸口や対処法を考えていくスクールカウンセラー配置事業の効果は大きく、今後も継続が必要である。 スクールソーシャルワーカーについては、課題状況に応じた人員の配置及び各関係機関との連携により、継続した支援に繋がっていることから、今後も事業を継続する必要がある。																																																																	
(単位：円)																																																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																													
	21,660,000	20,660,589	12,875,000			7,785,589																																																													

予算科目	10 款	教育費	事業名		石巻市学びサポートセンター事業						
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち						
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実						
	事業	学びサポートセンター事業費		(1)	学校教育の充実を図る						
担当部課		教育委員会学校教育課		実施計画掲載ページ		P 89					
目的及び事業内容			学校生活や登校への不安や心配を抱える児童生徒及び保護者に対する相談・支援の充実を図り、不登校児童生徒の未然防止や早期解決に資するとともに、通所やアウトリーチ、相談・支援など情報を一元化して、学校、関係機関との連携を迅速に進め、児童生徒に応じた支援を行うことで学習機会の確保と社会的自立を目指す。 1 【学ベース】 通所による学習支援・教育相談・体験活動 2 【心リーチ】 訪問による学習支援（学校への別室児童生徒支援） 3 【相トーク】 保護者や学校対象の相談・支援								
取 組 実 績	1 【学ベース】 体験活動：書道教室、スポーツ教室、フリースクールとの交流会等										
	年度		R5			R6			R7		
			小	中	計	小	中	計	小	中	計
	利用者数		12人	26人	38人	10人	32人	42人	14人	31人	45人
	開所日		227日			214日			201日		
	2 【心リーチ】										
	年度		R5			R6			R7		
	支援訪問回数		175回			31回			138回		
	支援対象人数		32人			1人			36人		
	3 【相トーク】										
年度		R5			R6			R7			
保護者 相談件数		来所	186件			215件			163件		
		学校訪問	3件			0			0		
		家庭訪問	51件			0			0		
		合計	240件			215件			163件		
成 果	令和5年度から石巻市学びサポートセンター【コイル】を開設し、これまでの通所型の適応指導教室、アウトリーチによる心のサポートの機能に、学校生活に不安や悩みを抱える児童生徒、保護者の相談・支援を行う機能を加えて総合的に児童生徒の学びのサポートを行うとともに、情報を一元化して、学校や関係機関との連携を迅速に進め、よりスムーズに対応ができるようになった。 石巻市学びサポートセンター【コイル】では、通所する児童生徒の学習や生活状況に関する相談に応じ、また、通所児童生徒の個々の進度に応じた学習支援を行うことにより、学習機会を確保するとともに学習することの楽しさを味わわせることができた。 学校生活や登校への不安や心配を抱える児童生徒が通所し、様々な体験活動や仲間とともに活動することを通して連帯感や協調性のすばらしさを感じ、また、他者とのコミュニケーション能力や社会性を高めることができた。 令和5年度から開設している石巻市向陽学びサポートセンターに加え、令和7年度は石巻市住吉学びサポートセンターを週2回開設したことで、児童生徒や保護者の状況に応じて学びの場を選択することができるようになった。また、体験活動や体力向上に向けた活動を実施することができた。 なお、学校を交えた年2回の定期的な懇談会の開催や、保護者及び在籍校との連携を密に行うことにより、児童生徒の些細な変化に迅速に対応することができた。										
	成果に係る評価										
通所型の適応指導教室とアウトリーチ型の子どものサポートハウスを統合し、「石巻市学びサポートセンター」を設置したことにより、学校生活や登校への不安や心配を抱える児童生徒に対してそれぞれの特徴を生かした支援を展開することができた。 令和7年度は、中学校4校に対して訪問支援を行い、通所児童生徒に加えて学校の別室で学習を行う生徒への学習支援を充実させ、不登校状態にある児童生徒や学習に不安を抱える児童生徒への学習機会の確保と社会的自立に向けた支援を提供することができた。											
(単位：円)											
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳						
					国(県)支出金		地方債		その他		一般財源
	40,122,554		38,633,281		4,500,000						34,133,281

予算科目	10 款	教育費	事業名		幼児教育推進事業		
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち		
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実		
	事業	幼児教育推進事業費		(4)	就学に係る支援を強化する		
担当部課		教育委員会学校教育課		実施計画掲載ページ		P 90	
目的及び事業内容		石巻市幼児教育センターを設置し、小学校入学に係る幼児の引継ぎをスムーズに行うため、公立及び私立の幼稚園・こども園・保育所と小学校の連携を推進し、幼児教育アドバイザーの巡回指導や研修事業等を通じ、幼稚園教諭、保育士と小学校教諭との交流と相互理解を図る。 また、公立及び私立の幼稚園、こども園、保育所を幼児教育アドバイザーが巡回し、幼児教育の質を高める指導助言を行うことにより、基本的生活習慣や学習習慣、集団生活づくり等について、一貫した指導体制を構築する。					
取 組 実 績		1 幼稚園・保育所・こども園・小学校との連携の推進 (1) 幼保こ小合同研修会を活用した連携体制の構築 2回 (2) 市内幼児教育施設園長・所長等懇談会の開催 2回 (3) 幼児教育センターだよりの発行（交流・連携の促進） 14回 (4) 市内幼児教育施設・小学校間における共有のための引継ぎ枠の作成に向けた情報収集 2 教育・保育内容の充実と教員・保育士の資質向上 (1) 幼児教育推進会議の開催（幼児教育プランに関する意見聴取） 3回 (2) 幼保こ小合同研修会の開催 2回 (3) 幼児教育アドバイザーによる幼稚園、こども園、保育所への巡回訪問回数 53回 (4) 幼児教育センターだより発行（アドバイザー活動の広報） 15回					
成 果		1 幼稚園・保育所・こども園・小学校との連携の推進 学校の設置環境により、交流した幼児教育施設の公立・私立の差異はあるが、研修会での情報交換の時間の設定、センターだよりでの交流活動の広報、園長・所長等懇談会による顔の見える関係づくりにより、小学校30校中20校が交流を行うことができた。 2 教育・保育内容の充実と教員・保育士の資質向上 幼児教育センター開設2年目である令和7年度は、幼児教育アドバイザーの巡回訪問は小学校との連携・接続をより推進するために、5歳児の保育を中心に参観した。4月から就学を意識して保育が展開され、当番活動（人数調べ、布団敷き、小さい子のお世話、おもちゃパトロール）や、時刻を意識した遊びや活動が見られた。これらを踏まえてアプローチカリキュラムの作成にも取り組みはじめた。					
成果に係る評価		幼稚園、保育所、こども園との交流により、小学校入学に伴う児童の引継ぎが適切に行われている。今後も研修会等の開催を通して、一層顔の見える関係づくりを進める必要がある。 小学校入学時における児童の引継ぎを適切に行うため、架け橋期における幼児期の育ちを具体的に小学校につなげる手段を具体化することが必要である。各校園が架け橋期のカリキュラムを作成することが必要だが、施設によっては、カリキュラムに対する意識の差がみられる。カリキュラムの必要性等について研修会で周知し、作成につなげるとともに、幼稚園・保育所・こども園・小学校の連携の促進を図り、育ちをつなげる意識を醸成することとしている。					
予算の執行状況		(単位：円)					
		予算額	決算額	決算額の財源内訳			
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
		7,510,000	7,296,526	2,421,000			4,875,526

予算科目	10 款	教育費	事業名		心のケア充実事業（震災心のサポート事業） 〔復興基金〕	
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち	
	3 目	教育指導奨励費		第 3 節	いのちを守る防災教育の推進	
	事業	震災心のサポート事業費（東日本大震災関係分）		（ 1 ）	心のケアや相談体制の充実を図る	
担当部課		教育委員会学校教育課		実施計画掲載ページ		P 91
目的及び事業内容		1 震災心の支援室業務 震災により、死亡又は行方不明となった児童生徒の御遺族に対して、相談員、臨床心理士による個別相談等の支援活動を実施する。 2 児童精神科医による子ども支援関係者会議、個別相談等 震災により、心に深い傷を受けた園児、児童生徒等に対し、医療専門家等を交えた子ども支援関係者会議や個別相談等を行い、よりきめ細やかな心のケアを実施する。				
取 組 実 績		1 震災心の支援室業務 (1) 相談員・臨床心理士による個別訪問や電話、来室による相談を継続して行った。 (2) 支援室だよりの発行 (3) 支援室会議を月1回、サポート会議を4回（5月、9月、11月、1月）開催 2 児童精神科医による個別相談、心のケア研修会 (1) 園児、児童生徒等の心のケアに携わる者が一体となった心の支援体制の確立 児童生徒本人や保護者、学校関係者を対象とした個別相談を24回行った。 (2) 心のケアに関する専門的な研修 児童精神の専門医を講師に、教職員等を対象に研修会を1回開催した。				
成 果		1 震災心の支援室業務 (1) 個別訪問、電話、来室により御遺族から継続的に話を聞くことができた。 (2) 7月を除く奇数月にサポート会議を開催し精神科医等から助言を得ることで、御遺族の心情に沿った適切なサポートを行うことができた。 2 児童精神科医による個別相談等 (1) 子ども支援関係者会議及び個別相談 6月12日、9月11日、11月6日、1月15日の計4日間開催し、対面式で児童生徒、保護者、職員などの個別相談を行い、事案の解決に向けて具体的な心のケアについて考えた。 (メンバー) 国府台病院児童精神科にて勤務経験のある開業医、 スクールソーシャルワーカー、当該学校職員、児童生徒本人、その保護者等 (2) 心のケア研修会 7月3日、講師に国府台病院児童精神科勤務経験のある牛島洋景氏をお迎えし、36名の教職員が参加して、児童生徒の成長につながる保護者支援についての研修を行った。				
成果に係る評価		1 震災心の支援室業務 御遺族の生活状況においては、高齢化や独居等の懸念があるため、精神科医からの助言を得ながら、他の機関と連携し、状況に応じたきめ細やかなサポートを行った。（令和8年3月末で閉室） 2 児童精神科医による個別相談 児童精神科医による個別相談では、県内では専門医のいない疾病等や、配慮を要する児童生徒の対応方法について意見や助言を得ることができることから、保護者や教員等の支援者にとって有用かつ効果的であるため、今後も事業を継続していく必要がある。				
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳	
					国(県)支出金	一般財源
	1,401,000		1,233,862			1,233,862

予算科目	10 款	教育費	事業名		震災奨学金給付事業										
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち										
	6 目	奨学資金基金費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実										
	事業	奨学資金基金費（東日本大震災関係分）		（ 3 ）	有能な人材を育成支援する										
担当部課		教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 89										
目的及び事業内容		東日本大震災により親が死亡又は行方不明となり、父母のない児童生徒に対して震災奨学金を給付することにより、安定した修学の機会を提供し、もって有能な人材を育成する。													
取 組 実 績		1 対象者への給付 4月と9月に月額金を給付した。 (1) 対象者 震災当時石巻市内に住所を有していた親が、震災により死亡又は行方不明となり、両親がいなくなった小・中・高校生。 (2) 給付額 ア 月額（年額） 小学校等に在学する者 10,000円（120,000円） 中学校等に在学する者 20,000円（240,000円） 高等学校等に在学する者 30,000円（360,000円） イ 一時金 中学3年生 300,000円 高校3年生 500,000円 (3) 給付の期間 対象者が高等学校等を卒業するまで給付する。ただし、学校教育法に規定する修業年限内とする。													
成 果		令和7年度は高校生2名の震災孤児に奨学金を給付した。 <table><tr><td>区分</td><td>人数</td><td>給付額</td></tr><tr><td>高校生</td><td>2人</td><td>720,000 円</td></tr><tr><td>合計</td><td>2人</td><td>720,000 円</td></tr></table>					区分	人数	給付額	高校生	2人	720,000 円	合計	2人	720,000 円
区分	人数	給付額													
高校生	2人	720,000 円													
合計	2人	720,000 円													
成果に係る評価		震災奨学金を給付することにより、震災孤児の修学を経済的に支援するとともに、安定した修学機会の提供に寄与することができた。今後に対象者の進学状況を確認しながら、事業終了年度（令和9年度）まで適切に給付を行っていく。													
(単位：円)															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳												
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源									
	720,000	720,000			720,000										

予算科目	10 款	教育費	事業名		遠距離通学支援事業（小学校）																																					
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																					
	1 目	学校管理費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																																					
	事業	小学校管理費（教育総務関係）		（ 4 ）	就学に係る支援を強化する																																					
担当部課		教育委員会教育総務課	実施計画掲載ページ		P 90																																					
目的及び事業内容		小学校の統廃合等により遠距離通学となる児童に対し、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。 ・スクールバス等の運行 ・遠距離通学費補助金の交付																																								
取 組 実 績		遠距離通学となる児童に対し、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施した。 1 スクールバス等の運行 (1) 遠距離通学となる9校に対し、バス20台、タクシー6台（雄勝中と共用の4台含む）、ポート1台の運行を行った。 ※スクールバス等対象校（R7） 稲井小学校、飯野川小学校、二俣小学校、雄勝小学校、万石浦小学校、桃生小学校、北上小学校、鮎川小学校、大原小学校 2 遠距離通学費補助金の交付 (1) 公共交通機関等を利用し通学している2校22人に対し、補助金を交付した。 ※遠距離通学費補助金対象校（R7） 大谷地小学校、二俣小学校																																								
成 果		小学校の統廃合に伴う遠距離通学対策として、スクールバスの運行や公共交通機関の利用費助成を実施した。これにより、児童の安全な登下校の確保と、保護者の経済的負担の軽減が図られた。 1 スクールバス等の運行 <table><tr><td>区分</td><td>年度</td><td>学校数</td><td>対象人数</td><td>事業費</td></tr><tr><td rowspan="3">スクールバス等</td><td>R5</td><td>10校</td><td>359人</td><td>114,165,362 円</td></tr><tr><td>R6</td><td>10校</td><td>342人</td><td>118,460,428 円</td></tr><tr><td>R7</td><td>9校</td><td>479人</td><td>155,065,336 円</td></tr></table> 2 遠距離通学費補助金の交付 <table><tr><td>区分</td><td>年度</td><td>学校数</td><td>対象人数</td><td>補助額</td></tr><tr><td rowspan="3">遠距離通学費補助金</td><td>R5</td><td>2校</td><td>29人</td><td>1,246,770 円</td></tr><tr><td>R6</td><td>2校</td><td>25人</td><td>1,424,520 円</td></tr><tr><td>R7</td><td>2校</td><td>22人</td><td>416,640 円</td></tr></table>					区分	年度	学校数	対象人数	事業費	スクールバス等	R5	10校	359人	114,165,362 円	R6	10校	342人	118,460,428 円	R7	9校	479人	155,065,336 円	区分	年度	学校数	対象人数	補助額	遠距離通学費補助金	R5	2校	29人	1,246,770 円	R6	2校	25人	1,424,520 円	R7	2校	22人	416,640 円
区分	年度	学校数	対象人数	事業費																																						
スクールバス等	R5	10校	359人	114,165,362 円																																						
	R6	10校	342人	118,460,428 円																																						
	R7	9校	479人	155,065,336 円																																						
区分	年度	学校数	対象人数	補助額																																						
遠距離通学費補助金	R5	2校	29人	1,246,770 円																																						
	R6	2校	25人	1,424,520 円																																						
	R7	2校	22人	416,640 円																																						
成果に係る評価		遠距離通学となる児童の安全性向上と保護者の費用負担軽減は重要な課題である。地域の実情を考慮しつつ、今後も効果的な通学支援を継続していく必要がある。																																								
(単位：円)																																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																				
	157,870,450	155,481,976	9,089,000			146,392,976																																				

予算科目	10 款	教育費	事業名		就学援助・特別支援教育就学奨励事業（小学校）																																											
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																											
		2 目		教育振興費	第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																																										
		事業		小学校教育振興援助費	（ 4 ）	就学に係る支援を強化する																																										
担当部課		教育委員会教育総務課		実施計画掲載ページ		P 90																																										
目的及び事業内容		経済的な理由により就学が困難な児童の保護者又は特別支援学級へ就学する児童の保護者に対して、必要な援助を行うことにより経済的な負担を軽減し、児童の就学の機会を確保する。 ・就学援助費の助成 ・特別支援教育就学奨励費の助成																																														
取 組 実 績	1 就学援助費		【参考】被災児童就学援助費																																													
	認定者数 832名 / 児童数 5,451名 （15.26%）		認定者数 511名 （9.37%）																																													
	<table><tr><td>学用品費</td><td>9,945,305 円</td></tr><tr><td>校外活動費（宿泊なし）</td><td>2,235,662 円</td></tr><tr><td>校外活動費（宿泊あり）</td><td>432,948 円</td></tr><tr><td>通学費</td><td>0 円</td></tr><tr><td>新入学学用品費</td><td>1,084,140 円</td></tr><tr><td>新入学準備金</td><td>3,665,100 円</td></tr><tr><td>修学旅行費</td><td>3,591,251 円</td></tr><tr><td>給食費</td><td>36,877,578 円</td></tr><tr><td>医療費</td><td>721,230 円</td></tr><tr><td>計</td><td>58,553,214 円</td></tr></table>		学用品費	9,945,305 円	校外活動費（宿泊なし）	2,235,662 円	校外活動費（宿泊あり）	432,948 円	通学費	0 円	新入学学用品費	1,084,140 円	新入学準備金	3,665,100 円	修学旅行費	3,591,251 円	給食費	36,877,578 円	医療費	721,230 円	計	58,553,214 円	<table><tr><td>学用品費</td><td>6,936,850 円</td></tr><tr><td>校外活動費（宿泊なし）</td><td>1,630,341 円</td></tr><tr><td>校外活動費（宿泊あり）</td><td>299,194 円</td></tr><tr><td>通学費</td><td>0 円</td></tr><tr><td>新入学学用品費</td><td>970,020 円</td></tr><tr><td>新入学準備金</td><td>1,286,000 円</td></tr><tr><td>修学旅行費</td><td>2,639,183 円</td></tr><tr><td>給食費</td><td>25,709,970 円</td></tr><tr><td>医療費</td><td>0 円</td></tr><tr><td>計</td><td>39,471,558 円</td></tr></table>						学用品費	6,936,850 円	校外活動費（宿泊なし）	1,630,341 円	校外活動費（宿泊あり）	299,194 円	通学費	0 円	新入学学用品費	970,020 円	新入学準備金	1,286,000 円	修学旅行費	2,639,183 円	給食費	25,709,970 円	医療費	0 円	計	39,471,558 円
	学用品費	9,945,305 円																																														
校外活動費（宿泊なし）	2,235,662 円																																															
校外活動費（宿泊あり）	432,948 円																																															
通学費	0 円																																															
新入学学用品費	1,084,140 円																																															
新入学準備金	3,665,100 円																																															
修学旅行費	3,591,251 円																																															
給食費	36,877,578 円																																															
医療費	721,230 円																																															
計	58,553,214 円																																															
学用品費	6,936,850 円																																															
校外活動費（宿泊なし）	1,630,341 円																																															
校外活動費（宿泊あり）	299,194 円																																															
通学費	0 円																																															
新入学学用品費	970,020 円																																															
新入学準備金	1,286,000 円																																															
修学旅行費	2,639,183 円																																															
給食費	25,709,970 円																																															
医療費	0 円																																															
計	39,471,558 円																																															
2 特別支援教育就学奨励費																																																
認定者数 258名 / 児童数 5,451名 （4.73%）																																																
<table><tr><td>学用品費</td><td>442,320 円</td></tr><tr><td>校外活動費（宿泊なし）</td><td>51,490 円</td></tr><tr><td>校外活動費（宿泊あり）</td><td>24,232 円</td></tr><tr><td>通学費</td><td>622,814 円</td></tr><tr><td>新入学学用品費</td><td>228,240 円</td></tr><tr><td>修学旅行費</td><td>82,417 円</td></tr><tr><td>給食費</td><td>1,914,913 円</td></tr><tr><td>交流学习交通費</td><td>18,075 円</td></tr><tr><td>通級指導教室通学費</td><td>169,334 円</td></tr><tr><td>計</td><td>3,553,835 円</td></tr></table>		学用品費	442,320 円	校外活動費（宿泊なし）	51,490 円	校外活動費（宿泊あり）	24,232 円	通学費	622,814 円	新入学学用品費	228,240 円	修学旅行費	82,417 円	給食費	1,914,913 円	交流学习交通費	18,075 円	通級指導教室通学費	169,334 円	計	3,553,835 円																											
学用品費	442,320 円																																															
校外活動費（宿泊なし）	51,490 円																																															
校外活動費（宿泊あり）	24,232 円																																															
通学費	622,814 円																																															
新入学学用品費	228,240 円																																															
修学旅行費	82,417 円																																															
給食費	1,914,913 円																																															
交流学习交通費	18,075 円																																															
通級指導教室通学費	169,334 円																																															
計	3,553,835 円																																															
成 果		経済的な理由により就学が困難な児童の保護者又は特別支援学級へ就学する児童の保護者に対し助成を行うことにより、経済的な負担を軽減することができた。 また、新入学準備金については、57名の児童の保護者に助成を行うとともに、入学前に支給することにより、経済的不安の解消が図られた。 【参考】被災児童就学援助費 新入学準備金支給者数 20名																																														
成果に係る評価		経済的理由により就学が困難な児童や、特別支援学級に就学する児童の保護者への経済的援助は、すべての児童に就学の機会を保障するために不可欠である。今後も関係法令に基づき、必要な支援を継続していく必要がある。																																														
(単位：円)																																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																										
	69,108,000	62,107,049	2,010,170			60,096,879																																										

予算科目	10 款	教育費	事業名		教材備品整備事業（小学校）											
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち											
	2 目	教育振興費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進											
	事業	小学校一般教材費		（ 1 ）	充実した教育を行うための環境を整備する											
担当部課		教育委員会学校管理課		実施計画掲載ページ		P 85										
目的及び事業内容			文部科学省策定の「教材整備指針」に基づき、本市で策定した「石巻市小・中学校教材整備方針」の整備目標達成と教材の整備充実を図るため、新規教材の購入及び老朽化した教材の計画的な更新を行う。 良好で質の高い教育環境の整備を図るため、教育内容や指導方法に対応した教材の購入及び老朽化した教材の計画的な更新を進める。													
取 組 実 績			学校要望の教材を学校で付した優先順位の高いものから購入した。また、年度末には翌年度新設の特別支援学級用備品などにも対応した。 購入に際しては見積合わせ等を行い、予算を有効活用した。また、理科教材については、理科教育設備整備費等補助金（1/2）制度を活用した。 ＜小学校の教材整備数（備品購入費分のみ）＞ <table><tr><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>584個</td><td>666個</td><td>453個</td><td>401個</td><td>395個</td></tr></table>				R3	R4	R5	R6	R7	584個	666個	453個	401個	395個
R3	R4	R5	R6	R7												
584個	666個	453個	401個	395個												
成 果			学校が要望する学習指導要領に対応した教材を年間を通して整備したことで、学習環境が整えられた。 教材を用いた授業により、関心・意欲や知識・理解の質が高められ、学習活動が充実した。 ＜小学校の教材充足率＞ <table><tr><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>83.9%</td><td>84.0%</td><td>87.5%</td><td>89.2%</td><td>90.8%</td></tr></table> ※学校整備目標に対する充足率（消耗品を含む。） ◎教材整備指針、教材整備方針について 文部科学省で定めた教材毎の整備数の目安を示した「教材整備指針」を参考に「石巻市小・中学校教材整備方針」を策定、各学校ごと教科ごと教材整備目標数を設定、教材整備を進めている。				R3	R4	R5	R6	R7	83.9%	84.0%	87.5%	89.2%	90.8%
R3	R4	R5	R6	R7												
83.9%	84.0%	87.5%	89.2%	90.8%												
成果に係る評価			物価高騰の影響もあり購入数は微減となったものの、整備目標数の見直し等により充足率は向上した。 新たな教材の購入に加え、老朽化や破損した教材の更新を行うことで教材の充実を図り、児童の授業への関心や理解を深め、主体的で活発な学習活動につなげる。 今後も学習指導要領に対応した教材の計画的な整備を推進していく。													
(単位：円)																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源										
	16,000,000	15,993,231	2,216,000		540,000	13,237,231										

予算科目	10 款	教育費	事業名		情報教育環境整備事業（小学校）																						
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																						
	2 目	教育振興費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進																						
	事業	小学校教育用コンピュータ関係費		（ 1 ）	充実した教育を行うための環境を整備する																						
担当部課		教育委員会学校管理課		実施計画掲載ページ		P 85																					
目的及び事業内容		国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備するため、文部科学省が推奨する「学校のＩＣＴ環境整備計画」及び「ＧＩＧＡスクール構想」に基づき、機器の整備等を行う。																									
取 組 実 績		小学校教育用コンピュータ及び周辺機器の整備として以下を実施した。 1 大型提示装置の整備 全普通教室へ大型提示装置の整備を継続している。 <table><tr><td>実施年度</td><td>整備対象校</td><td>整備台数</td></tr><tr><td>R6</td><td>小学校9校</td><td>電子黒板 77台</td></tr><tr><td>R7</td><td>対象校なし</td><td></td></tr></table> 2 一人一台端末の整備 一人一台端末は令和2年度に全校への整備が完了しており、令和7年度は機器の更新を行った。 <table><tr><td>実施年度</td><td>整備対象校</td><td>整備台数</td></tr><tr><td>R7</td><td>小学校30校</td><td>タブレット端末 5,447台</td></tr></table>						実施年度	整備対象校	整備台数	R6	小学校9校	電子黒板 77台	R7	対象校なし		実施年度	整備対象校	整備台数	R7	小学校30校	タブレット端末 5,447台					
実施年度	整備対象校	整備台数																									
R6	小学校9校	電子黒板 77台																									
R7	対象校なし																										
実施年度	整備対象校	整備台数																									
R7	小学校30校	タブレット端末 5,447台																									
成 果		大型提示装置の小学校全普通教室への整備は令和元年度から実施している。 令和6年度までに延べ33校に整備した。 大型提示装置の全普通教室への整備に係る達成率（整備済み学校数） <table><tr><td>対象校</td><td>整備年度</td><td>整備済学校数（累計）</td><td>達成率</td></tr><tr><td rowspan="5">小学校全33校 （統廃合含む）</td><td>R2</td><td>該当校なし</td><td>6%</td></tr><tr><td>R3</td><td>小学校10校</td><td>30%</td></tr><tr><td>R4</td><td>小学校18校</td><td>55%</td></tr><tr><td>R5</td><td>小学校24校</td><td>73%</td></tr><tr><td>R6</td><td>小学校33校</td><td>100%</td></tr></table> 令和7年度は該当校はなかったが、今後は機器の更新を行い、情報教育環境を維持していく。						対象校	整備年度	整備済学校数（累計）	達成率	小学校全33校 （統廃合含む）	R2	該当校なし	6%	R3	小学校10校	30%	R4	小学校18校	55%	R5	小学校24校	73%	R6	小学校33校	100%
対象校	整備年度	整備済学校数（累計）	達成率																								
小学校全33校 （統廃合含む）	R2	該当校なし	6%																								
	R3	小学校10校	30%																								
	R4	小学校18校	55%																								
	R5	小学校24校	73%																								
	R6	小学校33校	100%																								
成果に係る評価		大型提示装置の全普通教室への整備を達成し、引き続き機器の更新を行っている。 大型提示装置は、装置自身がインターネットに接続し様々なコンテンツを提示できるほか、令和7年度に機器を更新した一人一台端末を接続して組み込んでいるアプリの画面を提示することもでき、教材の表現に「動く」「双方向」「ライブ」が加わり授業の質を大幅に向上できる。 表現力向上によって本市の学力向上に資するため大型提示装置の整備については、文部科学省の目指す「学校のＩＣＴ環境整備計画」を指針として、積極的に継続していく必要がある。 今後は、現在の水準を維持しつつ機器更新することとし、更新時には新技術の導入や社会情勢の変化に対応した機材の採用を進めていく。																									
(単位：円)																											
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
		240,106,000	223,903,779			100,000,000	123,903,779																				

予算科目	10 款	教育費	事業名		電子図書整備事業													
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち													
	2 目	教育振興費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進													
	事業	小学校図書整備事業費		(1)	充実した教育を行うための環境を整備する													
担当部課		教育委員会学校管理課 教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 86													
目的及び事業内容			市内全小学生に配布されているタブレット端末を活用し、児童が自主的に、いつでも、どこでも、気軽に本を読むことができる電子図書館サービスを導入する。															
取 組 実 績			1 「Yomokka!」利用開始 各小学校において、「Yomokka!」を利用できるよう初期設定を行い、児童一人一人のタブレットで「Yomokka!」を使って読書できるようになった。 2 「Yomokka!」活用のための研修会 図書司書を対象とした研修会において、「Yomokka!」の具体的な活用方法や、管理・運用について情報交換を行った。 3 「Yomokka!」利用促進のためのポスター作成 「Yomokka!」の利用を促すためのポスターを作成し、各小学校に通知した。															
成 果			【導入実績】 児童一人当たりの「Yomokka!」の利用 <table><tr><td></td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>読んだ冊数</td><td>11.6冊</td><td>8.7冊</td></tr><tr><td>読み終えた冊数</td><td>5.0冊</td><td>3.6冊</td></tr><tr><td>読んだ時間</td><td>79分17秒</td><td>58分</td></tr></table> タブレットを開けば、「いつでも」「どこでも」「好きなだけ」読むことができるため、児童は授業だけでなく、朝読書の時間や、休み時間、家庭で過ごす時間など、様々な時間に読書する機会を得ることができた。 また、「Yomokka!」では幅広いジャンルの図書が配架されており、児童はいろいろな本に触れることができ、「Yomokka!」が、気軽に図書に触れる機会の創出となっている。 令和6年度に比べ、読んだ冊数、読んだ時間等は減少傾向にはあるが、令和8年1月から3月にかけて各小学校において、新規タブレットへの更新があり、「Yomokka!」を利用できない時期があった。					R6	R7	読んだ冊数	11.6冊	8.7冊	読み終えた冊数	5.0冊	3.6冊	読んだ時間	79分17秒	58分
	R6	R7																
読んだ冊数	11.6冊	8.7冊																
読み終えた冊数	5.0冊	3.6冊																
読んだ時間	79分17秒	58分																
成果に係る評価			時間や場所を選ばない「Yomokka!」の導入によって、児童期から本を読むことの楽しさを知り、生涯にわたって本に親しめる機会を得られた。また、授業において全員で同じ図書を読むことができることもあり、授業に関連する図書をクラス全体で確認したり、調べ学習で図鑑代わりに「Yomokka!」を利用したりする姿が見られ、児童にとって図書がより身近になった。 本市から児童一人一人に貸与しているタブレットはLTE接続のため、場所を選ばずに利用できる。その利点を利用し、様々な場面で活用を促し、図書に触れる機会を今後も創出していきたい。															
(単位：円)																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源												
	12,734,000	12,096,785			12,000,000	96,785												

予算科目	10 款	教育費	事業名		学校図書整備事業（小学校）〔復興基金〕																																													
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																													
	2 目	教育振興費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進																																													
	事業	小学校図書整備事業		(1)	充実した教育を行うための環境を整備する																																													
担当部課		教育委員会学校管理課		実施計画掲載ページ		P 85																																												
目的及び事業内容		文部科学省は、令和4年度から令和8年度を対象期間とする第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」を策定、平成5年に定めた「学校図書館図書標準」の達成のための新たな図書の購入と古い図書の計画的な更新を行い、学校図書館の整備充実を図ることとしている。 学校教育の中で、学校図書を積極的に活用し児童生徒の読書活動を一層推進することにより、豊かな人格形成、基礎的な言語力を育む等、学習効果の向上を図るため、市内小中学校の学校図書を整備するもの。																																																
取 組 実 績		各小学校へ蔵書を更新するための予算を配当し、学校において図書の選定及び購入を行った。このことにより、児童の読書活動や学びに役立つ様々な図書を購入することができた。 ＜小学校図書の整備冊数＞ <table><tr><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>16,924冊</td><td>14,910冊</td><td>16,073冊</td><td>22,569冊</td><td>11,922冊</td></tr></table> ※ 寄贈含む。							R3	R4	R5	R6	R7	16,924冊	14,910冊	16,073冊	22,569冊	11,922冊																																
R3	R4	R5	R6	R7																																														
16,924冊	14,910冊	16,073冊	22,569冊	11,922冊																																														
成 果		図書の購入及び更新により、児童の成長段階に応じた図書の充実を図るとともに、図書に親しむ環境の整備を推進した。これに伴い、児童の読む力や考える力の向上につながり、読書活動や学習活動において図書を積極的に活用する姿勢の育成を図ることができた。 ＜小学校図書充足率達成状況＞ <table><tr><td>充足率</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>100%以上（A）</td><td>33校</td><td>32校</td><td>32校</td><td>32校</td><td>29校</td></tr><tr><td>75%以上-100%未満</td><td>0校</td><td>1校</td><td>0校</td><td>0校</td><td>1校</td></tr><tr><td>50%以上-75%未満</td><td>0校</td><td>0校</td><td>0校</td><td>0校</td><td>0校</td></tr><tr><td>50%未満</td><td>0校</td><td>0校</td><td>0校</td><td>0校</td><td>0校</td></tr><tr><td>合計（B）</td><td>33校</td><td>33校</td><td>32校</td><td>32校</td><td>30校</td></tr><tr><td>100%以上達成校の割合（A/B）</td><td>100%</td><td>96.97%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>96.67%</td></tr></table> ※各年度末時点 ◎学校図書館図書標準に対する充足率について 平成5年に文部科学省で定めた学校図書館の図書整備を図る際の目標として定められた学校図書館図書標準（学級数に応じて積算）に対する学校保有冊数の割合である。							充足率	R3	R4	R5	R6	R7	100%以上（A）	33校	32校	32校	32校	29校	75%以上-100%未満	0校	1校	0校	0校	1校	50%以上-75%未満	0校	0校	0校	0校	0校	50%未満	0校	0校	0校	0校	0校	合計（B）	33校	33校	32校	32校	30校	100%以上達成校の割合（A/B）	100%	96.97%	100%	100%	96.67%
充足率	R3	R4	R5	R6	R7																																													
100%以上（A）	33校	32校	32校	32校	29校																																													
75%以上-100%未満	0校	1校	0校	0校	1校																																													
50%以上-75%未満	0校	0校	0校	0校	0校																																													
50%未満	0校	0校	0校	0校	0校																																													
合計（B）	33校	33校	32校	32校	30校																																													
100%以上達成校の割合（A/B）	100%	96.97%	100%	100%	96.67%																																													
成果に係る評価		令和6年度には、大口の図書の寄贈があったため、整備冊数が大幅に増加した。一方、令和7年度は、新刊図書の購入や既存蔵書の更新を中心とした整備を行った。 今後も、老朽化した図書や内容が古くなった図書について、継続的かつ計画的な更新を進めることで、学校図書の一層の充実を図り、児童の学習環境の整備を推進していく。																																																
(単位：円)																																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																												
	20,000,000	19,945,466			19,945,466																																													

予算科目	10 款	教育費	事業名		学校施設改築事業																									
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																									
	3 目	学校建設費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進																									
	事業	前谷地小学校屋内運動場改築事業費		(2)	安全安心な学校施設整備を推進する																									
担当部課		教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ		P 86																									
目的及び事業内容		前谷地小学校屋内運動場は、昭和45年度に建設され、度重なる地震による地盤沈下が原因で床に歪みが出る等、施設の構造耐力が著しく低下している状況と、建設後の経過年数から、令和2年度に策定した「学校施設整備保全計画」に基づき、改築の計画を行う。																												
取 組 実 績		令和7年度は、改築工事を実施した。また、工事に伴う代替施設として遊楽館アリーナを利用するため、児童等の輸送業務を行った。 (1) 全体事業 ア 令和5年度 耐力度調査、測量業務 イ 令和6年度 地質調査、設計業務 ウ 令和7年度から令和8年度 改築工事 (2) 科目別予算額・事業費内訳 <table><tr><td>内訳</td><td>R6事業費</td><td>R7事業費</td><td>繰越分</td></tr><tr><td>消耗品費</td><td>30,000 円</td><td>50,000 円</td><td>- 円</td></tr><tr><td>委託料</td><td>16,775,900 円</td><td>540,000 円</td><td>19,230,400 円</td></tr><tr><td>借上料</td><td>- 円</td><td>2,736,558 円</td><td>- 円</td></tr><tr><td>工事費</td><td>- 円</td><td>44,900,000 円</td><td>- 円</td></tr><tr><td>計</td><td>16,805,900 円</td><td>48,226,558 円</td><td>19,230,400 円</td></tr></table>					内訳	R6事業費	R7事業費	繰越分	消耗品費	30,000 円	50,000 円	- 円	委託料	16,775,900 円	540,000 円	19,230,400 円	借上料	- 円	2,736,558 円	- 円	工事費	- 円	44,900,000 円	- 円	計	16,805,900 円	48,226,558 円	19,230,400 円
内訳	R6事業費	R7事業費	繰越分																											
消耗品費	30,000 円	50,000 円	- 円																											
委託料	16,775,900 円	540,000 円	19,230,400 円																											
借上料	- 円	2,736,558 円	- 円																											
工事費	- 円	44,900,000 円	- 円																											
計	16,805,900 円	48,226,558 円	19,230,400 円																											
成 果		前年度実施の地質調査及び設計業務を基に、屋内運動場改築工事へ着手し、既存施設の解体工事を実施した。																												
成果に係る評価		市内の学校施設は、建設後相当年数が経過しており、老朽化が著しく進行しているため、学校施設の適正な維持管理及び整備を推進することで、児童生徒の安全・安心な教育環境の確保及び向上が図られる。 今後も、令和2年度に策定した「学校施設整備保全計画」に基づき、限られた財源の中で優先順位を定めながら、計画的な事業の実施を推進していく必要がある。																												
(単位：円)																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	69,137,400	67,456,958	6,657,000	40,600,000		20,199,958																								

予算科目	10 款	教育費	事業名		学校施設長寿命化改良事業（小学校）													
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち													
	3 目	学校建設費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進													
	事業	開北小学校校舎改修事業費		（ 2 ）	安全安心な学校施設整備を推進する													
担当部課		教育委員会学校管理課		実施計画掲載ページ		P 86												
目的及び事業内容			開北小学校校舎は、昭和49年度に建設され老朽化が著しく、応急的な修繕やメンテナンスによる維持管理が困難な状況になっている。「石巻市学校施設保全計画」においても、本校舎は、整備の優先度が非常に高い施設とされていることから、長寿命化改修工事を行う。 併せて、段差解消や多目的トイレ等のバリアフリー対応も実施する。															
取 組 実 績			令和7年度は、エレベーター等建設予定地質調査等及び設計業務を実施した。 (1) 全体事業 令和7年度 構造体劣化調査、地質調査 (2) 科目別予算額・事業費内訳 <table><tr><td colspan="2">内訳</td><td>R7事業費</td></tr><tr><td rowspan="2">委託料</td><td>構造体劣化調査業務</td><td>2,970,000 円</td></tr><tr><td>地質調査業務</td><td>6,090,700 円</td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>9,060,700 円</td></tr></table>					内訳		R7事業費	委託料	構造体劣化調査業務	2,970,000 円	地質調査業務	6,090,700 円	計		9,060,700 円
内訳		R7事業費																
委託料	構造体劣化調査業務	2,970,000 円																
	地質調査業務	6,090,700 円																
計		9,060,700 円																
成 果			地質調査等の実施により、施設の現況や課題を把握するとともに、長寿命化改修工事に必要となる設計上の整理を行うことができた。これにより、今後の改修計画の円滑な実施に向け、検討を行うとともに、事業推進に必要な方向性を確認することができた。															
成果に係る評価			市内の学校施設は、建設後相当年数が経過しており、老朽化が進行している。今後も、令和2年度に策定した「学校施設整備保全計画」に基づくとともに、学校統廃合等の動向を勘案しながら、限られた財源の中で優先順位を定め、児童生徒の安全・安心の確保及び教育環境の向上に向けて、計画的に施設整備を進めていく必要がある。															
(単位：円)																		
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳													
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源										
	9,600,000		9,060,700					9,060,700										

予算科目	10 款	教育費	事業名		遠距離通学支援事業（中学校）																			
	3 項	中学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																			
	1 目	学校管理費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																			
	事業	中学校管理費（教育総務関係）		（ 4 ）	就学に係る支援を強化する																			
担当部課		教育委員会教育総務課	実施計画掲載ページ		P 90																			
目的及び事業内容			中学校の統廃合等により遠距離通学となる生徒に対し、スクールバス等を運行することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。 ・スクールバス等の運行																					
取 組 実 績			遠距離通学となる生徒に対し、スクールバス等の運行を実施した。 1 スクールバス等の運行 (1) 遠距離通学となる5校に対し、バス1台、タクシー4台（雄勝小と共用分の4台は含めない）の運行を行った。 ※スクールバス等対象校（R7） 万石浦中学校、河北中学校、雄勝中学校、北上中学校、牡鹿中学校																					
成 果			中学校の統廃合に伴う遠距離通学対策として、スクールバスの運行を実施した。これにより、生徒の安全な登下校の確保が図られた。 1 スクールバス等の運行 <table><tr><td>区分</td><td>年度</td><td>学校数</td><td>対象人数</td><td>事業費</td></tr><tr><td rowspan="3">スクールバス等</td><td>R5</td><td>5校</td><td>56人</td><td>61,242,334 円</td></tr><tr><td>R6</td><td>5校</td><td>56人</td><td>62,113,148 円</td></tr><tr><td>R7</td><td>5校</td><td>48人</td><td>45,933,302 円</td></tr></table>				区分	年度	学校数	対象人数	事業費	スクールバス等	R5	5校	56人	61,242,334 円	R6	5校	56人	62,113,148 円	R7	5校	48人	45,933,302 円
区分	年度	学校数	対象人数	事業費																				
スクールバス等	R5	5校	56人	61,242,334 円																				
	R6	5校	56人	62,113,148 円																				
	R7	5校	48人	45,933,302 円																				
成果に係る評価			遠距離通学となる生徒の安全・安心を確保するため、地域の実情に配慮しながら、引き続き適切な通学支援を実施する必要がある。																					
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	50,674,000	45,933,302	2,096,000			43,837,302																		

予算科目	10 款	教育費	事業名		中学校における部活動指導員の配置支援事業																																	
	3 項	中学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																	
	1 目	学校管理費		第 4 節	地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進																																	
	事業	部活動指導員配置支援事業費		(1)	地域で支える教育活動を支援する																																	
担当部課		教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 93																																	
目的及び事業内容		主に休日の部活動を顧問教員と実施することにより、教員の負担軽減を図るとともに、生徒のニーズを踏まえた充実した部活動を実施する。 将来的には、指導員単独で、休日だけでなく、平日の部活動指導や各種大会引率を行えるようにする。																																				
取 組 実 績		○部活動指導員の配置 部活動指導員配置人数 13部 （運動部9部、文化部4部） 配置校数 10校 【内訳】 運動部：蛇田中学校 ソフトボール部 湊中学校 卓球部 蛇田中学校 陸上部 河北中学校 ソフトテニス部 渡波中学校 卓球部 石巻中学校 バスケットボール部 青葉中学校 サッカー部 河南東中学校 サッカー部 牡鹿中学校 剣道部 文化部：蛇田中学校 吹奏楽部 桃生中学校 吹奏楽部 河南東中学校 吹奏楽部 住吉中学校 吹奏楽部																																				
成 果		○部活動指導員の配置 ※第2期教育振興基本計画実施計画 活動指標 <table><tr><td>区分</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>目標値（人）</td><td>8</td><td>12</td><td>14</td></tr><tr><td>実績値（人）</td><td>8</td><td>12</td><td>13</td></tr><tr><td>達成率</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td><td>92.9%</td></tr></table> ○部活動指導員より指導を受けて技術が向上したと感じた生徒の割合 ※第2期教育振興基本計画実施計画 成果指標 <table><tr><td>区分</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>目標値（%）</td><td>80.0</td><td>90.0</td><td>90.0</td></tr><tr><td>実績値（%）</td><td>92.8</td><td>97.8</td><td>93.0</td></tr><tr><td>達成率</td><td>116.0%</td><td>108.7%</td><td>103.3%</td></tr></table>					区分	R5	R6	R7	目標値（人）	8	12	14	実績値（人）	8	12	13	達成率	100.0%	100.0%	92.9%	区分	R5	R6	R7	目標値（%）	80.0	90.0	90.0	実績値（%）	92.8	97.8	93.0	達成率	116.0%	108.7%	103.3%
区分	R5	R6	R7																																			
目標値（人）	8	12	14																																			
実績値（人）	8	12	13																																			
達成率	100.0%	100.0%	92.9%																																			
区分	R5	R6	R7																																			
目標値（%）	80.0	90.0	90.0																																			
実績値（%）	92.8	97.8	93.0																																			
達成率	116.0%	108.7%	103.3%																																			
成果に係る評価		部活動指導員の配置人数は目標値には達しなかったが、運動部の部活動指導員1名の追加任用を行った。部活動指導員については、本業の傍ら指導いただいている方々がほとんどであるため、人材確保の面で課題がある。 部活動指導員は、専門的な指導力を生かして生徒の技術向上や活動の充実に寄与するだけでなく、教職員の負担軽減にも資する存在であり、今後の持続可能な地域活動運営を支える上で欠かすことのできない人材であることから、引き続き地域における指導人材の掘り起こし及び確保に努め、部活動の円滑な地域展開に向けた体制整備を進めていく。																																				
(単位：円)																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																
	2,554,000	2,205,143	1,234,000			971,143																																

予算科目	10 款	教育費	事業名		就学援助・特別支援教育就学奨励事業（中学校）																																								
	3 項	中学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																								
	2 目	教育振興費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																																								
	事業	中学校教育振興援助費		（ 4 ）	就学に係る支援を強化する																																								
担当部課		教育委員会教育総務課	実施計画掲載ページ		P 90																																								
目的及び事業内容		経済的な理由により就学が困難な生徒の保護者又は特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対して、必要な援助を行うことにより経済的な負担を軽減し、生徒の就学の機会を確保する。 ・就学援助費の助成 ・特別支援教育就学奨励費の助成																																											
取 組 実 績	1 就学援助費 認定者数 555名 /生徒数 2,999名 (18.51%)			【参考】被災生徒就学援助費 認定者数 370名 (12.34%)																																									
	<table><tr><td>学用品費</td><td>12,102,130 円</td></tr><tr><td>校外活動費(宿泊なし)</td><td>388,848 円</td></tr><tr><td>校外活動費(宿泊あり)</td><td>414,132 円</td></tr><tr><td>通学費</td><td>0 円</td></tr><tr><td>新入学学用品費</td><td>2,457,000 円</td></tr><tr><td>新入学準備金</td><td>10,206,000 円</td></tr><tr><td>修学旅行費</td><td>11,090,942 円</td></tr><tr><td>給食費</td><td>28,543,650 円</td></tr><tr><td>医療費</td><td>373,420 円</td></tr><tr><td>計</td><td>65,576,122 円</td></tr></table>			学用品費	12,102,130 円	校外活動費(宿泊なし)	388,848 円	校外活動費(宿泊あり)	414,132 円	通学費	0 円	新入学学用品費	2,457,000 円	新入学準備金	10,206,000 円	修学旅行費	11,090,942 円	給食費	28,543,650 円	医療費	373,420 円	計	65,576,122 円	<table><tr><td>学用品費</td><td>8,906,260 円</td></tr><tr><td>校外活動費(宿泊なし)</td><td>244,318 円</td></tr><tr><td>校外活動費(宿泊あり)</td><td>394,224 円</td></tr><tr><td>通学費</td><td>0 円</td></tr><tr><td>新入学学用品費</td><td>2,205,000 円</td></tr><tr><td>新入学準備金</td><td>6,561,000 円</td></tr><tr><td>修学旅行費</td><td>8,601,632 円</td></tr><tr><td>給食費</td><td>21,584,048 円</td></tr><tr><td>医療費</td><td>0 円</td></tr><tr><td>計</td><td>48,496,482 円</td></tr></table>			学用品費	8,906,260 円	校外活動費(宿泊なし)	244,318 円	校外活動費(宿泊あり)	394,224 円	通学費	0 円	新入学学用品費	2,205,000 円	新入学準備金	6,561,000 円	修学旅行費	8,601,632 円	給食費	21,584,048 円	医療費	0 円	計
学用品費	12,102,130 円																																												
校外活動費(宿泊なし)	388,848 円																																												
校外活動費(宿泊あり)	414,132 円																																												
通学費	0 円																																												
新入学学用品費	2,457,000 円																																												
新入学準備金	10,206,000 円																																												
修学旅行費	11,090,942 円																																												
給食費	28,543,650 円																																												
医療費	373,420 円																																												
計	65,576,122 円																																												
学用品費	8,906,260 円																																												
校外活動費(宿泊なし)	244,318 円																																												
校外活動費(宿泊あり)	394,224 円																																												
通学費	0 円																																												
新入学学用品費	2,205,000 円																																												
新入学準備金	6,561,000 円																																												
修学旅行費	8,601,632 円																																												
給食費	21,584,048 円																																												
医療費	0 円																																												
計	48,496,482 円																																												
成 果	2 特別支援教育就学奨励費 認定者数 85名 /生徒数 2,999名 (2.83%)																																												
	<table><tr><td>学用品費</td><td>242,580 円</td></tr><tr><td>校外活動費(宿泊なし)</td><td>11,052 円</td></tr><tr><td>校外活動費(宿泊あり)</td><td>6,433 円</td></tr><tr><td>通学費</td><td>72,007 円</td></tr><tr><td>新入学学用品費</td><td>189,000 円</td></tr><tr><td>修学旅行費</td><td>215,310 円</td></tr><tr><td>給食費</td><td>600,950 円</td></tr><tr><td>交流学習交通費</td><td>9,600 円</td></tr><tr><td>通級指導教室通学費</td><td>8,442,780 円</td></tr><tr><td>計</td><td>9,789,712 円</td></tr></table>			学用品費	242,580 円	校外活動費(宿泊なし)	11,052 円	校外活動費(宿泊あり)	6,433 円	通学費	72,007 円	新入学学用品費	189,000 円	修学旅行費	215,310 円	給食費	600,950 円	交流学習交通費	9,600 円	通級指導教室通学費	8,442,780 円	計	9,789,712 円																						
学用品費	242,580 円																																												
校外活動費(宿泊なし)	11,052 円																																												
校外活動費(宿泊あり)	6,433 円																																												
通学費	72,007 円																																												
新入学学用品費	189,000 円																																												
修学旅行費	215,310 円																																												
給食費	600,950 円																																												
交流学習交通費	9,600 円																																												
通級指導教室通学費	8,442,780 円																																												
計	9,789,712 円																																												
成 果	経済的な理由により就学が困難な生徒の保護者又は特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対し助成を行うことにより、経済的な負担を軽減することができた。 また、新入学準備金については、126名の生徒の保護者に助成を行うとともに、入学前に支給することにより、経済的不安の解消が図られた。 【参考】被災生徒就学援助費 新入学準備金支給者数 81名																																												
成果に係る評価	経済的理由により就学が困難な生徒や、特別支援学級に就学する生徒の保護者への経済的援助は、すべての生徒に就学の機会を保障するために不可欠である。今後も関係法令に基づき、必要な支援を継続していく必要がある。																																												
(単位：円)																																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																							
	75,365,834	75,365,834	4,973,830			70,392,004																																							

予算科目	10 款	教育費	事業名		教材備品整備事業（中学校）													
	3 項	中学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち													
	2 目	教育振興費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進													
	事業	中学校一般教材費		（ 1 ）	充実した教育を行うための環境を整備する													
担当部課		教育委員会学校管理課		実施計画掲載ページ		P 85												
目的及び事業内容		文部科学省策定の「教材整備指針」に基づき、本市で策定した「石巻市小・中学校教材整備方針」の整備目標達成と教材の整備充実を図るため、新規教材の購入及び老朽化した教材の計画的な更新を行う。 良好で質の高い教育環境の整備を図るため、教育内容や指導方法に対応した教材の購入及び老朽化した教材の計画的な更新を進める。																
取 組 実 績		学校要望の教材を学校で付した優先順位の高いものから購入した。また、破損や老朽化による教材の更新などにも対応を行った。 購入に際しては見積合わせ等を行い、予算の有効活用した。また、理科教材については、理科教育設備整備費等補助金（1/2）制度を活用した。 ＜中学校の教材整備数（備品購入費分のみ）＞ <table><tr><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>557個</td><td>495個</td><td>392個</td><td>344個</td><td>386個</td></tr></table>							R3	R4	R5	R6	R7	557個	495個	392個	344個	386個
R3	R4	R5	R6	R7														
557個	495個	392個	344個	386個														
成 果		学校が要望する学習指導要領に対応した教材を年間を通して整備したことで、学習環境が整えられた。 教材が充実することにより授業の理解が進むとともに、学びが深まり、活発な学習活動につながった。 ＜中学校の教材充足率＞ <table><tr><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>49.0%</td><td>49.9%</td><td>52.0%</td><td>60.0%</td><td>57.7%</td></tr></table> ※学校整備目標に対する充足率（消耗品を含む。） ◎教材整備指針、教材整備方針について 文部科学省で定めた教材毎の整備数の目安を示した「教材整備指針」を参考に「石巻市小・中学校教材整備方針」を策定、各学校ごと教科ごと教材整備目標数を設定、教材整備を進めている。							R3	R4	R5	R6	R7	49.0%	49.9%	52.0%	60.0%	57.7%
R3	R4	R5	R6	R7														
49.0%	49.9%	52.0%	60.0%	57.7%														
成果に係る評価		新しい教材の購入及び老朽化や破損した教材の更新を積極的に行ったため、整備個数は増加したものの、廃棄数が多く、充足率は減少となった。 教材の充実により、生徒の授業への関心や理解を深め、主体的で活発な学習活動につなげるため、今後も学習指導要領に対応した教材の整備を推進していく。																
（単位：円）																		
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳														
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源											
		17,000,000	16,990,058	2,864,000		540,000	13,586,058											

予算科目	10 款	教育費	事業名		情報教育環境整備事業（中学校）																						
	3 項	中学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																						
	2 目	教育振興費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進																						
	事業	中学校教育用コンピュータ関係費		（ 1 ）	充実した教育を行うための環境を整備する																						
担当部課		教育委員会学校管理課		実施計画掲載ページ		P 85																					
目的及び事業内容		国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備するため、文部科学省が推奨する「学校のＩＣＴ環境整備計画」及び「ＧＩＧＡスクール構想」に基づき、機器の整備等を行う。																									
取組実績		中学校教育用コンピュータ及び周辺機器の整備として以下を実施した。 1 大型提示装置の整備 全普通教室へ大型提示装置の整備を継続している。令和7年度は機器の更新を行った。 <table><tr><td>実施年度</td><td>整備対象校</td><td>整備台数</td></tr><tr><td>R7</td><td>中学校9校</td><td>電子黒板98台</td></tr></table> 2 一人一台端末の整備 一人一台端末は令和2年度に全校への整備が完了しており、令和7年度は機器の更新を行った。 <table><tr><td>実施年度</td><td>整備対象校</td><td>整備台数</td></tr><tr><td>R7</td><td>中学校17校</td><td>タブレット端末 2,999台</td></tr></table> 3 パソコン教室の廃止 一人一台端末を整備したことにより、生徒が使用するコンピュータ端末をタブレット端末へ集約していたが、全ての機器がリース期間満了を迎えたことから、パソコン教室を廃止した。						実施年度	整備対象校	整備台数	R7	中学校9校	電子黒板98台	実施年度	整備対象校	整備台数	R7	中学校17校	タブレット端末 2,999台								
実施年度	整備対象校	整備台数																									
R7	中学校9校	電子黒板98台																									
実施年度	整備対象校	整備台数																									
R7	中学校17校	タブレット端末 2,999台																									
成果		大型提示装置の中学校全普通教室への整備は平成30年度から実施している。 令和6年度までに延べ18校に整備した。 大型提示装置の全普通教室への整備に係る達成率（整備済み学校数） <table><tr><td>対象校</td><td>整備年度</td><td>整備済学校数（累計）</td><td>達成率</td></tr><tr><td rowspan="5">中学校全18校（統廃合含む）</td><td>R2</td><td>該当校なし</td><td>55%</td></tr><tr><td>R3</td><td>中学校12校</td><td>63%</td></tr><tr><td>R4</td><td>該当校なし</td><td>63%</td></tr><tr><td>R5</td><td>中学校15校</td><td>78%</td></tr><tr><td>R6</td><td>中学校18校</td><td>100%</td></tr></table> 今後は機器の更新を行い、情報教育環境を維持していく。						対象校	整備年度	整備済学校数（累計）	達成率	中学校全18校（統廃合含む）	R2	該当校なし	55%	R3	中学校12校	63%	R4	該当校なし	63%	R5	中学校15校	78%	R6	中学校18校	100%
対象校	整備年度	整備済学校数（累計）	達成率																								
中学校全18校（統廃合含む）	R2	該当校なし	55%																								
	R3	中学校12校	63%																								
	R4	該当校なし	63%																								
	R5	中学校15校	78%																								
	R6	中学校18校	100%																								
成果に係る評価		大型提示装置の全普通教室への整備を達成し、引き続き機器の更新を行っている。 大型提示装置は、装置自身がインターネットに接続し様々なコンテンツを提示できるほか、令和7年度に機器を更新した一人一台端末を接続して組み込んでいるアプリの画面を提示することもでき、教材の表現に「動く」「双方向」「ライブ」が加わり授業の質を大幅に向上できる。 表現力向上によって本市の学力向上に資するため大型提示装置の整備については、文部科学省の目指す「学校のＩＣＴ環境整備計画」を指針として、積極的に継続していく必要がある。 今後は、現在の水準を維持しつつ機器更新することとし、更新時には新技術の導入や社会情勢の変化に対応した機材の採用を進めていく。																									
(単位：円)																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
	117,582,000	103,971,905			43,000,000	60,971,905																					

予算科目	10 款	教育費	事業名		学校図書整備事業（中学校）〔復興基金〕																																													
	3 項	中学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																													
	2 目	教育振興費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進																																													
	事業	中学校図書整備事業費		（ 1 ）	充実した教育を行うための環境を整備する																																													
担当部課		教育委員会学校管理課		実施計画掲載ページ		P 85																																												
目的及び事業内容		文部科学省は、令和4年度から令和8年度を対象期間とする第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」を策定、平成5年に定めた「学校図書館図書標準」の達成のための新たな図書の購入と古い図書の計画的な更新を行い、学校図書館の整備充実を図ることとしている。 学校教育の中で、学校図書を積極的に活用し、児童生徒の読書活動を一層推進することにより豊かな人格形成、基礎的な言語力を育む等、学習効果の向上を図るため、市内小中学校の学校図書を整備するもの。																																																
取 組 実 績		各中学校へ蔵書を更新するための予算を配当し、学校において図書の選定及び購入を行った。このことにより、生徒の読書活動や学びに役立つ多様な図書を購入することができた。 ＜中学校図書の整備冊数＞ <table><tr><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>9,343冊</td><td>8,916冊</td><td>8,523冊</td><td>12,861冊</td><td>7,727冊</td></tr></table> ※ 寄贈含む。							R3	R4	R5	R6	R7	9,343冊	8,916冊	8,523冊	12,861冊	7,727冊																																
R3	R4	R5	R6	R7																																														
9,343冊	8,916冊	8,523冊	12,861冊	7,727冊																																														
成 果		図書の購入及び更新により 生徒の読書活動及び学習活動に必要な図書の充実を図るとともに、図書に親しむ環境の整備を推進した。これに伴い、生徒の読む力や考える力の向上、図書を積極的に活用する姿勢の育成を図ることができた。 ＜中学校図書充足率達成状況＞ <table><tr><td>充足率</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>100%以上（A）</td><td>17校</td><td>17校</td><td>16校</td><td>16校</td><td>14校</td></tr><tr><td>75%以上-100%未満</td><td>1校</td><td>1校</td><td>1校</td><td>1校</td><td>2校</td></tr><tr><td>50%以上-75%未満</td><td>0校</td><td>0校</td><td>0校</td><td>0校</td><td>0校</td></tr><tr><td>50%未満</td><td>0校</td><td>0校</td><td>0校</td><td>0校</td><td>0校</td></tr><tr><td>合計（B）</td><td>18校</td><td>18校</td><td>17校</td><td>17校</td><td>17校</td></tr><tr><td>100%以上達成校の割合（A/B）</td><td>94.44%</td><td>94.44%</td><td>94.11%</td><td>94.11%</td><td>82.35%</td></tr></table> ※各年度末時点 ◎学校図書館図書標準に対する充足率について 平成5年に文部科学省で定めた学校図書館の図書整備を図る際の目標として定められた学校図書館図書標準（学級数に応じて積算）に対する学校保有冊数の割合である。							充足率	R3	R4	R5	R6	R7	100%以上（A）	17校	17校	16校	16校	14校	75%以上-100%未満	1校	1校	1校	1校	2校	50%以上-75%未満	0校	0校	0校	0校	0校	50%未満	0校	0校	0校	0校	0校	合計（B）	18校	18校	17校	17校	17校	100%以上達成校の割合（A/B）	94.44%	94.44%	94.11%	94.11%	82.35%
充足率	R3	R4	R5	R6	R7																																													
100%以上（A）	17校	17校	16校	16校	14校																																													
75%以上-100%未満	1校	1校	1校	1校	2校																																													
50%以上-75%未満	0校	0校	0校	0校	0校																																													
50%未満	0校	0校	0校	0校	0校																																													
合計（B）	18校	18校	17校	17校	17校																																													
100%以上達成校の割合（A/B）	94.44%	94.44%	94.11%	94.11%	82.35%																																													
成果に係る評価		令和6年度には、大口の図書の寄贈があったため、整備冊数が大幅に増加した。一方、令和7年度は、新刊図書の購入や既存蔵書の更新を中心とした整備を行った。また、図書システムの導入に伴い蔵書の整理を実施した結果、蔵書数が大幅に減となった学校もあり、蔵書数の適正管理の必要性が課題となっている。 今後も、老朽化した図書や内容が古くなった図書について、継続的かつ計画的な更新を進めることで、学校図書の一層の充実を図り、生徒の学習環境の整備を推進していく。																																																
（単位：円）																																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																															
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																												
	15,000,000	14,990,535			14,990,535																																													

予算科目	10 款	教育費	事業名		学校施設長寿命化改良事業（中学校）																														
	3 項	中学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																														
	3 目	学校建設費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進																														
	事業	蛇田中学校校舎改修事業費		(2)	安全安心な学校施設整備を推進する																														
担当部課		教育委員会学校管理課		実施計画掲載ページ		P 86																													
目的及び事業内容		蛇田中学校校舎は経年劣化により老朽化が著しいため、外壁、内壁、電気設備、機械設備や屋上防水の改修工事等を実施し、施設の長寿命化を図る。併せて、段差解消や多目的トイレ設置等のバリアフリー対策を行い、生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習活動ができるよう整備を図る。																																	
取 組 実 績		1 蛇田中学校校舎改修事業費口 令和7年度は、改修工事を実施した。 (1) 全体事業 ア 令和3年度 構造体劣化調査 イ 令和4年度 実施設計・地質調査 ウ 令和5年度 仮設校舎建設 エ 令和6年度から令和8年度 改修工事 (2) 科目別予算額・事業費内訳 <table><tr><td>内訳</td><td>R 6事業費</td><td>R 7事業費</td><td>繰越</td></tr><tr><td>消耗品費</td><td>100,000 円</td><td>80,000 円</td><td>0 円</td></tr><tr><td>監理</td><td>1,852,000 円</td><td>20,280,000 円</td><td>0 円</td></tr><tr><td>借上料</td><td>445,270,650 円</td><td>44,040,700 円</td><td>0 円</td></tr><tr><td>工事</td><td>71,150,000 円</td><td>1,516,911,600 円</td><td>1,500,000 円</td></tr><tr><td>備品購入費</td><td>0 円</td><td>2,190,298 円</td><td>0 円</td></tr><tr><td>計</td><td>518,372,650 円</td><td>1,583,502,598 円</td><td>1,500,000 円</td></tr></table>						内訳	R 6事業費	R 7事業費	繰越	消耗品費	100,000 円	80,000 円	0 円	監理	1,852,000 円	20,280,000 円	0 円	借上料	445,270,650 円	44,040,700 円	0 円	工事	71,150,000 円	1,516,911,600 円	1,500,000 円	備品購入費	0 円	2,190,298 円	0 円	計	518,372,650 円	1,583,502,598 円	1,500,000 円
内訳	R 6事業費	R 7事業費	繰越																																
消耗品費	100,000 円	80,000 円	0 円																																
監理	1,852,000 円	20,280,000 円	0 円																																
借上料	445,270,650 円	44,040,700 円	0 円																																
工事	71,150,000 円	1,516,911,600 円	1,500,000 円																																
備品購入費	0 円	2,190,298 円	0 円																																
計	518,372,650 円	1,583,502,598 円	1,500,000 円																																
成 果		老朽化が著しく進行していた蛇田中学校については、長寿命化改修工事を実施したことにより、生徒が安全・安心に学習できる良好な教育環境の整備が図られた。 また、工事期間中は仮設校舎へ一時的に機能を移転したことで、生徒の安全確保と教育活動の継続性が図られた。																																	
成果に係る評価		市内の学校施設は、建設後相当年数が経過しており、老朽化が著しく進行しているため、学校施設の適正な維持管理及び整備を推進することで、児童生徒の安全・安心な教育環境の確保及び向上が図られる。 今後も、令和2年度に策定した「学校施設整備保全計画」に基づき、限られた財源の中で優先順位を定めながら、計画的な事業の実施を推進していく必要がある。																																	
(単位：円)																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																													
	1,587,113,000	1,585,002,598	442,314,000	949,500,000	146,834,000	46,354,598																													

予算科目	10 款	教育費	事業名		桜坂高等学校の魅力ある学校づくり事業	
	4 項	高等学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち	
	1 目	学校管理費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実	
	事業	魅力ある学校づくり事業費		(1)	学校教育の充実を図る	
担当部課		教育委員会学校教育課		実施計画掲載ページ		P 88
目的及び事業内容		【事業内容】 生徒の人間力を高め、一人一人の夢を実現させるために、桜坂高校が掲げる教育の三本柱である「品格教育」「キャリア教育」「学力保証」を実践し、必要な事業を実施する。 【事業目的】 県内唯一の公立女子高等学校として、特色ある教育活動に取り組むことで、石巻市の未来を担う人材の育成・輩出を目指す。				
取 組 実 績		1 各種講座等 (1) 品格教育に係る講座（全学年）3回実施 (2) キャリア教育に係る講座年間 9回実施 ア 模擬面接（3学年）2回実施 イ お仕事サロン（1、2学年）3回実施 ウ ビジネスマナー講座2回実施 エ 先輩の話を聞く会（1、2学年）1回実施 オ 親教育講話（3学年）1回実施 (3) 桜坂タイム関連講座（全学年）40回実施 ア フィールドワーク（1学年）4回実施 イ 個人探究活動（2学年）35回実施 ウ 探究講話（1学年）1回実施 2 進路ガイダンス参加 ※ハローワーク主催の合同企業説明会1回、桜坂高校独自に合同企業説明会を1回開催 3 大学・短大見学会施設見学及び模擬授業受講（1学年）1日実施				
成 果		1 各種講座等について ・女子校としての特色を生かす地域人材の積極的な活用により、魅力ある学校づくりを推進し、多様な進路の実現を目指す「品格教育」「キャリア教育」「学力保証」の充実を図ることができた。 ・進路に関する講座を通じて、勤労観・職業観を育み、「自己実現力」の向上を図ることができた。 ・「桜坂タイム」では、地域資源を活用し、地域社会に貢献できる人材の育成を図ることができた。 ・女子校としての特色を生かす地域人材の積極的な活用により、魅力ある学校づくりが推進できた。 2 進路ガイダンスの参加について ・桜坂高校独自の企業説明会は好評であり、学校と地元企業との良好な信頼関係を構築できた。 ・就職指導支援員の活用により、就職内定率は100%、管内企業への就職率は、59.3%であった。 3 大学・短大見学会について 1年次から大学見学や高等教育の授業を聴講することにより、進学に対する意欲の発揚を促し、主体的に学びに向かう態度を育成することができた。				
成果に係る評価		本事業を通じて、桜坂高校の教育の三本柱である「品格教育」「キャリア教育」「学力保証」を実践することにより「魅力ある学校づくり」を推進することができた。更なる「学校の魅力向上」を目指すために、多様な進路の実現と地元に貢献する人材の育成や、進路学習の一層の充実を図ることができた。一方で、令和8年度入学選抜においては、定員充足率が61.9%であり、昨年度よりは上昇したものの依然定員割れが続いている。「女子校の特色を前面に出した魅力の発信」をオープンキャンパスや文化祭等を通じて行ったが、定員割れの解消には至らなかった。 今後も定員確保につなげる取組として、桜坂高校の魅力をまとめた資料等（学校案内等）を充実させ、管内の中学校はもちろん、登米地区や塩釜地区の中学校等にも発信していく必要がある。				
(単位：円)						
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳		
				国(県)支出金	地方債	その他
		3,637,433	2,847,643			2,847,643

予算科目	10 款	教育費	事業名		私立幼稚園運営費助成事業													
	5 項	幼稚園費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち													
	1 目	幼稚園費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実													
	事業	私立幼稚園運営費助成費		(4)	就学に係る支援を強化する													
担当部課		教育委員会教育総務課		実施計画掲載ページ		P 90												
目的及び事業内容		市内で開園している私立幼稚園（新制度未移行幼稚園）の設置者に対し、運営費の一部を助成することにより、義務教育就学前の幼児教育振興に寄与している私立幼稚園の健全な経営及び保護者の負担軽減を図る。 ・私立幼稚園運営費の助成 幼稚園割 1園当たり 160,000円 職員割 1人当たり 30,000円 園児割 1人当たり 1,200円																
取 組 実 績		市内で開園している私立幼稚園（新制度未移行幼稚園）の設置者に対し、運営費の一部の助成を行った。 令和7年度私立幼稚園運営費補助金内訳 <table><tr><td>施設名</td><td>運営費補助金</td></tr><tr><td>石巻みづほ幼稚園</td><td>707,200円</td></tr><tr><td>ひばり幼稚園</td><td>990,400円</td></tr><tr><td>長浜幼稚園</td><td>625,600円</td></tr><tr><td>合計</td><td>2,323,200円</td></tr></table>					施設名	運営費補助金	石巻みづほ幼稚園	707,200円	ひばり幼稚園	990,400円	長浜幼稚園	625,600円	合計	2,323,200円		
施設名	運営費補助金																	
石巻みづほ幼稚園	707,200円																	
ひばり幼稚園	990,400円																	
長浜幼稚園	625,600円																	
合計	2,323,200円																	
成 果		義務教育就学前の幼児教育を担う私立幼稚園の健全な運営と、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。 私立幼稚園運営費補助金支給状況 <table><tr><td>年度</td><td>園数</td><td>運営費補助金</td></tr><tr><td>R5</td><td>4園</td><td>3,212,800円</td></tr><tr><td>R6</td><td>3園</td><td>2,523,600円</td></tr><tr><td>R7</td><td>3園</td><td>2,323,200円</td></tr></table> 令和6年度法山寺幼稚園の新制度移行（施設型給付費への移行）に伴い、運営費補助金の対象施設は3園となった。					年度	園数	運営費補助金	R5	4園	3,212,800円	R6	3園	2,523,600円	R7	3園	2,323,200円
年度	園数	運営費補助金																
R5	4園	3,212,800円																
R6	3園	2,523,600円																
R7	3園	2,323,200円																
成果に係る評価		私立幼稚園の健全運営と施設充実を図り、幼児教育の質向上に貢献できた。今後は、国の公定価格による安定給付が可能となる新制度への移行に向け、各園の意向に応じた丁寧な支援を推進していく必要がある。																
(単位：円)																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源												
	2,580,000	2,323,200				2,323,200												

予算科目	10 款	教育費	事業名		少年指導者育成事業														
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち														
		1 目		社会教育総務費	第 4 節	地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進													
		事業		少年指導者育成費	(2)	青少年の健全な成長を支援する													
担当部課		教育委員会生涯学習課		実施計画掲載ページ		P 94													
目的及び事業内容			子ども会活動等地域における望ましい体験活動の指導・支援を行う青年ボランティアとしてのジュニア・リーダー及びインリーダーの育成を通して、青少年の健全育成を図る。 宮城県教育委員会が定める「ジュニア・リーダー初級研修内容」に準拠した研修会を開催し、ジュニア・リーダー（中学生）を養成するとともに、受講修了者には宮城県教育委員会が発行するジュニア・リーダー手帳を授与するほか、資質向上のため、各種研修の機会を提供する。																
取 組 実 績			1 ジュニア・リーダー育成のための研修会の実施、支援 (1) ジュニア・リーダー初級研修会の主催																
			<table><tr><td></td><td>事業名</td><td>開催日</td><td>実施場所</td><td>修了者</td></tr><tr><td>1</td><td>初級研修会</td><td>7月23日(水)～7月24日(木) 1泊2日で開催</td><td>松島自然の家</td><td>17人</td></tr></table>					事業名	開催日	実施場所	修了者	1	初級研修会	7月23日(水)～7月24日(木) 1泊2日で開催	松島自然の家	17人			
				事業名	開催日	実施場所	修了者												
			1	初級研修会	7月23日(水)～7月24日(木) 1泊2日で開催	松島自然の家	17人												
(2) ジュニア・リーダー中級研修会及び上級研修会への参加支援																			
<table><tr><td></td><td>事業名</td><td>開催日</td><td>実施場所</td><td>修了者</td></tr><tr><td>1</td><td>中級研修会</td><td>8月8日(金)～9日(土) 1泊2日で開催</td><td>松島自然の家</td><td>10人</td></tr><tr><td>2</td><td>上級研修会</td><td>12月25日(木)～27日(土) 2泊3日で開催</td><td>志津川自然の家</td><td>2人</td></tr></table>					事業名	開催日	実施場所	修了者	1	中級研修会	8月8日(金)～9日(土) 1泊2日で開催	松島自然の家	10人	2	上級研修会	12月25日(木)～27日(土) 2泊3日で開催	志津川自然の家	2人	
	事業名	開催日	実施場所	修了者															
1	中級研修会	8月8日(金)～9日(土) 1泊2日で開催	松島自然の家	10人															
2	上級研修会	12月25日(木)～27日(土) 2泊3日で開催	志津川自然の家	2人															
成 果			2 ジュニア・リーダーのボランティア活動支援 各地区のサークルに所属するジュニア・リーダーは、市内子ども会育成会や各種団体等から派遣の要請を受け、子どもたちの指導を行っている。 団体による申請数：45回 派遣したジュニア・リーダー数（延べ）：96人 会員数：41人																
			3 ジュニア・リーダー会員の募集支援 市内全中学校の生徒に初級研修会の募集要項を配布したほか、会員による口コミ活動を修了者に実施するとともに、各サークルにおいて新規会員募集チラシを配布した。また、各サークルにおいてイベントの企画・実施も行った。																
成果に係る評価			サークル全体のジュニア・リーダー会員数が前年度と比較して増加しており、各サークルでの様々な取組が影響しているものと考えられる。初級研修会の受講者数は前年度と比較すると減少したが、研修会後にサークルに入会する割合が高まりつつある。会員による口コミやチラシの配布などの広報活動、各サークルでのイベントの実施などの効果も見られる。 また、子ども会や地域のお祭りなど、団体からの申請数は多いため、地域活動へ参加する意欲や実践力の向上につながっていると同時に、ジュニア・リーダー活動に対する地域住民の理解の高まりが感じられる。 サークルごとと活動だけではなく、石巻地区（石巻市・東松島市・女川町）合同の交流研修会を実施したところ、各サークルのジュニア・リーダー会員が参加し、様々なゲームやダンスを楽しみながら資質向上に取り組むことができた。生涯学習課の事業や石巻地区青年文化祭でジュニア・リーダーが活躍する機会を設けており、小学生や地域住民との関わりにより充実感を味わうことにもつながっている。																
			校長会等を通じて、ジュニア・リーダー初級研修会への参加募集の呼び掛けを図り、中学生の興味関心を引くような活動内容の検討や募集チラシの工夫等を行う。 サークルによっては、地域の団体等からジュニア・リーダーの派遣要請があっても、それらに対応できる会員の確保が難しい状況であるため、会員全体への連絡を定期的に行い、活動に参加する機会を設けたり、新規会員の確保に向けて、ジュニア・リーダー体験会などを企画する。 また、サークル同士の交流とジュニア・リーダーの資質向上を目的としたイベント（研修会）を開催し、交流を深めながら活動意欲を高めるとともに、生涯学習課や公民館の事業に所属するサークルに関係なく参加できる機会を設定し、ジュニア・リーダーの活躍の機会を増やし、活動推進を図っていく。																
(単位：円)																			
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳															
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源												
		435,000	288,195				288,195												

予算科目	10 款	教育費	事業名		市民の文化芸術活動に対するサポート事業						
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち						
		1 目		社会教育総務費	第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進					
		事業		芸術文化振興費	(1)	生涯学習環境を強化する					
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P 95							
目的及び事業内容		文化芸術は、感動や生きる喜びをもたらし、人生を豊かにするものであるとともに、市民の郷土に対する愛着や誇りの醸成にも大きな役割を果たすものであることから、伝統文化の継承をはじめ、文化活動の振興のほか、市民の文化芸術の振興のための活動を行っている石巻市文化協会を支援することで、文化芸術活動の活性化、文化芸術の振興に資する。									
取 組 実 績	1 石巻市文化協会の概要										
	名称		設立年月日	設立趣意							
	石巻市文化協会		平成17年6月18日	石巻圏の伝統文化の継承・文化活動の振興・文化創造の推進・市民の芸術文化の向上							
	2 主な事業										
	日時		事業内容								
	7月7日		第16回「石巻市合同文化祭」								
	10月18日～19日		第28回「みやぎ県民文化祭」								
	10月19日		石巻地区文連「研修会」、第28回「みやぎ県民文化祭」研修視察								
	12月10日		第44回宮城県文連「運営研修会」								
	3 補助金交付										
「石巻市文化協会運営費補助金交付要綱」に基づき、市内7地区の文化協会への運営補助金として、統括する石巻市文化協会へ補助金を交付した。											
成 果	補助金を交付することで石巻市文化協会の活動が継続され、本市文化芸術の普及、振興に寄与するための活動を行う方々へのサポートが図られた。										
	1 各地区ごとの団体数及び会員数										
	地区		石巻		河北		雄勝		河南		
		団体	会員	団体	会員	団体	会員	団体	会員	団体	会員
	R5	55団体	1,319人	20団体	146人	8団体	105人	16団体	387人		
	R6	53団体	1,324人	20団体	160人	12団体	124人	17団体	388人		
	R7	55団体	1,245人	19団体	128人	8団体	106人	17団体	448人		
	地区	桃生		北上		牡鹿		合計			
		団体	会員	団体	会員	団体	会員	団体	会員		
	R5	18団体	245人	3団体	33人	5団体	87人	125団体	2,322人		
	R6	18団体	217人	3団体	30人	4団体	68人	127団体	2,311人		
	R7	16団体	192人	3団体	30人	4団体	68人	122団体	2,217人		
	成果に係る評価	会員の高齢化や後継者不足等により、会員数・団体数は減少傾向にある。令和7年4月に制定した「石巻市文化協会運営費補助金交付要綱」に基づき、運営補助の適正化が図られた。									
		会員数・団体数を維持していくためにも、文化芸術に関するイベントや補助制度について周知を行うなど、文化芸術に親しめる環境づくりを推進するような改善を求めていく。									
	(単位：円)										
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳						
					国(県)支出金		地方債		その他		一般財源
	578,000		577,750								577,750

予算科目	10 款	教育費	事業名		文化芸術事業				
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち				
	1 目	社会教育総務費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進				
	事業	芸術文化振興費		(1)	生涯学習環境を強化する				
担当部課		教育委員会生涯学習課		実施計画掲載ページ		P 95			
目的及び事業内容			文化芸術の振興を図るとともに、文化芸術がもたらす心豊かで活力ある地域づくりなど、社会に貢献できる活動を推進するため、良質な芸術鑑賞等の機会を提供する。						
取 組 実 績			○事業内容						
			事業名			回数	参加人数		
			1 公演鑑賞事業 ・日本フィルハーモニー交響楽団ふれあい四重奏コンサート183人 ・第40回石巻市美術展2,550人 ・第2回まきあーと寄席（三遊亭小遊三・林家たい平 二人会）708人			3回	3,441人		
			2 育成事業 ・市内学校等アウトリーチ事業（バイオリン・ピアノ鑑賞）計324人（石巻中、稲井中、稲井小、山下小、飯野川小、福祉施設夢みの里） ・ボランティア育成事業（レセプションニスト育成）30人			7回	354人		
			合 計			10回	3,795人		
成 果			予定していた公演の一部が中止となったが、質の高い公演事業やアウトリーチ活動を実施し、市民や児童に質の高い文化芸術の鑑賞機会を提供することでできたことで、本市の文化芸術の振興が図られた。						
			区分		実施回数		参加人数		
			目標値	実績等	達成率	目標値	実績等	達成率	
			R 5	25回	43回	172.0%	4,500人	4,169人	92.6%
			R 6	55回	44回	80.0%	4,500人	5,106人	113.5%
R 7	55回	10回	18.2%	4,500人	3,795人	84.3%			
成果に係る評価			質を重視した公演事業やアウトリーチ活動を実施したことから、実施回数は減少したが、満足度の高い良質な芸術鑑賞の機会の創出につながった。						
(単位：円)									
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳					
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
		2,187,000	2,186,800			2,186,800			

予算科目	10 款	教育費	事業名		青少年文化芸術鑑賞事業					
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち					
		1 目		社会教育総務費	第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進				
		事業		芸術文化振興費	(1)	生涯学習環境を強化する				
担当部課		教育委員会生涯学習課		実施計画掲載ページ		P 95				
目的及び事業内容			芸術鑑賞の機会に恵まれない地域の児童・生徒に対し、優れた芸術を鑑賞、体験してもらうことにより、豊かな情操を養うため、青少年劇場小公演、巡回小劇場、文化芸術による子どもの育成事業により、希望する小中学校に対して、本物の芸術文化を身近に鑑賞する機会を提供する。							
取 組 実 績			1 巡回小劇場							
			開催日		場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数			
			10月1日		万石浦中学校	音楽「リンゴマ」	万石浦中学校（生徒140人）			
			10月1日		桃生小学校	音楽「リンゴマ」	桃生小学校（児童192人）			
			10月2日		須江小学校	音楽「リンゴマ」	須江小学校（児童181人）			
取 組 実 績			2 青少年劇場小公演							
			開催日		場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数			
			10月27日		青葉中学校	はなしの伝統芸能「落語」	青葉中学校（生徒180人）			
			10月31日		河北中学校	はなしの伝統芸能「落語」	河北中学校（生徒109人）			
			10月31日		山下小学校	はなしの伝統芸能「落語」	山下小学校（児童140人）			
成 果			3 文化芸術による子どもの育成事業							
			開催日		場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数			
			11月17日		湊中学校	ゴスペルコンサート	湊中学校（生徒58人）			
			11月18日		鹿又小学校	和太鼓を楽しもう	鹿又小学校（児童297人）			
			11月26日		開北小学校	大衆芸能「クラウンショータイム」	開北小学校（児童86人）			
			12月5日		青葉中学校	ゴスペルコンサート	青葉中学校（生徒191人）			
			12月15日		山下中学校	「しの笛」の美しい音色を堪能しよう！	山下中学校（生徒172人）			
			12月17日		万石浦中学校	尺八で聴くアニソン・ポップス	万石浦中学校（生徒140人）			
			12月23日		河南西中学校	「能楽」にふれてみよう	河南西中学校（生徒176人）			
成 果			令和7年度は前年度より4校増の13校で開催し、プロの生演奏や芝居といった優れた文化芸術を目の前で鑑賞することができたことから、児童・生徒の満足度は99%となっており、児童・生徒が鑑賞する楽しさや表現することの喜びを体験し、豊かな情操を育むことができた。 また、実施校からの報告書、鑑賞した児童生徒の様子、事後アンケートの内容については、座学では学ぶことのできない表現力や語彙力などの学びが得られたこと、体全体で音楽に親しむことができたことなどの記載が多かった。それぞれの講演内容から得られる教育的効果は高く、今後の教育活動にも生かすことができる力を学ぶ機会となっている。							
成果に係る評価			関係団体との連携を図り、子どもの育成事業において、質の高い文化芸術を児童・生徒に提供することができた。 本事業は、優れた文化芸術を生で鑑賞する貴重な機会であり、子どもたちの豊かな情操を育むことができることとにも、演じることへの憧れが文化芸術に興味を持つきっかけとなることが期待できる。 今後は、現行の希望制による抽選での実施ではなく、実施可能枠内で地域ごとに割り振りを決めて開催校を調整するなど、不均等が生じないように実施していく。							
			(単位：円)							
予算の執行状況			予算額		決算額		決算額の財源内訳			
							国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
			1,466,000		1,320,000				1,000,000	320,000

予算科目	10 款	教育費	事業名		市美術展実施事業																																
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																
	1 目	社会教育総務費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進																																
	事業	芸術文化振興費		(1)	生涯学習環境を強化する																																
担当部課		教育委員会生涯学習課		実施計画掲載ページ		P 95																															
目的及び事業内容		美術を通して、本市における芸術文化の向上と市民の教養を高めるため、県内外から書・洋画・日本画・彫刻・陶芸の5部門において作品を公募する美術展を開催する。																																			
取 組 実 績		第40回石巻市美術展の概要 1 開催期間 令和7年10月5日（日）～10月13日（月・祝） 2 開催場所 マルホンまきあーとテラス （小ホール、小ホールホワイエ、市民ギャラリー、アトリエ） 3 出品点数 306点（書138点・洋画79点・日本画30点・彫刻12点・陶芸30点・工芸17点） 4 観覧者数 2,550人 5 審査日 令和7年9月30日（火） 6 受賞者 56人 7 開場式 令和7年10月5日（日）午前10時 （会場：マルホンまきあーとテラス ホールホワイエ前） 8 授賞式 令和7年10月5日（日）午前10時30分 （会場：マルホンまきあーとテラス 大ホール） 9 その他 第40回記念イベントとして、高校生書道パフォーマンスやワークショップ、工芸作家による特別展示等を実施。																																			
成 果		出品数・観覧者数ともに増加傾向にある。特に、令和7年度は第40回記念展であったため、出品数・観覧者数が例年に比べ、大幅に増加した。 <table><tr><td></td><td>出品数</td><td>観覧者数</td><td>開催日数</td><td>1日平均</td></tr><tr><td>R3</td><td>252点</td><td>1,961人</td><td>8日</td><td>245人</td></tr><tr><td>R4</td><td>223点</td><td>1,966人</td><td>9日</td><td>218人</td></tr><tr><td>R5</td><td>244点</td><td>2,083人</td><td>9日</td><td>231人</td></tr><tr><td>R6</td><td>254点</td><td>2,207人</td><td>9日</td><td>245人</td></tr><tr><td>R7</td><td>306点</td><td>2,550人</td><td>9日</td><td>283人</td></tr></table>							出品数	観覧者数	開催日数	1日平均	R3	252点	1,961人	8日	245人	R4	223点	1,966人	9日	218人	R5	244点	2,083人	9日	231人	R6	254点	2,207人	9日	245人	R7	306点	2,550人	9日	283人
	出品数	観覧者数	開催日数	1日平均																																	
R3	252点	1,961人	8日	245人																																	
R4	223点	1,966人	9日	218人																																	
R5	244点	2,083人	9日	231人																																	
R6	254点	2,207人	9日	245人																																	
R7	306点	2,550人	9日	283人																																	
成果に係る評価		令和7年度は、市美展第40回記念イベントとして、高校生による書道パフォーマンスや書・洋画部門によるワークショップ、工芸作家による特別展示等を実施したほか、ポスター・チラシのデザインを変更し、新聞折込を実施したことにより、市美展の認知度が向上し、来場者数が増加した。また、全部門出品点数を1人2点まで可能にし、出品手数料を見直したことで、出品点数も増加した。 今後多くの市民等の作品発表の場になるとともに、市民が身近に文化芸術に触れ合う機会を提供していくために、引き続き事業周知の強化や若い世代の参加を促すための工夫を、実行委員とともに協議していく。																																			
(単位：円)																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
	500,000	500,000				500,000																															

予算科目	10 款	教育費	事業名		文化芸術支援事業											
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち											
	1 目	社会教育総務費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進											
	事業	芸術文化振興費		(1)	生涯学習環境を強化する											
担当部課		教育委員会生涯学習課		実施計画掲載ページ		P 96										
目的及び事業内容			市民参加型の文化芸術事業を支援することにより、市民に文化芸術に参加する機会を提供し、もって心の豊かさの醸成を図ることを目的として、石巻市文化芸術支援事業補助金を交付する。													
取 組 実 績			○令和7年度補助交付実績 4,000,000円（補助対象者：石巻第九実行委員会） 【石巻第九実績】 <table><tr><td></td><td>単位</td><td>R7</td></tr><tr><td>演奏会参加者の人数</td><td>人</td><td>174</td></tr><tr><td>来場者（聴衆）の満足度</td><td>%</td><td>89.2</td></tr></table> 令和5年度に第1回の演奏会を開催してから令和7年度の第3回まで、参加者は毎回180人前後であり、来場者も855人～950人となっている。 【参考】令和5年度（第1回）参加者180人 来場者900人 令和6年度（第2回）参加者180人 来場者950人 令和7年度（第3回）参加者174人 来場者855人 ※令和7年度から補助金を交付。						単位	R7	演奏会参加者の人数	人	174	来場者（聴衆）の満足度	%	89.2
	単位	R7														
演奏会参加者の人数	人	174														
来場者（聴衆）の満足度	%	89.2														
成 果			市民が合唱という形でベートーベンの交響曲第九番を歌うコンサートに参加することで、文化芸術活動に取り組む機会を創出できたほか、来場者にとってもオーケストラによる良質な音楽の鑑賞機会が得られたことで、本市の文化芸術の振興の一助となった。													
成果に係る評価			第1回から第3回まで合唱や演奏への参加希望者は多く、市内外から応募があり、合唱の女性については、キャンセル待ちとなっている。アマチュアの合唱ではあるものの、その評価は高く、メディアでも取り上げられている。 しかし、質の高い演奏会を維持していくには財源確保が厳しい状況であり、補助金による支援が必要と思われるが、今後の成果等を検証のうえ、必要があれば見直しを行う。													
(単位：円)																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源										
	4,000,000	4,000,000			4,000,000											

予算科目	10 款	教育費	事業名		ブックスタート事業																									
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																									
		社会教育総務費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進																									
		事業		子ども読書活動推進費	(2)	読書の推進・環境を整備する																								
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P 97																										
目的及び事業内容			乳幼児期からの家庭における読書活動の推進方策の一環として、3・4か月児健診の機会に乳幼児と保護者を対象に絵本の読み聞かせを行い、絵本を介して赤ちゃんと家族のコミュニケーションを豊かにし、子どもの言語能力と豊かな心を育てる。また、保護者に対して絵本の選び方や読み聞かせの方法について啓発資料等を配布し、読書活動の啓発を図る。 3・4か月児健診（本庁、河北、河南地区）時にボランティアの読み聞かせを実施し、ブックスタートバック（絵本、読書の手引き、図書館の案内等）を配布するとともに、ボランティアのスキルアップを図るための研修会を開催する。																											
取 組 実 績			3・4か月児健診において、乳児と保護者に対するボランティアによる読み聞かせを行い、ブックスタートバックを配布した。 また、読み聞かせに関する基本的知識と技能の習得を通して、子どもの読書活動を推進する担い手等の資質向上、地域における子どもの読書活動を推進する関係者間のネットワークづくりのため、ボランティア向け研修会を3回開催した。 <table><tr><td>年 度</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>ブックスタートバック配布数</td><td>582セット</td><td>570セット</td><td>518セット</td></tr><tr><td>ブックスタートボランティア会員数</td><td>18人</td><td>20人</td><td>20人</td></tr></table> <table><tr><td></td><td>開催日</td><td>参加者数</td></tr><tr><td>ブックスタートボランティア研修会（東北学院大学土樋キャンパス）</td><td>9/9（火）</td><td>6人</td></tr><tr><td>子ども読書活動推進研修会（ささえあいセンター）</td><td>11/14（金）</td><td>38人</td></tr><tr><td>読み聞かせボランティア研修会（蛇田公民館 会議室B・C）</td><td>3/10（火）</td><td>39人</td></tr></table>				年 度	R5	R6	R7	ブックスタートバック配布数	582セット	570セット	518セット	ブックスタートボランティア会員数	18人	20人	20人		開催日	参加者数	ブックスタートボランティア研修会（東北学院大学土樋キャンパス）	9/9（火）	6人	子ども読書活動推進研修会（ささえあいセンター）	11/14（金）	38人	読み聞かせボランティア研修会（蛇田公民館 会議室B・C）	3/10（火）	39人
年 度	R5	R6	R7																											
ブックスタートバック配布数	582セット	570セット	518セット																											
ブックスタートボランティア会員数	18人	20人	20人																											
	開催日	参加者数																												
ブックスタートボランティア研修会（東北学院大学土樋キャンパス）	9/9（火）	6人																												
子ども読書活動推進研修会（ささえあいセンター）	11/14（金）	38人																												
読み聞かせボランティア研修会（蛇田公民館 会議室B・C）	3/10（火）	39人																												
成 果			ボランティアによる読み聞かせやブックスタートバックの配布により、保護者に対して乳幼児期からの読書活動の啓蒙が図られた。配布時のアンケートによると「ブックスタートにより、子どもへの読み聞かせにつながる」と100%の保護者が回答している。 また、3歳児の保護者を対象としたアンケートによると、94%が家庭での読み聞かせを実施していると回答した。 研修会は開催日時の工夫、市報への記事掲載等の広報により前年度より7名参加者増となり、ボランティアの学習意欲の向上が図られた。																											
成果に係る評価			乳幼児期からの家庭における読書活動の推進に向けて、今後も引き続き事業を継続する必要がある。 出生数に応じた適切な事業展開ができるように、絵本の在庫調整を行う。 なお、「第2次石巻市子ども読書活動推進計画」は令和8年3月に「第3次石巻市生涯学習推進計画」に包含された。今後は生涯学習推進計画に基づいて事業を進めていく。																											
(単位：円)																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	1, 103, 000	1, 091, 325	70, 000		1, 000, 000	21, 325																								

予算科目	10 款	教育費	事業名		協働教育推進事業					
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち					
	1 目	社会教育総務費		第 4 節	地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進					
	事業	協働教育推進事業費		(1)	地域で支える教育活動を支援する					
担当部課		教育委員会生涯学習課		実施計画掲載ページ		P 93				
目的及び事業内容			「子どもたちの抱えるいじめ、不登校、学力や体力の低下等の諸問題の解決」並びに「生きる力をはぐくむ教育活動の充実・改善」という課題解決に向け、「学校・地域・家庭が、それぞれの機能を果たしながら協働し、社会の中でたくましく生きる子どもたちを地域全体ではぐくむ協働教育」を推進するとともに、学校・地域・家庭を繋ぎ、協働した教育活動を実施する。							
取 組 実 績			市内全小中学校、桜坂高等学校に地域連携（協働教育）担当者と学校支援地域コーディネーターを配置し、学校と地域をつなぐ役割を担いながら、地域学校協働活動の推進に寄与した。また、統括コーディネーターを配置することで、各地域コーディネーターからの相談等に対してアドバイスができる体制を構築した。 各校の地域連携担当者が、地域住民と協力して実施する教育活動を確認し、年度初めに事業計画と予算書を作成した上で、計画的に協働教育を実施できるようにした結果、各校の主な事業計画として、教育活動（授業や行事など）を支援する内容や児童生徒の防災・安全を守る活動、郷土に関する理解を深める活動など、地域の特性を生かした様々な活動が実施されている。 学校支援地域コーディネーターは、各校の学校運営協議会に参加することで、学校の現状や要望等を把握し、必要に応じて地域人材を活用しながら教育活動を支えられるよう、学校の教育活動に協力いただける住民の集約や、様々な活動の際に連絡調整を行うなど、人と人をつなぐ活動を実践した。 また、中学校区ごとに地域学校協働本部を設置し、各校の取組状況を互いに把握するとともに、共同で取り組める活動などについても検討できるようにしたほか、地域学校協働活動代表者会議を年2回開催し、各中学校区で実践している地域学校協働活動の情報共有や、今後の活動推進に向けた検討を行った。							
成 果			協働教育推進事業実施校（全48校）の設置、学校支援地域コーディネーター（43人）の配置、石巻市協働教育各種会議・研修会等の開催により、学校・地域・家庭をつなぐ仕組みをつくり、協働した教育活動を展開した結果、各校の様々な教育活動において、多くの地域住民から協力を得ることができた。 <table><tr><td>協働教育推進事業の実施数（回）</td><td>2,555</td></tr><tr><td>協働教育推進事業に携わった地域住民数（人）</td><td>12,592</td></tr></table> 各校では、地域住民や企業等と協働した教育活動が実施され、児童生徒にとって郷土芸能や地場産業、地域防災関係等の理解を深めるよい機会となった。中学校においては、学校行事やキャリア教育の分野で、地域と連携を図りながら協働活動を実施したり、地域行事等に中学生がボランティア活動として参加することができた。				協働教育推進事業の実施数（回）	2,555	協働教育推進事業に携わった地域住民数（人）	12,592
協働教育推進事業の実施数（回）	2,555									
協働教育推進事業に携わった地域住民数（人）	12,592									
成果に係る評価			地域の特色を生かした教育活動を実施する中で、学校・家庭・地域が連携することで、児童生徒の学習活動の質を高めることにつながった。小学校においては、総合的な学習の時間の内容として、地域を理解する学習、地域防災に関する学習において体験することを重視しており、地域住民の協力を得ながら進めることができた。また、地域から協力を得るために、学校支援地域コーディネーターは、地域人材を把握し、学校と地域をつなぐ活動を実践した。 今後は、中学校区ごとの地域学校協働本部の役割を明確にし、各小・中学校の地域コーディネーターが協力して人材育成に努めるとともに、中学校区内で連携を図りながら地域学校協働活動をより充実したものにしていく必要がある。また、学校運営協議会と地域学校協働活動との更なる一体的推進に向けて、事業内容の整備と調整を進めるとともに、講師謝礼金や消耗品費等の計画的な予算執行を行う。							
(単位：円)										
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源				
	3,667,250	2,313,332	1,506,000			807,332				

予算科目	10 款	教育費	事業名		ふるさと子どもカレッジ事業				
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち				
		1 目		社会教育総務費	第 4 節	地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進			
		事業		協働教育推進事業費	(1)	地域で支える教育活動を支援する			
担当部課		教育委員会生涯学習課		実施計画掲載ページ		P 93			
目的及び事業内容		地域の企業等の協力のもと、本市の自然・文化・歴史・産業を活かした体験活動を取り入れた講座を開設することにより、子どもたちの豊かな心を育み、自らの故郷について知り、学ぶ機会を創出することを目的とし、市内小学校に通う5・6年生を対象に年間6回程度、各地区の特色を活かした体験活動を実施する。							
取 組 実 績	1 参加者数【目標：30人】								
	地区名	石巻	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計
	人 数	10人	2人	0人	2人	0人	0人	0人	14人
	2 活動内容等								
		活動内容					開催日	参加者数	
	1	開講式 ジュニアリーダーと交流、レクレーション体験（石巻）					6/28（土）	10人	
	2	石巻専修大学の施設見学と体験活動（石巻）					8/6（水）	12人	
	3	月浜沢川の生き物観察と体験（北上）					8/30（土）	13人	
	4	宮城県水産高等学校にて実習施設見学と体験（石巻）					9/27（土）	10人	
	5	松島自然の家にて防災学習（東松島）					11/1（土）	7人	
	6	恐竜図鑑の講話と石巻化石発掘体験※ボプラ社連携 開講式（石巻）					11/15（土）	9人	
							延べ	61人	
成 果	参加者数は、目標に達しなかったが、参加者満足度については目標を達成することができた。ふるさと子どもカレッジに参加して、「石巻のことが好きになった」と回答する児童が約9割、「変わらない」と回答していた児童も「もともと好きだったから」と話していたことから、本事業の主たる目的「ふるさとを愛し誇りに思う子どもの育成」は達成されている。								
	※ 参加者満足度（全活動終了後に行った参加者アンケート結果）【目標値：100%】								
	・質問事項 「今年度のふるさと子どもカレッジを通して石巻のことがより好きになったか」								
	選択肢	とても好きになった	少し好きになった	あまり変わらない	変わらない	計			
回答者数	6人	2人	0人	1人	9人				
回答率	66.7%	22.2%	0.0%	11.1%	100.0%				
満足度	88.9%								
成果に係る評価	本事業は、石巻の自然や産業等の体験を通じて郷土愛や協調性を育む貴重な機会であり、参加者満足度も88.9%と高いことから、今後も継続する必要がある。								
	本年度は利便性向上のためのオンライン申込導入に加え、大学や民間企業と連携した全6回の多様なプログラムを実施したが、申込者数は目標の30人に対し14人と届かなかった。主な課題として、次年度対象となる児童の認知度が7%と極めて低い点にある。この改善策として、今後は学校でのポスター掲示や保護者向け携帯端末への配信など、情報を確実に届ける広報手段を検討する。あわせて、アンケートで要望の多かった「ものづくり」や「自然体験」をプログラムの柱に据えて魅力を高め、認知度向上と参加促進を一体的に進めることで、事業を継続的に発展させていく。								
(単位：円)									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源			
	82,675	48,424	32,000			16,424			

予算科目	10 款	教育費	事業名		放課後子ども教室推進事業		
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち		
	1 目	社会教育総務費		第 4 節	地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進		
	事業	放課後子ども教室推進事業費		(1)	地域で支える教育活動を支援する		
担当部課		教育委員会生涯学習課		実施計画掲載ページ		P 93	
目的及び事業内容		子どもを取り巻く環境の変化を踏まえ、市内小学校区において公共施設等を活用し、安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得ながら、子どもたちとともに学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等に取組むことで、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。					
取 組 実 績	1 放課後子ども教室開設校 市内8小学校（和瀨小、石巻小、蛇田小、向陽小、鹿又小、雄勝小、開北小、須江小）						
	2 活動実績						
	教室名（対象児童）	活動回数	参加児童数（延べ）	ボランティア数（延べ）	主な活動内容		
	和 کوچکクラブ（和瀨小児童）	18回	316人	162人	稲の栽培、グランドゴルフ、七宝焼、灯籠製作等		
	B r e m e n（石巻小児童）	21回	301人	114人	けん玉、日和山探検、子ども防災等		
	チャレンジキッズ in へびた	10回	196人	37人	トントン相撲、逃走中、ボッチャ体験		
	チャレンジキッズ in こうよう	10回	98人	58人	百人一首体験、キンボール等		
	鹿又小放課後子ども教室（鹿又小児童）	9回	189人	23人	伝承遊び、地域の会社を知ろう、子ども会議、おかし作り		
	おがつこくらぶ（雄勝小児童）	69回	899人	151人	スポーツ教室、スタディサポート、絵画、習字教室		
	オークス（開北小児童）	13回	734人	83人	サッカー、野球、バレーボール、バドミントン		
	あつまれ須江っ子（須江小児童）	8回	442人	53人	ドッチビー、ビニールバレー、大縄跳び、昔の遊び等		
8教室の合計			参加児童数（延べ）	参加ボランティア数（延べ）			
			3,175人	681人			
成 果	放課後子ども教室の開設数は令和6年度より4校増加し、参加する児童数やボランティア数が大幅に増加した。教室によっては、参加児童数を制限していないため、60人以上の登録者数になっている教室もあるなど、本事業に対する児童や保護者の関心の高さがうかがえた。 また、異年齢による交流を通して、それぞれの役割を自覚し、進んで行動したり声を掛けたりする高学年の姿も見られるなど、責任感や思いやりの気持ちが育まれている様子が見られた。地域住民にとっては、本事業に参画することに生きがいを見出しており、地域の教育力の向上や地域コミュニティの充実も図ることができた。 各小学校の施設や放課後の時間帯を利用した活動を計画どおりに実施する教室がほとんどであったが、公共施設や学校外の場所を利用したり、休日や長期休業を活用して児童の学びの場を提供したりする教室もあった。						
	新規放課後子ども教室開設校の増加や各教室の参加児童数、参加ボランティア数が増加傾向にあることから、本事業への関心が高まってきている。令和8年度も新たに4教室が開設されるため、各教室の特色ある活動の充実が期待できる。 放課後子ども教室に参加した児童のアンケート結果を見ると、活動内容に満足している意見が多く、参加している児童のニーズに合った活動の工夫が成果につながっている。異年齢や地域住民との交流のよさを感じ取っている児童も多く、本事業の目的に沿った成果が出ている。 今後も、放課後子ども教室推進事業の周知を図り、開設数を増やしていくとともに、各教室の取組が持続可能な活動となるように、本事業の広報活動を実施しながら地域ボランティアの確保に努めている。						
成果に係る評価							
予算の執行状況			(単位：円)				
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
			1,444,800	1,006,734	646,000		360,734

予算科目	10 款	教育費	事業名		家庭教育支援事業			
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち			
		1 目		社会教育総務費	第 4 節	地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進		
		事業		家庭教育支援事業費	(1)	地域で支える教育活動を支援する		
担当部課		教育委員会生涯学習課		実施計画掲載ページ		P 94		
目的及び事業内容			子育てサポーター養成講座及び子育てサポーターリーダー養成講座修了者など身近な方々による「家庭教育支援チーム」を組織し、子育ての悩みを抱えるなど孤立しがちな保護者や家庭に対し、同じ目線で寄り添いながら、子育てや家庭教育に関する相談への対応、参加しやすい学習や交流の機会を提供することで、保護者が安心感と自信をもって家庭教育を施し、子どもとともに成長するための学びを支援する。					
取 組 実 績	1 親子参加型の活動（子育てサロン）							
	年 度		実施期間		実施回数		参加人数	
	R5		R5.5～R6.3		19回		延べ 137組 344人	
	R6		R6.4～R7.3		19回		延べ 132組 283人	
	R7		R7.4～R8.3		20回		延べ 168組 378人	
	2 親の学び講座（親対象）							
	年 度		実施期間		実施回数		参加人数	
	R5		R5.9～R5.11		11回		延べ56人（体験講座3回含む）	
	R6		R6.10～R6.11		9回		延べ33人（体験会・同窓会3回含む）	
	R7		R7.9		2回		延べ17人	
3 学ぶ土台づくり研修会								
年 度		実施期間		実施回数		参加人数		
R5		R5.6～R6.2		1回		6人		
R6		R6.6～R7.2		1回		39人		
R7		R7.6～R8.2		1回		33人		
4 子育てサポーター養成講座								
年 度		実施期間		実施回数		参加人数		
R5		R5.5～R5.6		3回		延べ 3人		
R6		R6.5～R6.6		3回		延べ 4人		
R7		R7.5～R7.6		3回		延べ 7人		
成 果	「子育てサロン」は、参加人数が前年度より増加し、親子の交流や相談の機会を提供することで、子育て世代の育児不安や孤立感の軽減など、子育てにおける悩み解消の一助となった。							
	「親の学び講座」は、現在の親のニーズの変化により参加者が減少傾向にあり、前年度より実施回数も減少した。保護者が子育てについて学んだり、親同士の交流や情報共有の場となった。							
成果に係る評価	「学ぶ土台づくり研修会」は、家庭・地域と学校・幼稚園・保育所等が協働して子どもを育てる環境づくりを推進するプログラムを実施し、学校や保育所、家庭で実践できる内容を学ぶ機会を提供した。							
	「子育てサポーター養成講座」は、県教育委員会と連携し、東部教育事務所管内で実施した。子育て支援の専門家の講話等によって、参加者が現在の子育ての現状や保護者との関わり方等を学ぶことができた。							
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国（県）支出金	地方債	その他	
	473,000		190,873		122,000		68,873	

予算科目	10 款	教育費	事業名		家庭教育学級開設事業																																					
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																					
	1 目	社会教育総務費		第 4 節	地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進																																					
	事業	家庭教育支援事業費		(1)	地域で支える教育活動を支援する																																					
担当部課		教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P 94																																					
目的及び事業内容		保護者等を対象に家庭や親のあり方、子育て、子どもの心身の成長、家庭環境等に関する学習機会を提供し、家庭における教育力の向上を図るとともに、参加者相互の交流を通して連帯意識の高揚を図る。 実施機関（幼稚園、こども園、保育所、学校単位）ごとに、中学校は1回以上、他の実施機関は複数回の開催とする。講話、講演、討議、実技など多様な学習方法により、親のあり方や発達段階に応じて正しい指導ができるようにするなどの学習内容とするとともに、受講生の学習ニーズに配慮し開設する。																																								
取 組 実 績		学校や地域との連携を深め、地域のニーズに対応した講師や内容を検討し、充実した効果的な事業を行うことで、子育てのあり方や家庭教育の重要性について認識が深まった。 1 開設機関 各地区（石巻、河北、雄勝、河南、桃生、北上、牡鹿）の公民館等 2 実施機関 各地区の幼稚園・こども園（私立含む）、保育所（私立含む）、小学校、中学校 3 開設状況 <table><tr><td>開設機関区分</td><td>実施機関数</td><td>実施回数</td><td>参加者数</td></tr><tr><td>石巻地区</td><td>27 機関</td><td>48 回</td><td>2,931 人</td></tr><tr><td>河北地区</td><td>5 機関</td><td>8 回</td><td>333 人</td></tr><tr><td>雄勝地区</td><td>2 機関</td><td>4 回</td><td>82 人</td></tr><tr><td>河南地区</td><td>11 機関</td><td>14 回</td><td>785 人</td></tr><tr><td>桃生地区</td><td>3 機関</td><td>4 回</td><td>299 人</td></tr><tr><td>北上地区</td><td>3 機関</td><td>4 回</td><td>257 人</td></tr><tr><td>牡鹿地区</td><td>4 機関</td><td>4 回</td><td>105 人</td></tr><tr><td>計</td><td>55 機関</td><td>86 回</td><td>4,792 人</td></tr></table>					開設機関区分	実施機関数	実施回数	参加者数	石巻地区	27 機関	48 回	2,931 人	河北地区	5 機関	8 回	333 人	雄勝地区	2 機関	4 回	82 人	河南地区	11 機関	14 回	785 人	桃生地区	3 機関	4 回	299 人	北上地区	3 機関	4 回	257 人	牡鹿地区	4 機関	4 回	105 人	計	55 機関	86 回	4,792 人
開設機関区分	実施機関数	実施回数	参加者数																																							
石巻地区	27 機関	48 回	2,931 人																																							
河北地区	5 機関	8 回	333 人																																							
雄勝地区	2 機関	4 回	82 人																																							
河南地区	11 機関	14 回	785 人																																							
桃生地区	3 機関	4 回	299 人																																							
北上地区	3 機関	4 回	257 人																																							
牡鹿地区	4 機関	4 回	105 人																																							
計	55 機関	86 回	4,792 人																																							
成 果		前年度と比較すると実施機関は8機関減、実施回数も25回の減であった。 また、受講生の評価についても3.9ポイント減となり、目標値を下回った。 <table><tr><td rowspan="2">区分</td><td colspan="2">活動指標（対象機関における実施率）</td><td rowspan="2">達成率</td></tr><tr><td>目標値</td><td>実績</td></tr><tr><td>R6</td><td>75%</td><td>64.3%</td><td>85.7%</td></tr><tr><td>R7</td><td>75%</td><td>56.1%</td><td>74.8%</td></tr></table> <table><tr><td rowspan="2">区分</td><td colspan="2">成果指標（受講生評価ポイント）</td><td rowspan="2">達成率</td></tr><tr><td>目標値</td><td>実績</td></tr><tr><td>R6</td><td>95ポイント</td><td>95.0ポイント</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>R7</td><td>95ポイント</td><td>91.3ポイント</td><td>96.1%</td></tr></table>					区分	活動指標（対象機関における実施率）		達成率	目標値	実績	R6	75%	64.3%	85.7%	R7	75%	56.1%	74.8%	区分	成果指標（受講生評価ポイント）		達成率	目標値	実績	R6	95ポイント	95.0ポイント	100.0%	R7	95ポイント	91.3ポイント	96.1%								
区分	活動指標（対象機関における実施率）		達成率																																							
	目標値	実績																																								
R6	75%	64.3%	85.7%																																							
R7	75%	56.1%	74.8%																																							
区分	成果指標（受講生評価ポイント）		達成率																																							
	目標値	実績																																								
R6	95ポイント	95.0ポイント	100.0%																																							
R7	95ポイント	91.3ポイント	96.1%																																							
成果に係る評価		本事業は、保護者へ家庭教育や子育てに関する学習機会を提供することで、家庭教育力の向上と保護者相互の連帯を図るものであり、認識を深める場として今後も継続して実施する必要がある。 令和7年度は55機関で86回の学級を開設し、延べ4,792人が参加したものの、活動指標である実施率（56.1%）および成果指標の評価ポイント（91.3ポイント）は共に目標値を下回る結果となった。 課題として、保護者のニーズが内容・場所・時間において多様化していることが挙げられる。これに対する改善策として、授業参観や入学説明会など保護者が集まる機会に併せた開催を推進するとともに、新たに「就学時健診」に併せた開催についても検討を進める。また、学校向けの「出前講座」を案内することで講師選択の範囲を拡大し、受講生のニーズに合致した充実したプログラムを提供することで、実施率と評価の向上を図っていく。																																								
(単位：円)																																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																				
	774,000	455,524	302,000			153,524																																				

予算科目	10 款	教育費	事業名		旧親慶丸商店管理運営事業													
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち													
	2 目	文化財保護費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進													
	事業	旧親慶丸商店管理運営費		(1)	生涯学習環境を強化する													
担当部課		教育委員会生涯学習課		実施計画掲載ページ		－												
目的及び事業内容		市指定文化財である旧親慶丸商店の保護及び保存を図るとともに、本市の歴史文化の展示施設及び中心市街地における市民の文化交流施設として利活用するため、指定管理者による適正な施設管理運営事業を実施する。																
取 組 実 績		1 施設管理者による施設運営事業 (1) 指定管理者 一般社団法人 I S H I N O M A K I 2.0 (2) 指定管理料 10,300,000円 (3) 指定期間 R5.4.1～R10.3.31（5年間） 2 施設管理運営事業 ・身近に施設を利用してもらうため、夏期に冷水を無料でサービスする試みを行った。 ・SNSや公式ホームページを効果的に活用して、催事情報の周知に努めた。 3 利用者の推移 <table><tr><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>12,957人</td><td>10,361人</td><td>9,497人</td><td>8,109人</td><td>9,600人</td></tr></table>							R3	R4	R5	R6	R7	12,957人	10,361人	9,497人	8,109人	9,600人
R3	R4	R5	R6	R7														
12,957人	10,361人	9,497人	8,109人	9,600人														
成 果		指定管理者による施設の管理運営を行い、施設利用者の利便性向上のための施設案内等に積極的に取り組むなどの運営を行った。 R7年度については、石ノ森萬画館等の企画を絡めたイベント等を実施したことで、利用者の増加につながった。																
成果に係る評価		指定管理者による施設の周知やイベントの実施の効果もあり、利用者数は増加に転じた。引き続き、利用者のニーズを踏まえながら、市民や観光客が気軽に立ち寄っていただけるような施設運営に努めていく。																
(単位：円)																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源												
	10,300,000	10,300,000				10,300,000												

予算科目	10 款	教育費	事業名		国指定名勝齋藤氏庭園整備事業																																													
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																													
	2 目	文化財保護費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進																																													
	事業	齋藤氏庭園整備事業費		(1)	生涯学習環境を強化する																																													
担当部課		教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P 96																																													
目的及び事業内容		国指定名勝齋藤氏庭園の保存・活用を図り、文化財として次世代に継承するため、整備事業を実施する。																																																
取 組 実 績		国指定名勝齋藤氏庭園は、令和3年度（令和2年度の繰越）に東日本大震災で被災した箇所の復旧を目的とした災害復旧事業を完了し、令和3年度より保存・活用を図るため整備事業を開始した。 令和7年度は、宝ヶ峯縄文記念館として公開している木小屋の耐震診断を業務委託により実施した。これは、今後整備基本計画の策定にあたり、建造物の内部利用が可能かを含めた公開方針の検討や、建造物の耐震工事を行うために必要な業務である。また、使用不可となっていた上水道の給水管改修工事を実施した。 保存・活用に関する事業内容 <table><tr><th rowspan="2">年度</th><th rowspan="2">内 容</th><th rowspan="2">事業費</th><th colspan="3">事業費内訳</th></tr><tr><th>国補助</th><th>県補助</th><th>一般財源</th></tr><tr><td>R3</td><td>正門の修復</td><td>7,994,515円</td><td>3,997,000円</td><td>—</td><td>3,997,515円</td></tr><tr><td>R4</td><td>庭園内の灯笼を修復</td><td>2,046,000円</td><td>1,432,000円</td><td>307,000円</td><td>307,000円</td></tr><tr><td>R5</td><td>広間の耐震診断</td><td>5,555,000円</td><td>2,777,000円</td><td>555,000円</td><td>2,223,000円</td></tr><tr><td>R6</td><td>前倉庫の耐震診断</td><td>7,480,000円</td><td>3,740,000円</td><td>748,000円</td><td>2,992,000円</td></tr><tr><td rowspan="2">R7</td><td>木小屋の耐震診断</td><td>8,668,000円</td><td>4,334,000円</td><td>866,000円</td><td>3,468,000円</td></tr><tr><td>給水管改修工事</td><td>1,945,000円</td><td>—</td><td>—</td><td>1,945,000円</td></tr></table> ※補助率：国庫補助1/2、県補助金1/10。 令和4年度は福島県沖地震による災害復旧のため補助率が異なる。					年度	内 容	事業費	事業費内訳			国補助	県補助	一般財源	R3	正門の修復	7,994,515円	3,997,000円	—	3,997,515円	R4	庭園内の灯笼を修復	2,046,000円	1,432,000円	307,000円	307,000円	R5	広間の耐震診断	5,555,000円	2,777,000円	555,000円	2,223,000円	R6	前倉庫の耐震診断	7,480,000円	3,740,000円	748,000円	2,992,000円	R7	木小屋の耐震診断	8,668,000円	4,334,000円	866,000円	3,468,000円	給水管改修工事	1,945,000円	—	—	1,945,000円
年度	内 容	事業費	事業費内訳																																															
			国補助	県補助	一般財源																																													
R3	正門の修復	7,994,515円	3,997,000円	—	3,997,515円																																													
R4	庭園内の灯笼を修復	2,046,000円	1,432,000円	307,000円	307,000円																																													
R5	広間の耐震診断	5,555,000円	2,777,000円	555,000円	2,223,000円																																													
R6	前倉庫の耐震診断	7,480,000円	3,740,000円	748,000円	2,992,000円																																													
R7	木小屋の耐震診断	8,668,000円	4,334,000円	866,000円	3,468,000円																																													
	給水管改修工事	1,945,000円	—	—	1,945,000円																																													
成 果		木小屋（宝ヶ峯縄文記念館）の耐震診断を実施し、建物の補強案を作成したことにより、今後の保存活用・整備基本計画策定のために必要なデータを得ることができた。 また、給水管改修工事を実施し、飲料水を使用することが可能になったことで、利用者等の利便性や安全性が向上したほか、地域の祭りやイベントにより活用される環境が整備された。																																																
成果に係る評価		一般公開の方針や整備の優先順位を定めた整備基本計画を策定するに当たり必要なデータが得られたほか、庭園の活用に寄与する環境整備が図られた。																																																
(単位：円)																																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																												
	10,774,688	10,613,000	5,200,000			5,413,000																																												

予算科目	10 款	教育費	事業名		日本遺産「みちのくGOLD浪漫」普及啓発推進事業																		
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																		
	2 目	文化財保護費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進																		
	事業	みちのくGOLD浪漫普及啓発推進事業費		(1)	生涯学習環境を強化する																		
担当部課		教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P 96																		
目的及び事業内容		令和4年7月29日に本市の構成文化財群「金華山詣」、「金華山道」が宮城県涌谷町、気仙沼市、南三陸町、岩手県陸前高田市、平泉町の2市3町を構成市町とする日本遺産「みちのくGOLD浪漫」への追加認定を受けたことに伴い、市民をはじめ国内外への「認知」を主眼にした当該事業に係る普及啓発活動を実施する。なお、令和7年度に大船渡市が構成自治体に追加認定されている。																					
取 組 実 績		みちのくGOLD浪漫をテーマにした出前講座、博物館シンポジウムを実施し、市民への普及啓発を行ったほか、構成自治体とともに日本遺産フェスティバルにブース出展し、市内外の認知度向上を図った。 また、本市構成文化財の磨き上げ・掘り起こしのため、市内産金遺跡の調査及び金華山道の踏査を実施した。 1 講座 <table><tr><td>区分</td><td>参加人数</td><td>開催日</td></tr><tr><td>出前講座</td><td>79人</td><td>4月21日 7月16日 9月17日 10月16日</td></tr><tr><td>博物館シンポジウム</td><td>127人</td><td>3月1日</td></tr></table> 2 P R ・啓発活動 <table><tr><td>区分</td><td>備考</td></tr><tr><td>日本遺産フェスティバル</td><td>岡山県倉敷市</td></tr><tr><td>みちのくGOLDスタンプラリー</td><td>構成自治体20スポット</td></tr><tr><td>日本遺産7周年記念「みちのくGOLD浪漫」シンポジウム2026</td><td>岩手県陸前高田市</td></tr></table>					区分	参加人数	開催日	出前講座	79人	4月21日 7月16日 9月17日 10月16日	博物館シンポジウム	127人	3月1日	区分	備考	日本遺産フェスティバル	岡山県倉敷市	みちのくGOLDスタンプラリー	構成自治体20スポット	日本遺産7周年記念「みちのくGOLD浪漫」シンポジウム2026	岩手県陸前高田市
区分	参加人数	開催日																					
出前講座	79人	4月21日 7月16日 9月17日 10月16日																					
博物館シンポジウム	127人	3月1日																					
区分	備考																						
日本遺産フェスティバル	岡山県倉敷市																						
みちのくGOLDスタンプラリー	構成自治体20スポット																						
日本遺産7周年記念「みちのくGOLD浪漫」シンポジウム2026	岩手県陸前高田市																						
成 果		出前講座の実施や博物館シンポジウムを実施したことで、市民や高校生が本市の歴史を再発見する機会となったほか、日本遺産フェスティバルへのブース出展により、本市を含めたみちのくGOLD浪漫の認知度向上が図られた。																					
成果に係る評価		市内外の認知度向上が十分高いとは言えない状況であるため、引き続き市民講座やイベントへのブース出展を実施していくとともに、本市の構成文化財の磨き上げ・掘り起こしのため、金華山道の踏査・産金遺産の調査等を並行して進めていく。																					
(単位：円)																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
	756,000	428,990				428,990																	

予算科目	10 款	教育費	事業名		文化財ガイドボード等整備事業		
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち		
	2 目	文化財保護費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進		
	事業	文化財ガイドボード等整備事業費		(1)	生涯学習環境を強化する		
担当部課		教育委員会生涯学習課		実施計画掲載ページ		P 96	
目的及び事業内容		本市の歴史や東日本大震災の被害状況等を市民や観光客に発信するほか、後世に末永く伝えていくため、中心市街地内に設置する情報板の展示内容の検討を行う。説明板4基、案内板3基を設置。					
取 組 実 績		令和7年度文化財ガイドボード等整備事業として文化財ガイドボード製作設置検討業務を実施した。 ○文化財ガイドボード製作設置検討業務 ・契約金額 4,620,000円 ・業務期間 令和7年10月24日から令和8年3月23日まで ・業務内容 設置場所の検討、デザイン・仕様の検討、基本設計、実施設計等					
成 果		中心市街地に位置する石巻指定文化財である旧観慶丸商店や旧ハリストス正教会教会堂をデザインした案内板や石巻駅や内海橋の歴史を伝える説明板の設計が完了した。					
成果に係る評価		令和7年度の製作設置検討業務により文化財ガイドボードの基本設計及び実施設計が完了したことから、令和8年度に文化財ガイドボード製作設置工事を実施する。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	4,620,000	4,620,000	2,310,000	2,100,000		210,000	

予算科目	10 款	教育費	事業名		図書館施設整備事業														
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち														
	4 目	図書館費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進														
	事業	図書館管理費		(2)	読書の推進・環境を整備する														
担当部課		教育委員会図書館		実施計画掲載ページ		－													
目的及び事業内容		現在の図書館は昭和48年に建設されたもので、建設から53年が経過しており、施設の老朽化やバリアフリーへの対応が課題となっている。 今後の図書館の在り方については、令和3年度に教育委員会が策定した「石巻市社会教育・体育施設等適正配置及び長寿命化計画」において、利用者に快適な施設環境を提供するための計画的な改修を行う施設に位置付けられており、当面は長寿命化対策として部分的な改修を行いながら、令和13年以降に改築・建替を検討する計画としている。																	
取 組 実 績		1 改修工事設計業務 長寿命化対策として部分的な改修に係る設計業務を実施した。 <table><tr><td>業務名</td><td>事業費（円）</td></tr><tr><td>屋上防水・照明設備改修工事設計業務</td><td>2,140,000</td></tr></table> 2 支障木等伐採業務 図書館裏側の支障木と市道側に付き出た危険木の伐採を実施した。 <table><tr><td>業務名</td><td>事業費（円）</td></tr><tr><td>支障木伐採業務</td><td>1,298,000</td></tr><tr><td>危険木伐採業務</td><td>245,300</td></tr><tr><td>計</td><td>1,543,300</td></tr></table>						業務名	事業費（円）	屋上防水・照明設備改修工事設計業務	2,140,000	業務名	事業費（円）	支障木伐採業務	1,298,000	危険木伐採業務	245,300	計	1,543,300
業務名	事業費（円）																		
屋上防水・照明設備改修工事設計業務	2,140,000																		
業務名	事業費（円）																		
支障木伐採業務	1,298,000																		
危険木伐採業務	245,300																		
計	1,543,300																		
成 果		利用者に快適な施設環境を提供するための計画的な改修工事に向け、事業を進めることができた。 また、支障木等を撤去したことにより、利用者と近隣住民の安全安心を確保することができた。																	
成果に係る評価		当面は現施設を使用していくこととなるため、利用者の安全確保や利便性向上に向けた取り組みを着実に進める必要がある。特に一般用蛍光灯については「水銀に関する水俣条約」の国際合意により、製造・輸出入が令和9年末までに禁止されることが決定しており、国内大手のパナソニックでは、蛍光灯の生産を令和9年9月末までに終了することを公式発表していることから、早期にLED化を図る必要がある。 施設敷地内の樹木については、手入れを怠ると繁茂し支障木となることから、継続的な剪定が肝要である。今回、支障木を伐採したことで、利用者や通行者の安全を確保することができた。特に支障木は近隣住民から日照障害や嫌虫発生によりクレームとなるケースがあるため、継続して剪定又は伐採する必要があるが、大木の伐採は直営では対応困難であるため、当該経費の確保が課題となっている。																	
(単位：円)																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源													
	4,209,112	3,683,300				3,683,300													

予算科目	10 款	教育費	事業名		読書環境整備事業〔復興基金〕																			
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																			
	4 目	図書館費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進																			
	事業	図書館活動費		(2)	読書の推進・環境を整備する																			
担当部課		教育委員会図書館		実施計画掲載ページ		P 97																		
目的及び事業内容			公立図書館として図書館法第3条に基づき、図書、記録その他必要な資料・情報を収集、整理、保存して、市民の利用に供し、読書推進、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする。 (1) 図書の整備、郷土資料の収集 (2) 子どもの読書推進事業 (3) 学校支援事業 (4) 教養講座等の開催																					
取 組 実 績			1 図書の整備 新刊書・児童書・郷土関係資料を中心に、図書館で選定した図書を購入するとともに、市民からのリクエストに基づいた図書資料を購入し、利用に供した。自館の資料で対応できないリクエストには宮城県図書館等他館から借受けて対応した。除籍本の無償譲渡について昨年同様通年で行った。 2 子どもの読書推進事業 本館・河北・桃生分館において、ボランティアとの協働により「おはなし会」を実施した。 また、出張図書館「えほんびより」は子育て支援センター及び子育て支援施設において読み聞かせを行うとともに、保護者に対して絵本の選び方や読み方を指導し、読書習慣の重要性を啓発した。 3 学校支援事業 学級貸出、学習支援貸出を実施した。 4 講座・教室・企画展の実施 郷土史講座や読み聞かせボランティアのスキルアップを目的とした講座、企画展等を開催した。外部との連携事業として、ポプラ社との包括連携協定に係る事業と、定住自立圏に係る事業も実施した。																					
成 果			1 図書の整備 <table><tr><td>年度</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>図書購入冊数</td><td>7,517冊</td><td>7,326冊</td><td>7,252冊</td><td>7,162冊</td></tr><tr><td>貸出冊数</td><td>265,416冊</td><td>269,016冊</td><td>273,006冊</td><td>269,926冊</td></tr></table> 2 子どもの読書推進事業 (1) おはなし会の開催（本館、河北分館、桃生分館）：延参加者数801人 (2) 出張図書館「えほんびより」の開催：9団体延参加者数347人 3 学校支援事業 (1) 学級貸出：小学校3校 1,150冊 (2) 学習支援貸出：小学校2校 52冊 4 講座・教室・企画展の実施 (1) ボランティア講座（5月25日、3月1日）：39人参加 (2) 教養講座（8月8日、9月7日）：20人参加 (3) 手作り絵本教室（7月6日、7月12日）：26人参加 (4) 郷土史講座（11月16日）：18人参加 (5) いしかわこうじ先生えほん展（11月1日～2月8日）：1,923人来館 (6) いしかわこうじ先生講演会（2月8日）：180人参加 (7) 手作り絵本展＆企画展「昭和百年だヨ！全員集合」（9月2日～10月5日）：787人来館 (8) 定住自立圏に係るイベント【スタンプラリー、本の福袋】（12月24日～2月28日）：95組参加 (9) 帰ってきた小船原画展（3月3日～3月15日）：412人参加							年度	R4	R5	R6	R7	図書購入冊数	7,517冊	7,326冊	7,252冊	7,162冊	貸出冊数	265,416冊	269,016冊	273,006冊	269,926冊
年度	R4	R5	R6	R7																				
図書購入冊数	7,517冊	7,326冊	7,252冊	7,162冊																				
貸出冊数	265,416冊	269,016冊	273,006冊	269,926冊																				
成果に係る評価			・利用者にとって魅力ある資料の収集と、その情報発信、相互貸借サービスの利用などにより、貸出冊数は過去3年間の平均を上回った。引き続き、市民の読書活動推進を図る必要がある。 ・昨年に続き、除籍本の無償譲渡を通年で行い、廃棄本の有効活用を図ることができた。 ・出張図書館「えほんびより」を行い、子どもの読書活動を推進することができた。 ・ポプラ社との包括連携協定に係る事業と定住自立圏に係る事業を開催し、より広範囲で読書活動推進が図られた。																					
(単位：円)																								
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
		33,884,000	33,686,148			12,000,000	21,686,148																	

予算科目	10 款	教育費	事業名		複合文化施設管理運営事業																																																													
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																																													
	5 目	複合文化施設費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進																																																													
	事業	複合文化施設管理費		(1)	生涯学習環境を強化する																																																													
担当部課		教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		－																																																													
目的及び事業内容		芸術文化の振興、創造及び交流を図り、もって市民生活の向上に寄与するとともに、利便性の向上に資するため、指定管理者による適正な施設管理運営事業を実施する。																																																																
取 組 実 績		1 施設管理者による施設運営事業 (1) 指定管理者 いしのまき・みらいクリエイション (2) 指定管理料 264,000,000円 (3) 指定期間 R7.4.1～R12.3.31 (5年間) 2 施設管理運営事業 ・LINEを活用した施設予約システムを導入するなどICT技術を活用し、利用者の利便向上を図った。 ・まきあーとテラスを活用した多数の独自事業を企画・実施し、普段複合文化施設を利用しない層への浸透を図った。 3 利用者の推移 <table><tr><td>区 分</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>大ホール（ホワイエ含む）</td><td>44,410人</td><td>33,455人</td><td>28,858人</td></tr><tr><td>中ホール</td><td>12,768人</td><td>13,435人</td><td>12,441人</td></tr><tr><td>小ホール（ホワイエ含む）</td><td>23,137人</td><td>22,580人</td><td>23,622人</td></tr><tr><td>各研修室</td><td>15,258人</td><td>20,712人</td><td>18,065人</td></tr><tr><td>和室</td><td>1,226人</td><td>1,957人</td><td>1,073人</td></tr><tr><td>各活動室</td><td>3,936人</td><td>5,488人</td><td>5,389人</td></tr><tr><td>市民ギャラリー</td><td>16,664人</td><td>17,734人</td><td>17,826人</td></tr><tr><td>創作室・アトリエ</td><td>3,307人</td><td>4,848人</td><td>4,457人</td></tr><tr><td>楽屋・控室</td><td>6,226人</td><td>6,402人</td><td>5,938人</td></tr><tr><td>資料閲覧室</td><td>1,896人</td><td>2,037人</td><td>2,499人</td></tr><tr><td>常設展示室</td><td>13,792人</td><td>5,711人</td><td>8,880人</td></tr><tr><td>企画展示室</td><td>9,854人</td><td>6,876人</td><td>8,503人</td></tr><tr><td>その他</td><td>－</td><td>1,540人</td><td>130人</td></tr><tr><td>合計</td><td>152,474人</td><td>142,775人</td><td>137,681人</td></tr></table>					区 分	R5	R6	R7	大ホール（ホワイエ含む）	44,410人	33,455人	28,858人	中ホール	12,768人	13,435人	12,441人	小ホール（ホワイエ含む）	23,137人	22,580人	23,622人	各研修室	15,258人	20,712人	18,065人	和室	1,226人	1,957人	1,073人	各活動室	3,936人	5,488人	5,389人	市民ギャラリー	16,664人	17,734人	17,826人	創作室・アトリエ	3,307人	4,848人	4,457人	楽屋・控室	6,226人	6,402人	5,938人	資料閲覧室	1,896人	2,037人	2,499人	常設展示室	13,792人	5,711人	8,880人	企画展示室	9,854人	6,876人	8,503人	その他	－	1,540人	130人	合計	152,474人	142,775人	137,681人
区 分	R5	R6	R7																																																															
大ホール（ホワイエ含む）	44,410人	33,455人	28,858人																																																															
中ホール	12,768人	13,435人	12,441人																																																															
小ホール（ホワイエ含む）	23,137人	22,580人	23,622人																																																															
各研修室	15,258人	20,712人	18,065人																																																															
和室	1,226人	1,957人	1,073人																																																															
各活動室	3,936人	5,488人	5,389人																																																															
市民ギャラリー	16,664人	17,734人	17,826人																																																															
創作室・アトリエ	3,307人	4,848人	4,457人																																																															
楽屋・控室	6,226人	6,402人	5,938人																																																															
資料閲覧室	1,896人	2,037人	2,499人																																																															
常設展示室	13,792人	5,711人	8,880人																																																															
企画展示室	9,854人	6,876人	8,503人																																																															
その他	－	1,540人	130人																																																															
合計	152,474人	142,775人	137,681人																																																															
成 果		SNSを活用した予約システムを導入し、利用者が時間をかけずに利用申請できるようになったことで、市民が利用しやすい環境を整備できた一方、指定管理者が変更となるタイミングだったことから、ホールを利用する公演・イベントが減少した。																																																																
成果に係る評価		新たな予約システムの導入等、新規指定管理者の取組により利用者の利便性の向上が図られた。一方、施設の利用者数は減少したが、指定管理者による新たな企画やイベント等効果は次年度以降に現れるものと期待される。																																																																
(単位：円)																																																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																												
	264,000,000	264,000,000			6,318,983	257,681,017																																																												

予算科目	10 款	教育費	事業名		博物館資料調査整理事業																																																
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																																
	5 目	複合文化施設費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進																																																
	事業	博物館資料調査整理事業費		(1)	生涯学習環境を強化する																																																
担当部課		教育委員会博物館		実施計画掲載ページ		P 96																																															
目的及び事業内容		博物館資料の調査・整理を行い、活用できる状態へ整え、市民の財産である文化財の展示・公開を行い、市民と石巻市の歴史や文化芸術を共有することで、地域への興味関心を高める。 博物館が収蔵する旧石巻文化センター資料及び毛利コレクションの全体像を把握する。旧石巻文化センター資料については、震災の被害状況の確認及び再整理、毛利コレクションについては、未調査資料の調査を実施、データの照合作業も継続的に実施する。あわせて、震災以降に寄贈を受けた資料整理も行う。調査が完了した資料から随時公開する。																																																			
取 組 実 績		1 毛利コレクション調査・整理 (1) アイヌ資料 市指定710点及び未整理分について、共同研究に関する覚書を締結した国立アイヌ民族博物館との調査を実施 報告書刊行に向け調整中 2 板碑拓本の採拓 海蔵庵板碑群、鹿又北上川堤防板碑群、長塩谷板碑群計100点拓本採拓 3 新収蔵資料の整理 寄贈資料の点数整理、詳細研究のための基本整理を実施（鹿又小林家81点、瀬上家233点、平塚家8点、遠藤源七旧蔵資料53点ほか） 4 民俗資料調査 宮城民俗 commons（県内の民俗資料保有博物館等で構成）における旧石巻文化センター民俗資料調査の実施 180点の資料調査及び写真撮影 現在、東北歴史博物館HP内で公開中																																																			
成 果		<table><tr><th rowspan="2">年度</th><th colspan="2">調査件数</th><th rowspan="2">達成率</th><th colspan="2">システム登録件数</th><th rowspan="2">達成率</th></tr><tr><th>目標値</th><th>実績</th><th>目標値</th><th>実績</th></tr><tr><td>R3</td><td>1,000件</td><td>1,467件</td><td>146.70%</td><td>1,000件</td><td>93件</td><td>9.30%</td></tr><tr><td>R4</td><td>2,000件</td><td>5,797件</td><td>289.85%</td><td>1,000件</td><td>357件</td><td>35.70%</td></tr><tr><td>R5</td><td>2,000件</td><td>3,449件</td><td>172.45%</td><td>1,000件</td><td>4,244件</td><td>424.40%</td></tr><tr><td>R6</td><td>2,000件</td><td>2,540件</td><td>127.00%</td><td>1,000件</td><td>3,205件</td><td>320.50%</td></tr><tr><td>R7</td><td>2,000件</td><td>1,344件</td><td>67.20%</td><td>1,000件</td><td>1,274件</td><td>127.40%</td></tr></table>						年度	調査件数		達成率	システム登録件数		達成率	目標値	実績	目標値	実績	R3	1,000件	1,467件	146.70%	1,000件	93件	9.30%	R4	2,000件	5,797件	289.85%	1,000件	357件	35.70%	R5	2,000件	3,449件	172.45%	1,000件	4,244件	424.40%	R6	2,000件	2,540件	127.00%	1,000件	3,205件	320.50%	R7	2,000件	1,344件	67.20%	1,000件	1,274件	127.40%
年度	調査件数		達成率	システム登録件数		達成率																																															
	目標値	実績		目標値	実績																																																
R3	1,000件	1,467件	146.70%	1,000件	93件	9.30%																																															
R4	2,000件	5,797件	289.85%	1,000件	357件	35.70%																																															
R5	2,000件	3,449件	172.45%	1,000件	4,244件	424.40%																																															
R6	2,000件	2,540件	127.00%	1,000件	3,205件	320.50%																																															
R7	2,000件	1,344件	67.20%	1,000件	1,274件	127.40%																																															
成果に係る評価		調査件数は、目標を下回る結果となったが、資料により調査にかかる時間が異なり、令和7年度は調査に時間のかかる資料であったためやむを得ない。未調査の所蔵資料が膨大であることから、調査完了にはまだ時間を要する。専門機関との連携や協力を得ながら、継続的に取り組む必要がある。 令和7年度は篤志から寄附金があり、この寄附金を活用し、令和8年度より調査員を1名雇用し、調査のスピードアップを図る。																																																			
(単位：円)																																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																															
	11,152,360	9,235,723				9,235,723																																															

予算科目	10 款	教育費	事業名		石巻市博物館企画展・特別展事業																							
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																							
	5 目	複合文化施設費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進																							
	事業	博物館企画展・特別展事業		(1)	生涯学習環境を強化する																							
担当部課		教育委員会博物館		実施計画掲載ページ		P 96																						
目的及び事業内容			石巻市博物館において、企画展・特別展を年3回程度開催し、市民に文化・芸術に触れる場を提供することで、石巻市の歴史・文化に対する理解を深めるとともに、心の豊さの醸成を図る。																									
取 組 実 績			【令和7年度企画展・特別展の開催実績】 1 自主企画「収蔵品展」 会期：令和7年4月12日（土）～5月11日（日） 主催：石巻市博物館 2 第11回企画展「近代を生きた東北にゆかりの画家たち」 会期：令和7年5月24日（土）～7月13日（日） 主催：石巻市博物館 協力：宮城県美術館 3 第12回特別展「アルフォンス・ミュシャ展」 会期：令和7年7月26日（土）～8月31日（日） 主催：石巻市博物館 協力：株式会社文化企画 4 第13回企画展「宮城に生きる民俗－宮城の漁業－」 会期：令和7年10月25日（土）～12月14日（日） 主催：石巻市博物館 協力：宮城県民俗担当職員協議会（宮城民俗 commons） 5 第14回企画展「樺山祐和と描く－森と海の美術展－」 会期：令和8年1月10日（土）～3月15日（日） 主催：石巻市博物館・武蔵野美術大学																									
成 果			<table><thead><tr><th>展覧会名</th><th>観覧者数（人）</th><th>満足度（％）</th></tr></thead><tbody><tr><td>自主企画「収蔵品展」</td><td>1,630</td><td>－</td></tr><tr><td>第11回企画展「近代を生きた東北にゆかりの画家たち」</td><td>875</td><td>93.0%</td></tr><tr><td>第12回特別展「アルフォンス・ミュシャ展」</td><td>4,210</td><td>95.0%</td></tr><tr><td>第13回企画展「宮城に生きる民俗－宮城の漁業－」</td><td>913</td><td>89.0%</td></tr><tr><td>第14回企画展「樺山祐和と描く－森と海の美術展－」</td><td>874</td><td>87.0%</td></tr><tr><td>合計（平均）</td><td>8,502</td><td>91.0%</td></tr></tbody></table>					展覧会名	観覧者数（人）	満足度（％）	自主企画「収蔵品展」	1,630	－	第11回企画展「近代を生きた東北にゆかりの画家たち」	875	93.0%	第12回特別展「アルフォンス・ミュシャ展」	4,210	95.0%	第13回企画展「宮城に生きる民俗－宮城の漁業－」	913	89.0%	第14回企画展「樺山祐和と描く－森と海の美術展－」	874	87.0%	合計（平均）	8,502	91.0%
展覧会名	観覧者数（人）	満足度（％）																										
自主企画「収蔵品展」	1,630	－																										
第11回企画展「近代を生きた東北にゆかりの画家たち」	875	93.0%																										
第12回特別展「アルフォンス・ミュシャ展」	4,210	95.0%																										
第13回企画展「宮城に生きる民俗－宮城の漁業－」	913	89.0%																										
第14回企画展「樺山祐和と描く－森と海の美術展－」	874	87.0%																										
合計（平均）	8,502	91.0%																										
成果に係る評価			昨年度より大幅に観覧者数が増加し、さらに満足度も高水準を維持できている。令和7年度は、広報にも力を入れ、例年とは異なる広報の手法（これまで新聞折込のみだったのを、仙石線の中吊り広告やweb広告を実施）を取り入れ、集客拡大に努めた。しかし、依然として来場者アンケートの結果から、市民の来場者の割合は3～4割程度にとどまっている。 また、展示の内容により、客層に偏りが見られる。世代を問わず興味を持てる展覧会を検討しつつ、それぞれターゲットを定め、そのターゲットに確実にアプローチできる広報の手法についても、引き続き検討を行う。																									
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	19,040,342	17,482,493			15,098,900	2,383,593																						

予算科目	10 款	教育費	事業名		河北総合センター管理運営事業																																															
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																															
	8 目	社会教育施設管理費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進																																															
	事業	河北総合センター管理費		(1)	生涯学習環境を強化する																																															
担当部課		教育委員会生涯学習課		実施計画掲載ページ			－																																													
目的及び事業内容		スポーツ、文化、学習及び交流活動の普及振興並びに市民の心身の健全な発達と福祉の増進を図るとともに、利便性の向上に資するため、指定管理者による適正な施設管理運営事業を実施する。																																																		
取 組 実 績		1 施設管理者による施設運営事業 (1) 指定管理者 いしのまき・みらいクリエイション (2) 指定管理料 71,700,000円 (3) 指定期間 R7.4.1～R12.3.31 (5年間) 2 施設管理運営事業 ・ L I N Eを活用した予約システムの導入により利用者の利便向上につながった。□ ・ 地域の各種イベント等への協力など、地域に貢献できる施設運営に努めた。 3 利用者の推移 <table><tr><td>区 分</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>ホール（楽屋含む）</td><td>11,191人</td><td>11,299人</td><td>18,665人</td><td>19,369人</td><td>22,361人</td></tr><tr><td>アリーナ</td><td>22,749人</td><td>21,155人</td><td>18,607人</td><td>22,674人</td><td>20,874人</td></tr><tr><td>トレーニング室</td><td>1,517人</td><td>2,147人</td><td>2,155人</td><td>2,501人</td><td>2,682人</td></tr><tr><td>柔剣道場</td><td>16,072人</td><td>7,962人</td><td>6,969人</td><td>6,990人</td><td>5,864人</td></tr><tr><td>会議室等その他の部屋</td><td>14,057人</td><td>21,884人</td><td>32,147人</td><td>32,179人</td><td>25,273人</td></tr><tr><td>合計</td><td>65,586人</td><td>64,447人</td><td>78,543人</td><td>83,713人</td><td>77,054人</td></tr></table>									区 分	R3	R4	R5	R6	R7	ホール（楽屋含む）	11,191人	11,299人	18,665人	19,369人	22,361人	アリーナ	22,749人	21,155人	18,607人	22,674人	20,874人	トレーニング室	1,517人	2,147人	2,155人	2,501人	2,682人	柔剣道場	16,072人	7,962人	6,969人	6,990人	5,864人	会議室等その他の部屋	14,057人	21,884人	32,147人	32,179人	25,273人	合計	65,586人	64,447人	78,543人	83,713人	77,054人
区 分	R3	R4	R5	R6	R7																																															
ホール（楽屋含む）	11,191人	11,299人	18,665人	19,369人	22,361人																																															
アリーナ	22,749人	21,155人	18,607人	22,674人	20,874人																																															
トレーニング室	1,517人	2,147人	2,155人	2,501人	2,682人																																															
柔剣道場	16,072人	7,962人	6,969人	6,990人	5,864人																																															
会議室等その他の部屋	14,057人	21,884人	32,147人	32,179人	25,273人																																															
合計	65,586人	64,447人	78,543人	83,713人	77,054人																																															
成 果		指定管理者と定期的に協議を行いながら利用者のニーズに即した施設運営を行ったほか、計画的な施設の修繕を実施したことで、利用満足度の高い施設運営が図られた。																																																		
成果に係る評価		指定管理者が変更となり、L I N Eを活用した予約システムが導入されたことで、利用者の利便向上が図られた。また、指定管理者が企画したイベントの開催により地域に密着した運営が実現できた。																																																		
(単位：円)																																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																														
	71,700,000	71,700,000				71,700,000																																														

予算科目	10 款	教育費	事業名		遊楽館管理運営事業																																														
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																														
	8 目	社会教育施設管理費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進																																														
	事業	遊楽館管理費		(1)	生涯学習環境を強化する																																														
担当部課		市民生活部スポーツ振興課 教育委員会生涯学習課		実施計画掲載ページ		－																																													
目的及び事業内容		スポーツ、文化、学習及び交流活動の普及振興並びに市民の心身の健全な発達と福祉の増進を図るとともに、利便性の向上や各種教室等を通じて青少年の健全育成に資するため、指定管理者による適正な施設管理運営事業を実施する。																																																	
取 組 実 績		1 指定管理者による施設管理運営事業 (1) 遊楽館 指定管理者：いしのまき・みらいクリエイション 指定管理料：97,400,000円 指定期間：R7.4.1～R12.3.31（5年間） (2) 河南屋内プール 指定管理者：特定非営利活動法人石巻市スポーツ協会・ミズノグループ 指定管理料：16,860,000円 指定期間：R4.4.1～R9.3.31（5年間） 2 施設管理運営事業 (1) 遊楽館 L I N Eを活用した予約システムを導入し、利用者が簡易に予約することができるようになったほか、支払い方法としてキャッシュレス決済を導入するなど利用者の利便性の向上に努めた。 (2) 河南室内プール 新たにSNSを活用した情報発信を開始し、施設情報、子ども向けのイベントや成人向けフィットネス教室など、利用者に分かりやすく必要な情報を発信し、新規利用者の開拓、集客に努めた。																																																	
成 果		利用者の推移 <table><tr><th colspan="2">施設名</th><th>区 分</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td rowspan="6">遊楽館</td><td>ホール・楽屋・リハ室</td><td></td><td>20,729人</td><td>20,069人</td><td>21,763人</td></tr><tr><td>アリーナ</td><td></td><td>25,217人</td><td>26,390人</td><td>33,909人</td></tr><tr><td>トレーニング室</td><td></td><td>3,606人</td><td>4,058人</td><td>4,001人</td></tr><tr><td>会議室・和室</td><td></td><td>38,620人</td><td>45,942人</td><td>31,641人</td></tr><tr><td>調理室・多目的室等</td><td></td><td>8,599人</td><td>21,972人</td><td>9,678人</td></tr><tr><td>合計</td><td></td><td>96,771人</td><td>118,431人</td><td>100,992人</td></tr><tr><td>河南室内プール</td><td>プール</td><td></td><td>33,009人</td><td>33,925人</td><td>35,270人</td></tr></table>							施設名		区 分	R5	R6	R7	遊楽館	ホール・楽屋・リハ室		20,729人	20,069人	21,763人	アリーナ		25,217人	26,390人	33,909人	トレーニング室		3,606人	4,058人	4,001人	会議室・和室		38,620人	45,942人	31,641人	調理室・多目的室等		8,599人	21,972人	9,678人	合計		96,771人	118,431人	100,992人	河南室内プール	プール		33,009人	33,925人	35,270人
施設名		区 分	R5	R6	R7																																														
遊楽館	ホール・楽屋・リハ室		20,729人	20,069人	21,763人																																														
	アリーナ		25,217人	26,390人	33,909人																																														
	トレーニング室		3,606人	4,058人	4,001人																																														
	会議室・和室		38,620人	45,942人	31,641人																																														
	調理室・多目的室等		8,599人	21,972人	9,678人																																														
	合計		96,771人	118,431人	100,992人																																														
河南室内プール	プール		33,009人	33,925人	35,270人																																														
成果に係る評価		1 遊楽館 令和7年度から指定管理者が変更となり、L I N Eを活用した予約システムの導入や、カフェスペースの開設等、新たな試みにより、利用者の満足度向上につながった。 2 河南屋内プール 利用者に分かりやすい情報発信に努めるとともに、利用者の意見を事業運営へ反映した結果、利用者の満足度向上に繋がり、利用者数は前年度比1,345人増加したことから、継続的な情報発信に努め、適切な管理運営を行っていく。																																																	
(単位：円)																																																			
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																															
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																												
		114,260,000	114,260,000				114,260,000																																												

予算科目	10 款	教育費	事業名		かなんパークゴルフ場管理運営事業費								
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち								
	8 目	社会教育施設管理費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進								
	事業	かなんパークゴルフ場運営費		(2)	スポーツ環境を整備する								
担当部課		市民生活部スポーツ振興課		実施計画掲載ページ		－							
目的及び事業内容		パークゴルフを通じて市民同士の親睦と交流を深め、スポーツの楽しさとふれあいの場を提供することにより、基礎体力向上や健康増進を図るとともに利便性の向上に資するため、指定管理者による適正な施設管理運営を実施する。											
取 組 実 績		1 指定管理による施設運営事業 (1) 指定管理者 有限会社ふれあいパーク (2) 指定管理料 14,960,000円 (3) 指定期間 令和7年4月1日から令和12年3月31日まで（5年間） 2 施設管理運営事業 (1) 利用者への指導、初心者講習会（随時）の実施 (2) 各種大会の開催 (3) 利用者が快適に利用できる設備整備 （芝管理、立木の維持、施設の点検・維持管理、施設周辺の環境整備） (4) アンケート調査による利用者ニーズの把握及び改善によるサービス向上											
成 果		昨今の夏の異常気象や、県内・東北地区へのパークゴルフ場の新規開設により、利用者が分散傾向にある中、利用者の利便性向上を図るため、芝の適切な管理に努め、美しいコンディションの維持と快適な施設環境の提供を行った。また、利用者の要望を踏まえ、地元飲食店による食堂営業やコース内への休憩用ベンチの設置など利用者サービスの向上が図られた。 施設利用者の推移 <table><tr><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>30,372人</td><td>29,271人</td><td>27,525人</td></tr></table>						R5	R6	R7	30,372人	29,271人	27,525人
R5	R6	R7											
30,372人	29,271人	27,525人											
成果に係る評価		利便性の向上に資するため、指定管理者による適正な施設運営に努めてきたものの、類似施設の開設等の影響により、施設利用者数は減少傾向にある。今後は、利用者ニーズを的確に把握し、それに対応した施設運営として、利用者の増加につながる取組を指定管理者と十分に協議を行いながら、施設の利用促進を図る必要がある。											
(単位：円)													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源							
	14,960,000	14,960,000				14,960,000							

予算科目	10 款	教育費	事業名		スポーツ振興事業																																		
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																		
	1 目	保健体育総務費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進																																		
	事業	体育奨励費		(1)	スポーツ活動を推進する																																		
担当部課		市民生活部スポーツ振興課		実施計画掲載ページ		P 98																																	
目的及び事業内容		市民の健康づくりと交流促進をはじめ、生涯スポーツ社会の実現や成人のスポーツ実施率の向上のほか、青少年の健全育成を目指し、いしのまき市民スポーツフェスタ等の事業を開催する。																																					
取 組 実 績		本事業の目的を達成するため、石巻市総合体育館の指定管理者に補助金を交付し、各事業を実施した。 1 スポーツ協会補助金事業 (1) スポーツ活動交流事業 総合開会式（R7.6.14実施） (2) スポーツ振興事業 いしのまき総合スポーツクラブ（R7年度会員数263名）等 (3) スポーツ少年団支援事業 清掃奉仕活動（R7.8.6～R7.8.17実施）等 (4) スポーツの指導、奨励及び競技力向上等各種支援事業 第79回国民スポーツ大会壮行会（R7.9.11実施） (5) スポーツに関する功労賞の表彰及び広報活動事業 石巻市スポーツ協会・スポーツ少年団表彰式（R8.1.17実施） 2 石巻総合体育館指定管理者実施事業 (1) いしのまき市民スポーツフェスタ (2) いしのまきキッズ交流大会 (3) キッズバラエティスポーツ教室 (4) 体育館スポーツ教室 ※事業経費については総合体育館の指定管理料から支出している。																																					
成 果		継続的な事業開催により、市民のスポーツに対する興味関心を高め、スポーツ活動の習慣化に寄与した。 <table><tr><td></td><td colspan="3">参加者数</td></tr><tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>いしのまき復興マラソン</td><td>1,605人</td><td>2,568人</td><td>-</td></tr><tr><td>いしのまき市民スポーツフェスタ</td><td>105人</td><td>241人</td><td>104人</td></tr><tr><td>いしのまきキッズ交流大会</td><td>362人</td><td>386人</td><td>315人</td></tr><tr><td>キッズバラエティスポーツ教室</td><td>1,201人</td><td>1,113人</td><td>923人</td></tr><tr><td>体育館スポーツ教室</td><td>2,448人</td><td>2,399人</td><td>2,500人</td></tr><tr><td>合計</td><td>5,721人</td><td>6,707人</td><td>3,842人</td></tr></table> ※いしのまき復興マラソンはR7年度からスポーツ交流事業に移動							参加者数				R5	R6	R7	いしのまき復興マラソン	1,605人	2,568人	-	いしのまき市民スポーツフェスタ	105人	241人	104人	いしのまきキッズ交流大会	362人	386人	315人	キッズバラエティスポーツ教室	1,201人	1,113人	923人	体育館スポーツ教室	2,448人	2,399人	2,500人	合計	5,721人	6,707人	3,842人
	参加者数																																						
	R5	R6	R7																																				
いしのまき復興マラソン	1,605人	2,568人	-																																				
いしのまき市民スポーツフェスタ	105人	241人	104人																																				
いしのまきキッズ交流大会	362人	386人	315人																																				
キッズバラエティスポーツ教室	1,201人	1,113人	923人																																				
体育館スポーツ教室	2,448人	2,399人	2,500人																																				
合計	5,721人	6,707人	3,842人																																				
成果に係る評価		各事業については、悪天候や他大会との日程重複等の外的要因により参加者数が左右されることがあるが、引き続き、参加者に満足いただき、魅力ある事業となるよう、関係団体との連携を強化し、本市の更なるスポーツ振興に努めていく。																																					
(単位：円)																																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																	
	2,700,000	2,700,000				2,700,000																																	

予算科目	10 款	教育費	事業名		石巻スポーツコミッション運営支援事業	
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち	
	1 目	保健体育総務費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進	
	事業	スポーツ交流推進事業費		(2)	スポーツ環境を整備する	
担当部課		市民生活部スポーツ振興課		実施計画掲載ページ		P 98
目的及び事業内容		いしのまきスポーツコミッションは、スポーツと地域資源を戦略的に活用し、まちづくりや地域活性化を目的に活動している団体である。 その活動は、交流人口の拡大や市民の健康増進など、経済的効果と社会的効果の両面で発揮され、本市が推進する地方創生や持続可能なまちづくりに寄与するものであることから、負担金を交付し、当該団体の活動を支援する。				
取 組 実 績		スポーツをテーマに地域の多様な事業者が参画し、自発的に企画実行するビジネスの創出を推進するために、いしのまきスポーツコミッションに対し負担金を交付し、大会の運営支援、スポーツ合宿誘致、武道ツーリズム、自主イベント等の様々な事業を支援し、交流人口の拡大や地域の活性化を図った。 1 実施事業 (1) 大会の運営支援 2025U23アルティメット地区選抜対抗戦の運営に係る支援を実施し、宿泊施設の紹介や会場の予約、合宿アンケート調査等の業務を実施した。 (2) スポーツ合宿誘致 スポーツ少年団や民間団体が実施するサッカー、野球、ラグビー、バレーボールの合宿について、会場予約や宿泊施設の紹介などの業務を実施した。 (3) 武道ツーリズム 石巻市は古くから剣道、柔道、空手などの武道が盛んであり、特に弓道界で弓術を弓道に変えた弓聖と称される阿波研造氏の出生地でもあることから、その弓道の体験を通して、日本文化に共通する精神性の源流をたどるとともに、武道ツーリズムによる交流人口の拡大を図るため、インバウンド向けの「武道ツーリズム」に係るツアー造成を株式会社日本旅行と実施し、ガイドの育成やツアーの磨き上げに関する業務、ファムツアーの実施等を行った。 (4) 自主イベント 石巻市に根付いた文化や歴史に触れ、特産品等の魅力を発信し、県内外から多くの参加者を集め、交流人口の増加及び地域の活性化を図るため、潮風ロゲイニングを開催した。				
成 果		スポーツと地域資源を戦略的に活用し、まちづくりや地域活性化に効果を発揮する事業を実施したことで、交流人口の増加を図ることができた。 1 大会の運営支援、スポーツ合宿誘致、自主イベント参加人数 (1) 大会の運営支援 1回 300人 (2) スポーツ合宿誘致 4団体 315人 (3) 自主イベント 1回 26人				
成果に係る評価		様々な事業を積極的に実施し、スポーツを一つの手段として用いることにより、人々を呼び込むことや市民の健康増進などのための企画や推進をしていくことで、地方創生や持続可能なまちづくりに寄与することができた。 併せて、事務局機能は本市が担っていたが、自走化に向けた検討や協議を進めたことで、いしのまきスポーツコミッション会員が一体となって事業を推進する体制づくりを構築することができたことから、引き続き、各会員と連携しながら、地域の活性化を図る有効な事業を推進していく。				
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳	
					国(県)支出金	一般財源
	4,995,000		4,995,000			4,995,000

予算科目	10 款	教育費	事業名		スポーツ交流事業〔復興基金〕																					
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																					
	1 目	保健体育総務費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進																					
	事業	スポーツ交流推進事業費		(3)	スポーツを通じた交流活動を推進する																					
担当部課		市民生活部スポーツ振興課		実施計画掲載ページ		P 99																				
目的及び事業内容			スポーツ交流イベントを開催することにより、スポーツの楽しさや魅力を体感し、スポーツ交流人口の拡大や一体感の醸成を図るとともに、技術の向上と健康増進を図る。 第9回いしのまき復興マラソン及びツール・ド・東北2025といった大型イベントをはじめ、プロスポーツチーム（東北楽天ゴールデンイーグルス、ペガルタ仙台、マイナビ仙台レディース）との連携事業や現役アスリートや元プロ選手を講師とした各種教室のほか、石巻地域ダンス文化育成・振興を目的としたいしのまきダンスフェスティバル、パラスポーツの魅力を体感できるあすチャレ！スクールなどを実施する。																							
取 組 実 績			1 第9回いしのまき復興マラソン（R8.3.15） 復興した石巻の姿を全国に発信するとともに、全国の被災地の復興を祈念（応援）することを目的に本イベントを開催した。 2 ツール・ド・東北2025（R7.9.13～R7.9.14） 東日本大震災の復興支援と震災の記憶を未来に残していくとともに、サイクルツーリズムの推進を図るため、本市を会場に、一般社団法人ツール・ド・東北及び河北新報社が主導し、本イベントを開催した。 3 プロスポーツチームとの交流事業 (1) ペガルタ仙台との連携事業 ア 訪問型サッカー教室（R7.10月～R7.12月） イ 健康体操教室（R7.8月～R8.2月） ウ 親子招待事業（R7.5月～10月） (2) マイナビ仙台レディースとの連携事業 ア 訪問型サッカー教室（R7.9月～R7.11月） イ ビーチクリーン活動（R7.10.4） ウ ホームゲーム招待事業（R7.10.18） (3) 楽天野球団との連携事業 ア 親子野球教室、ふれあいイベント（R7.9.6） 4 その他の交流事業 (1) あすチャレ！スクール（R7.12.1～R7.12.5） (2) あすチャレ！ジュニアアカデミー（R8.1.28／R8.1.29／R8.2.20） (3) パラスポ！インクルーシブ運動会（R7.5.24） (4) 中西哲生さんのサッカー教室（R7.10.8） (5) 炬火台（聖火台）磨き in いしのまき（R8.3.14） (6) ライオンラグビー教室（R7.8.10） (7) 東レアローズ静岡バレーボール（R7.7.26） (8) いしのまきダンスフェスティバル（R7.5.25）																							
成 果			各種イベント実施により、スポーツ交流人口の拡大が図られた。 <table><tr><td>区分</td><td colspan="2">成果指標</td><td>達成率等</td></tr><tr><td></td><td>目標値</td><td>実績等</td><td></td></tr><tr><td>R5</td><td>1,600人</td><td>1,124人</td><td>70.3%</td></tr><tr><td>R6</td><td>1,700人</td><td>3,551人</td><td>208.9%</td></tr><tr><td>R7</td><td>5,150人</td><td>6,557人</td><td>127.3%</td></tr></table>				区分	成果指標		達成率等		目標値	実績等		R5	1,600人	1,124人	70.3%	R6	1,700人	3,551人	208.9%	R7	5,150人	6,557人	127.3%
区分	成果指標		達成率等																							
	目標値	実績等																								
R5	1,600人	1,124人	70.3%																							
R6	1,700人	3,551人	208.9%																							
R7	5,150人	6,557人	127.3%																							
成果に係る評価			いしのまき復興マラソンの本事業での実施や新たなイベントの実施、各事業において参加者の意見を反映するなど内容の見直しを行ったことで参加者が増加し、スポーツによる交流を促進することができた。 今後も、市民がスポーツの楽しさや魅力を身近に感じられるような、様々なイベントを開催し、市内外から多くの人を呼び込んで、スポーツ交流人口の拡大を図っていく。																							
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	17,240,000	16,953,760			16,000,000	953,760																				

予算科目	10 款	教育費	事業名		石巻市総合体育館管理運営事業																																																	
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																																	
	2 目	体育施設費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進																																																	
	事業	体育館管理費		(2)	スポーツ環境を整備する																																																	
担当部課		市民生活部スポーツ振興課		実施計画掲載ページ		－																																																
目的及び事業内容		石巻市総合体育館は、体育・スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の向上に資することを目的とし、体育・スポーツ活動やレクリエーションの指導研修、健康及び体力の増進などの相談に関する事業を行うとともに、「キッズ・パラエティススポーツ教室」の開催など、スポーツ振興に関する事業を企画及び実施するため、指定管理者による適正な指定管理運営事業を実施する。																																																				
取 組 実 績		1 指定管理者による施設管理運営事業 (1) 指定管理者 特定非営利活動法人石巻市スポーツ協会 (2) 指定管理料 52,400,000円 (3) 指定期間 令和3年4月1日から令和8年3月31日まで（5年間） 2 施設管理運営事業 (1) 利用者のサービス向上 利用者目線に立った施設運営に努めるとともに、アンケート等を実施し利用者ニーズの把握に努めた。また、行事予定や大会情報、各種イベントについては、SNS等を活用するとともにホームページをリニューアルし、積極的な情報発信を行い、利用者の利便性の向上を図った。 (2) スポーツ振興事業の展開 市民が生涯にわたるスポーツに親しむことができる環境づくりを推進するとともに、青少年の健全育成及び体力向上を図るため、誰もが気軽に参加できるスポーツ事業を実施した。多様なスポーツを体験する機会を提供し、地域交流の促進を通じてスポーツ振興に努めた。																																																				
成 果		1 利用者数の推移 <table><tr><td>区 分</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>個人利用者数</td><td>14,433人</td><td>15,167人</td><td>13,836人</td></tr><tr><td>回数券利用者数</td><td>13,549人</td><td>15,783人</td><td>14,804人</td></tr><tr><td>貸切利用者数</td><td>37,493人</td><td>39,984人</td><td>46,983人</td></tr><tr><td>教室参加者数</td><td>9,845人</td><td>10,015人</td><td>10,400人</td></tr><tr><td>合計</td><td>75,320人</td><td>80,949人</td><td>86,023人</td></tr></table> 2 スポーツ振興事業の参加者数の推移 <table><tr><td>区 分</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>スポーツフェスタ</td><td>105人</td><td>241人</td><td>104人</td></tr><tr><td>キッズ・パラエティススポーツ教室</td><td>1,201人</td><td>1,113人</td><td>923人</td></tr><tr><td>体育館スポーツ教室</td><td>2,448人</td><td>2,399人</td><td>2,500人</td></tr><tr><td>いしのまきキッズ交流・スポ少交流大会</td><td>362人</td><td>386人</td><td>315人</td></tr><tr><td>合計</td><td>4,116人</td><td>4,139人</td><td>3,842人</td></tr></table>					区 分	R5	R6	R7	個人利用者数	14,433人	15,167人	13,836人	回数券利用者数	13,549人	15,783人	14,804人	貸切利用者数	37,493人	39,984人	46,983人	教室参加者数	9,845人	10,015人	10,400人	合計	75,320人	80,949人	86,023人	区 分	R5	R6	R7	スポーツフェスタ	105人	241人	104人	キッズ・パラエティススポーツ教室	1,201人	1,113人	923人	体育館スポーツ教室	2,448人	2,399人	2,500人	いしのまきキッズ交流・スポ少交流大会	362人	386人	315人	合計	4,116人	4,139人	3,842人
区 分	R5	R6	R7																																																			
個人利用者数	14,433人	15,167人	13,836人																																																			
回数券利用者数	13,549人	15,783人	14,804人																																																			
貸切利用者数	37,493人	39,984人	46,983人																																																			
教室参加者数	9,845人	10,015人	10,400人																																																			
合計	75,320人	80,949人	86,023人																																																			
区 分	R5	R6	R7																																																			
スポーツフェスタ	105人	241人	104人																																																			
キッズ・パラエティススポーツ教室	1,201人	1,113人	923人																																																			
体育館スポーツ教室	2,448人	2,399人	2,500人																																																			
いしのまきキッズ交流・スポ少交流大会	362人	386人	315人																																																			
合計	4,116人	4,139人	3,842人																																																			
成果に係る評価		施設の維持管理及び設備の保守点検を適切に実施するとともに、安全管理や衛生管理に努め、利用者が安心・安全かつ快適に利用できる環境を確保するなど、指定管理者として適正な施設の管理運営が行われた。 また、スポーツ振興事業として各種イベントを継続的に実施した結果、市民に広く定着し、子どもから高齢者まで幅広い世代が気軽にスポーツに親しむ機会の創出につながった。多様なスポーツに触れる機会を提供することで、市民のスポーツへの関心や参加意欲の向上が図られ、健康増進及び心身の健全な育成に寄与するなど、スポーツ振興に一定の成果が認められたことから、今後も適正な管理運営を行っていく。																																																				
(単位：円)																																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																
	52,400,000	52,400,000				52,400,000																																																

予算科目	10 款	教育費	事業名		石巻市総合体育館設備改修事業											
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち											
	2 目	体育施設費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進											
	事業	体育館管理費		(2)	スポーツ環境を整備する											
担当部課		市民生活部スポーツ振興課		実施計画掲載ページ		P 99										
目的及び事業内容		近年の猛暑など気候変動の影響により、運動時における熱中症の発生リスクが高まる中、石巻市総合体育館は、多くの市民が利用する屋内スポーツ施設として、空調設備の整備、充実を図り、熱中症等の健康被害の未然防止及び利用者の安全性を確保するとともに、快適なスポーツ活動環境を提供し、安全かつ快適にスポーツ活動に取り組むことができる環境を整備する。														
取 組 実 績		石巻市総合体育館空調設備設置工事に伴う実施設計を実施した。 (1) 委託業務名：石巻市総合体育館空調設備設置工事設計業務 (2) 工 期：令和7年5月7日～令和7年10月31日 (3) 業務委託料：3,465,000円 (4) 業務完了日：令和7年10月31日														
成 果		石巻市総合体育館空調設備設置工事に伴う実施設計を行い、当該事業の進捗を図った。 <table><tr><th rowspan="2">年度</th><th colspan="2">成果指標</th><th rowspan="2">達成率等</th></tr><tr><th>目標値</th><th>実績等</th></tr><tr><td>R7</td><td>事業進捗率100%</td><td>事業進捗率100%</td><td>100%</td></tr></table>					年度	成果指標		達成率等	目標値	実績等	R7	事業進捗率100%	事業進捗率100%	100%
年度	成果指標		達成率等													
	目標値	実績等														
R7	事業進捗率100%	事業進捗率100%	100%													
成果に係る評価		石巻市総合体育館は昭和55年の開設以来、46年間にわたり市民のスポーツ活動の拠点施設として利用されてきた。これまで市民が利用しやすい環境整備として施設の充実を図ってきたが、近年の猛暑による熱中症リスクへの対応が課題となっていることから、第一武道場（柔道場）、第二武道場（剣道場）及びトレーニング室への空調設備設置に係る実施設計を行い、利用者の安全性と快適性の向上のための、事業進捗が図られたことから、引き続き快適なスポーツ活動環境を提供していく。														
(単位：円)																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源										
	3,465,000	3,465,000		3,200,000		265,000										

予算科目	10 款	教育費	事業名		石巻市総合運動公園整備事業																						
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																						
	2 目	体育施設費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進																						
	事業	総合運動公園管理費		(2)	スポーツ環境を整備する																						
担当部課		市民生活部スポーツ振興課		実施計画掲載ページ		P 99																					
目的及び事業内容		石巻市民球場は、平成11年の竣工から25年が経過し、施設設備の老朽化が進行している。特に空調設備については、竣工以来、大規模改修が行われておらず、各室で不具合が発生していることから、利用環境の維持及び施設機能の安定的な確保を図るため、空調機器及び冷媒配管の全面改修に係る設計及び工事を実施する。																									
取 組 実 績		1 セイホクパーク石巻市民球場空調設備改修工事に伴う設計業務を実施した。 (1) 委託業務名：セイホクパーク石巻市民球場空調設備改修工事設計業務 (2) 履行期間：令和7年5月7日～令和7年8月29日 (3) 業務委託料：3,300,000円 (4) 業務完了日：令和7年8月29日 2 セイホクパーク石巻市民球場空調設備改修工事を実施した。 (1) 工事名：セイホクパーク石巻市民球場空調設備改修工事 (2) 工期：令和7年11月4日～令和8年3月19日 (3) 工事費：23,490,500円 (4) 完成年月日：令和8年3月18日																									
成 果		1 セイホクパーク石巻市民球場空調設備改修工事に伴う設計業務を行い、当該事業の進捗を図った。 <table><tr><th rowspan="2">年度</th><th colspan="2">成果指標</th><th rowspan="2">達成率等</th></tr><tr><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>R7</td><td>事業進捗率100%</td><td>事業進捗率100%</td><td>100%</td></tr></table> 2 セイホクパーク石巻市民球場空調改修工事を行い、当該事業の進捗を図った。 <table><tr><th rowspan="2">年度</th><th colspan="2">成果指標</th><th rowspan="2">達成率等</th></tr><tr><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>R7</td><td>事業進捗率100%</td><td>事業進捗率100%</td><td>100%</td></tr></table>						年度	成果指標		達成率等	目標値	実績値	R7	事業進捗率100%	事業進捗率100%	100%	年度	成果指標		達成率等	目標値	実績値	R7	事業進捗率100%	事業進捗率100%	100%
年度	成果指標		達成率等																								
	目標値	実績値																									
R7	事業進捗率100%	事業進捗率100%	100%																								
年度	成果指標		達成率等																								
	目標値	実績値																									
R7	事業進捗率100%	事業進捗率100%	100%																								
成果に係る評価		老朽化した空調設備を更新することにより、施設利用者が年間を通じて快適に施設を利用できる環境が確保され、利用者の快適性及び利便性の向上が図られた。また、設備の信頼性が向上したことで、空調設備の故障リスクの低減や維持管理の効率化が図られ、公共施設として安全かつ持続的な運営に寄与したことから、引き続き適正な管理運営を行っていく。																									
(単位：円)																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
	29,326,000	26,790,500		25,400,000		1,390,500																					

予算科目	10 款	教育費	事業名		石巻市総合運動公園管理運営事業																																																									
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																																									
	2 目	体育施設費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進																																																									
	事業	総合運動公園管理費		(2)	スポーツ環境を整備する																																																									
担当部課		市民生活部スポーツ振興課		実施計画掲載ページ		—																																																								
目的及び事業内容		石巻市総合運動公園（セイホクパーク石巻）は、スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の向上に資することを目的とし、利用者への質の高いサービスや安全で快適な施設の提供を行うとともに、各種スポーツ行事及び競技大会等の開催を通じて、施設の利用促進を図り、利用者の拡大に努めるため、指定管理者による適正な施設管理運営事業を実施する。																																																												
取 組 実 績		1 指定管理者による施設管理運営事業 (1) 指定管理者 特定非営利活動法人石巻市スポーツ協会 (2) 指定管理料 146,900,000円 (3) 指定期間 令和7年4月1日から令和12年3月31日まで(5年間) 2 施設管理運営事業 (1) 利用者のサービス向上 利用者満足度の向上を図るため、各種行事等に係る情報について、ホームページ及びSNSを活用し積極的な情報発信を行うとともに、利用者ニーズを把握するため、施設利用者に対し利用報告書の提出を求め、当該報告により把握した要望及び意見等については、速やかに対応するよう努めた。 (2) 快適な施設環境の提供 施設の安全性及び快適性の確保を図るため、清掃、除草、スポーツ芝の維持管理等の環境整備を日常的に実施するとともに、緊急時の対応に備え、定期的な巡回点検により危険箇所の把握を行い、必要な修繕を適切に実施するよう努めた。																																																												
成 果		利用者数の推移 <table><tr><th>区 分</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>市民球場</td><td>22,107人</td><td>31,976人</td><td>29,618人</td></tr><tr><td>フットボール場</td><td>8,416人</td><td>11,516人</td><td>8,489人</td></tr><tr><td>ふれあいグラウンド</td><td>4,934人</td><td>5,651人</td><td>5,725人</td></tr><tr><td>フットサルコート</td><td>6,894人</td><td>5,761人</td><td>6,015人</td></tr><tr><td>フットボールフィールド第1</td><td>30,278人</td><td>36,700人</td><td>31,138人</td></tr><tr><td>フットボールフィールド第2</td><td>17,687人</td><td>20,469人</td><td>20,205人</td></tr><tr><td>多目的フィールド</td><td>5,945人</td><td>5,956人</td><td>6,482人</td></tr><tr><td>テニスコート</td><td>10,563人</td><td>13,100人</td><td>12,207人</td></tr><tr><td>南ブロックシャワー室</td><td>246人</td><td>222人</td><td>275人</td></tr><tr><td>南ブロック更衣室</td><td>13,931人</td><td>14,369人</td><td>17,693人</td></tr><tr><td>施設外来園者</td><td>90,100人</td><td>107,633人</td><td>105,221人</td></tr><tr><td>トレーニングセンター</td><td>14,459人</td><td>12,764人</td><td>11,761人</td></tr><tr><td>合計</td><td>225,560人</td><td>266,117人</td><td>254,829人</td></tr></table>					区 分	R5	R6	R7	市民球場	22,107人	31,976人	29,618人	フットボール場	8,416人	11,516人	8,489人	ふれあいグラウンド	4,934人	5,651人	5,725人	フットサルコート	6,894人	5,761人	6,015人	フットボールフィールド第1	30,278人	36,700人	31,138人	フットボールフィールド第2	17,687人	20,469人	20,205人	多目的フィールド	5,945人	5,956人	6,482人	テニスコート	10,563人	13,100人	12,207人	南ブロックシャワー室	246人	222人	275人	南ブロック更衣室	13,931人	14,369人	17,693人	施設外来園者	90,100人	107,633人	105,221人	トレーニングセンター	14,459人	12,764人	11,761人	合計	225,560人	266,117人	254,829人
区 分	R5	R6	R7																																																											
市民球場	22,107人	31,976人	29,618人																																																											
フットボール場	8,416人	11,516人	8,489人																																																											
ふれあいグラウンド	4,934人	5,651人	5,725人																																																											
フットサルコート	6,894人	5,761人	6,015人																																																											
フットボールフィールド第1	30,278人	36,700人	31,138人																																																											
フットボールフィールド第2	17,687人	20,469人	20,205人																																																											
多目的フィールド	5,945人	5,956人	6,482人																																																											
テニスコート	10,563人	13,100人	12,207人																																																											
南ブロックシャワー室	246人	222人	275人																																																											
南ブロック更衣室	13,931人	14,369人	17,693人																																																											
施設外来園者	90,100人	107,633人	105,221人																																																											
トレーニングセンター	14,459人	12,764人	11,761人																																																											
合計	225,560人	266,117人	254,829人																																																											
成果に係る評価		総合運動公園は、市内スポーツ施設の中核的な役割を果たす施設として、子どもから大人まで幅広い世代がスポーツに親しみ、楽しむことができる環境を提供するとともに、市民が安全で快適にスポーツ活動を行えるよう、利用者ニーズを踏まえた施設運営とサービス水準の向上が図られた。 また、施設の愛称を「セイホクパーク石巻」とする施設命名権に関する契約をセイホク株式会社と更新しており、契約締結期間は令和7年7月1日から令和10年6月30日までとなっている。ネーミングライツ料収入（年額：1,980,000円）のほか、野球場広告料収入（合計：2,320,000円）は、管理運営に必要な貴重な財源となっており、引き続き、利用者への質の高いサービスを提供することができるよう継続していく。																																																												
(単位：円)																																																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																								
	146,900,000	146,900,000			4,300,000	142,600,000																																																								

予算科目	10 款	教育費	事業名		雄勝体育施設管理運営事業																					
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																					
	2 目	体育施設費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進																					
	事業	雄勝体育施設管理費		(2)	スポーツ環境を整備する																					
担当部課		市民生活部スポーツ振興課		実施計画掲載ページ		—																				
目的及び事業内容		雄勝体育施設（雄勝体育館・雄勝多目的運動広場・雄勝艇庫）は、スポーツを通じて心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の向上を図り、もってスポーツの日常化と普及振興を推進するとともに、雄勝体育施設の効率的かつ適正な管理運営を実施する。																								
取 組 実 績		1 指定管理者による施設運営事業 (1) 指定管理者 公益社団法人MORIUMIUS（モリウミアス） (2) 指定管理料 15,000,000円 (3) 指定期間 令和3年4月1日から令和8年3月31日まで（5年間） 2 施設管理運営事業 (1) 雄勝体育館の運営 施設の利用申請受付、利用許可及び貸出業務並びに施設設備・機器等の保守管理を適切に実施 (2) 雄勝多目的運動広場の運営 施設及び施設周辺の除草作業の実施 (3) 雄勝艇庫の運営 SUPやカヤックの貸出、指導のほか、初心者向けSUP体験会、経験者向けステップアッププログラム、屋内プールや雄勝湾でのSUP体験会、ビーチクリーン活動のほか、SNS等を活用した広報活動等を実施 (4) 地域貢献 ビーチクリーンイベントの開催、施設周辺の清掃、除草、植木の剪定等の活動を継続的に実施 (5) 安心安全な運営管理 SUP等の定期点検及び修繕、全スタッフのインストラクター資格取得、消防救命講習の受講 (6) スタッフの資格取得 小型船舶操縦免許、上級救命講習、JSPASUPベーシック検定員講習、各種技術研修受講 (7) 利用者支援のための方策 SNS・ホームページでの魅力発信、新規顧客・リピーター獲得のための企画検討、情報誌掲載 (8) 経費削減のための方策 節電や節水、不要な印刷物の削減及びデジタルデータ管理、道具の修理修繕の実施																								
成 果		雄勝体育施設利用者数 <table><tr><th>区分</th><th>体育館</th><th>多目的運動広場</th><th>艇庫</th><th>計</th></tr><tr><td>R5</td><td>1,685人</td><td>14人</td><td>216人</td><td>1,915人</td></tr><tr><td>R6</td><td>1,482人</td><td>37人</td><td>305人</td><td>1,824人</td></tr><tr><td>R7</td><td>1,993人</td><td>0人</td><td>254人</td><td>2,247人</td></tr></table>					区分	体育館	多目的運動広場	艇庫	計	R5	1,685人	14人	216人	1,915人	R6	1,482人	37人	305人	1,824人	R7	1,993人	0人	254人	2,247人
区分	体育館	多目的運動広場	艇庫	計																						
R5	1,685人	14人	216人	1,915人																						
R6	1,482人	37人	305人	1,824人																						
R7	1,993人	0人	254人	2,247人																						
成果に係る評価		雄勝体育館は、各種スポーツやサークル活動のほか、県内外から訪れる団体の防災学習の会場としても活用され、利用実績は昨年度を上回るなど、多目的施設としての機能が発揮された。一方、雄勝多目的運動広場は利用実績がなかったものの、令和8年度からは隣接する道の駅砦上の里を運営する「（一社）砦上の里おがつ」と同一法人による指定管理体制となることから、連携イベント等を企画・実施し、施設の有効活用と利用促進を図る方針である。 雄勝艇庫は、猛暑等の影響により事業の中止が相次ぎ、利用者数は昨年度を下回った。しかし、SUP・カヤック体験等を継続するとともに、屋内プール等を活用した代替事業の検討や、道の駅砦上の里や地域事業者（漁師・飲食・宿泊等）との連携による付加価値の創出、学校団体や企業研修の受入拡大による平日利用の促進など、地域資源を活かした体験拠点としての魅力向上と利用促進に取り組む。																								
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	15,000,000		15,000,000			15,000,000																				

予算科目	10 款	教育費	事業名		桃生植立山公園管理運営事業																																										
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																										
	2 目	体育施設費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進																																										
	事業	植立山公園管理費		(2)	スポーツ環境を整備する																																										
担当部課		市民生活部スポーツ振興課		実施計画掲載ページ		—																																									
目的及び事業内容		緑豊かな植立山の自然環境を保全するとともに、隣接する広大な河川敷をスポーツ施設として活用し、市民の健康と体力増進及び世代間の交流を図り、市民の心身の健全な育成と福祉の増進に資するため、指定管理者による適正な施設管理運営事業を実施する。																																													
取 組 実 績		1 指定管理者による施設管理運営事業 (1) 指定管理者 有限会社ふれあいパーク (2) 指定管理料 14,200,000円 (3) 指定期間 令和6年4月1日から令和11年3月31日まで（5年間） 2 施設管理運営事業 (1) 利用者のサービス向上 ア 利用者のニーズの変化を捉えつつ、柔軟に対応し、受付や問い合わせ等においてきめ細やかな心配りを意識した接遇を心がけるなど利用者サービスの向上に努めた。 (2) 環境整備 ア パークゴルフ場等の芝管理や植栽木の手入れ、松林の除草等を徹底し、利用者がさわやかな気持ちで活動できる環境の整備に心掛けた。 イ 地域自治組織「ものう夢ネットワーク」、桃生地域振興課及び桃生公民館が共催で取り組んでいる松林再生事業「松の木を植えよう」に地域と一体となり環境保全活動を行った。																																													
成 果		パークゴルフ大会や初心者講習会等の自主事業に加え、桃生パークゴルフ協会と公民館の共催で実施した市民交流パークゴルフ大会の実施により、充実した本施設を広く周知するとともに利用者の交流の場として市民の親睦と交流が図られた。また、新設した休憩室やきめ細かな受付等の対応は、利用者から好評を得ており、市民のスポーツ活動の促進に寄与した。 利用者数等の推移 <table><tr><th colspan="2">区 分</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td rowspan="2">パークゴルフ場</td><td>利用者数</td><td>7,023人</td><td>10,353人</td><td>13,341人</td></tr><tr><td>使用料等</td><td>1,443,210円</td><td>2,127,940円</td><td>2,675,560円</td></tr><tr><td rowspan="2">テニスコート</td><td>利用者数</td><td>1,020人</td><td>1,060人</td><td>1,207人</td></tr><tr><td>使用料</td><td>129,000円</td><td>133,800円</td><td>141,150円</td></tr><tr><td rowspan="2">ソフトボール場</td><td>利用者数</td><td>1,272人</td><td>371人</td><td>217人</td></tr><tr><td>使用料</td><td>24,900円</td><td>10,800円</td><td>7,200円</td></tr><tr><td rowspan="2">合 計</td><td>利用者数</td><td>9,315人</td><td>11,784人</td><td>14,765人</td></tr><tr><td>使用料</td><td>1,597,110円</td><td>2,272,540円</td><td>2,823,910円</td></tr></table> ※参考 多目的広場（フリーエリア（使用料：無料））利用者数集計：不実施					区 分		R5	R6	R7	パークゴルフ場	利用者数	7,023人	10,353人	13,341人	使用料等	1,443,210円	2,127,940円	2,675,560円	テニスコート	利用者数	1,020人	1,060人	1,207人	使用料	129,000円	133,800円	141,150円	ソフトボール場	利用者数	1,272人	371人	217人	使用料	24,900円	10,800円	7,200円	合 計	利用者数	9,315人	11,784人	14,765人	使用料	1,597,110円	2,272,540円	2,823,910円
区 分		R5	R6	R7																																											
パークゴルフ場	利用者数	7,023人	10,353人	13,341人																																											
	使用料等	1,443,210円	2,127,940円	2,675,560円																																											
テニスコート	利用者数	1,020人	1,060人	1,207人																																											
	使用料	129,000円	133,800円	141,150円																																											
ソフトボール場	利用者数	1,272人	371人	217人																																											
	使用料	24,900円	10,800円	7,200円																																											
合 計	利用者数	9,315人	11,784人	14,765人																																											
	使用料	1,597,110円	2,272,540円	2,823,910円																																											
成果に係る評価		パークゴルフ場は排水不良対策を行った箇所に芝の発育不良の影響があったものの、休憩室やトイレなど、整備した施設が好評を得ており、年々利用者数が伸び続けている。 今後も、パークゴルフ協会等の利用団体と連携し、多面的活用を促進することで地域の交流を活性化させ、賑わいの創出と魅力向上を図り、利用者や地域住民等から親しまれる地域のスポーツ振興の拠点施設としての役割を担うため、本事業を継続する必要がある。																																													
(単位：円)																																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																									
	14,200,000	14,200,000				14,200,000																																									

予算科目	10 款	教育費	事業名		新学校給食センター整備事業		
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち		
	4 目	学校給食センター建設費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進		
	事業	学校給食センター建設事業費		(1)	充実した教育を行うための環境を整備する		
担当部課		教育委員会学校管理課		実施計画掲載ページ		P 85	
目的及び事業内容			今後も安全安心な学校給食を安定供給していくため、老朽化した住吉、河北及び河南学校給食センターを統廃合し、本市初の P F I 方式により新学校給食センターを整備する。 【 P F I 方式による事業内容】 ・施設整備業務（設計、建設、工事監理、調理設備及び食器、施設備品等の調達等） ・開業準備業務（維持管理、運営業務を行うための準備業務等） ・維持管理業務（施設、調理設備及び食器等の保守管理、清掃、警備等） ・運営業務（食材検収補助、調理、衛生管理、配送、回収業務等）				
取 組 実 績			【主な取組み状況】 令和6年 4月 8日 第1回 P F I 事業審査委員会の開催（実施方針、要求水準書案） 5月 8日 第8回 P F I アドバイザリー業務打合せ ・審査委員会、特定事業の選定、入札説明書等 5月30日 第2回 P F I 事業審査委員会の開催（特定事業の選定、入札公告関連） 6月26日 6月補正予算議決（債務負担行為） 7月 1日 入札公告 7月10日 入札説明会及び現地見学会 8月20日 入札参加資格確認審査の通知 10月15日 提案書の受付・入札 11月 6日 第3回 P F I 事業審査委員会の開催（提案に関する意見交換） 11月18日 第4回 P F I 事業審査委員会の開催（提案審査、事業者選定、審査講評） 12月 2日 第17回庁議（落札者の決定について） 12月 6日 審査結果の公表 12月23日 第12回市教委定例会（落札者の決定について） 12月27日 基本協定の締結 令和7年 1月28日 仮契約の締結 3月19日 事業契約の締結（市議会議決） 3月19日 施設整備業務開始（設計、建築、工事等） 3月28日 新学校給食センター P F I モニタリング支援業務契約締結 4月 1日 運営事業者と設計等の協議開始（令和7年4月以降、毎月開催） 7月 3日 基本設計書成果品納品（完了通知書受領） 10月31日 実施設計書成果品納品（完了通知書受領） 11月 4日 建設工事の着工 11月 4日 運営事業者と建設協議開始（令和7年11月以降、毎月開催） 12月23日 直接協定の締結（株式会社りそな銀行）				
成 果			・新学校給食センター P F I モニタリング業務を通じ、計画どおり事業を推進することができた。 ・新学校給食センター整備運営事業の事業契約約款に基づき、株式会社りそな銀行と直接協定を結ぶことができた。 ・令和7年度は、当初のスケジュール通り事業が進み、11月から建設工事に着工することができた。				
成果に係る評価			・新学校給食センターの整備に P F I 方式を取り入れたことで、効率的かつ効果的な施設整備、維持管理及び運営ができる見込みとなったことから、本市の財政負担に有効な事業手法である。 ・本市では P F I 事業の経験がないことから、P F I モニタリング業務を発注することで、運営事業者との調整や事業の進行管理において専門的なアドバイスを受け、計画的に進めることができたことから本業務は事業推進にとって有効な手段である。				
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳		
					国(県)支出金	地方債	その他
	8,538,000		8,379,800				8,379,800